

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 川福会

目 次

法 人	1
特別養護老人ホーム福寿苑	24
特別養護老人ホームみのわの里	34
特別養護老人ホーム布市福寿苑・真寿庵	49
介護老人保健施設枚岡の里	62
介護老人保健施設長田の里	66
ケアハウスひらおか	73
ケアハウス喜里川	76
小規模多機能ホームごりょうの家	80
介護老人保健施設すいれん	85
ケアフル布施	94
専門会議・専門委員会活動報告	99

創業者の思い

人は幸せになる権利がある

人は他人（ひと）を幸せにする義務がある

人はひとりでは生きていけない

法人の理念

- 一、私たち川福会は、すべての人々の人権が尊重され、皆様が安心を感じられ、生きがいを持てる社会をめざします。
- 一、私たち川福会は、地域の身近な社会資源として活動し、地域社会に貢献することをお約束します。
- 一、私たち川福会は、制度の一步先を行く法人として、新たな価値を創造し、社会福祉の向上に資することを誇りとします。

法人の事業目的

社会福祉法人川福会は、地域における安心の拠点としての公益的役割を果たし、ご利用者が、個人の尊厳を保持しつつ自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援すること、及び地域で「生きることに困難」を抱えている人々を支援することを目的として、次の事業を行います。

1. 第1種社会福祉事業
2. 第2種社会福祉事業
3. 公益事業
4. 社会貢献事業

法人のビジョン

1. 職員全員が川福会の理念を共有し、理念の実現に向かって、目標が事業・活動ごとに具体的に設定され、目標を達成するために取り組む仕組みができていて、着実にそれを実践している。
2. 社会福祉法人の使命を果たすため、財務基盤の強化とガバナンスを確立し、社会福祉法人として自立した経営を進めている。
3. 職員が、川福会に勤務していることと川福会が実施している事業を誇りとするとともに、他の法人が模範とする法人となっている。

社会福祉法人川福会 令和3年度 事業報告

令和3年度は、役員改選により新たな体制が発足し、令和3年7月には新たな理事長が就任し、法人経営方針の一部を転換いたしました。

旧方針	新方針
新規事業の開設等、事業規模を拡大することで経営改善を図る。	既存事業の充実を図り、既存事業の損益改善に注力することで経営改善を図る。
予算は決議されているため、その支出を執行すること。 支出を行うために収入を引き上げる。	支出は収入あつてのこと。 適正な収入予算を組み、その中で適正な支出を検討していく。
法人の機関、会議、職務を細分化し、その役割を明確にする。	役割は明確にするが、細分化せず、スリムな組織を形成する。

また、経営方針の転換と併せて令和3年度から令和5年度までの中期計画も一部改定を行いました。

法人の方針、計画を転換するとともに、令和4年度に大きく法人の収支、損益を改善するための経営改善具体策を策定し、令和3年度にその対応準備、また一部を実施しました。

本事業報告にて、令和3年度の計画実行状況について総括し、令和4年度につなげていくための課題を的確に抽出する必要があるため、本事業報告は、下記の内容で構成しております。

法人事業報告書	令和3年度事業計画の実施状況 【付表】①稼働率一覧 ②地域の公益的な取り組み ③研修一覧
各拠点事業報告書	【1】施設運営を振り返って 【2】数値目標と実績 【3】事業計画の実施状況 【4】施設の課題 【付表】行事・防災訓練・研修一覧
専門会議・専門委員会 活動報告書	【1】令和3年度総括 【2】検討内容

1. ガバナンスのさらなる強化

(1) 評議員の増員

実施状況	法人の運営の透明性の更なる担保とガバナンスの更なる強化をはかるため令和3年度に評議員を定款の上限である9名に増員しております。
------	---

(2) 内部監査の実施

実施状況	<p>コンプライアンスの徹底とガバナンス強化、事業運営の透明性の確保など、業務を適正に遂行して行く事を目的として、内部監査を実施しております。</p> <p>令和4年1月・2月については、法人内においてコロナ感染症の発生が続いた事から、内部監査につきましては実施を見合わせましたが、以下の通り、各事業運営及び、介護報酬の適正請求等に関して監査を実施致しました。</p> <p>4月：福寿苑 5月、6月：布市福寿苑 7月：長田の里 8月：枚岡の里・ケアハウスひらおか 9月：ケアハウス喜里川 10月：ごりょうの家 11月、12月：布市福寿苑 3月：すいれん</p> <p>※布市福寿苑については事業数が多い事から2ヶ月連続で実施。また、令和2年11月に特別監査が行われた事から、本年度においては2回内部監査を実施しています。</p> <p>※記載のない施設(みのわの里)については、令和2年度に実施していません。</p>
令和4年度への課題	内部監査は市町村における実地指導に近い方法で実施していますが、各事業所における勤怠の適正管理の監査については現状実施できていないため、事業所の労務管理の実態を把握し、より働きやすい環境への整備にフィードバックしてゆけるよう努めてまいります。

(3) ガバナンス強化の情報発信方法検討

実施状況	<p>法人の事業計画・事業報告・財務諸表などの情報公開はもとより、新着情報として、ご利用者やそのご家族、地域の方々、関係機関などへ、法人の取組や各事業所の取組みなどを随時更新し、法人の運営状況をホームページにおいて情報発信を実施しました。</p> <p>一部の事業所においては、情報誌の発出も継続して実施しております。</p>
------	---

令和4年度への課題	<p>今後も法人運営の透明性を確保するため、法人の正確な情報について、外部への発信を継続してまいります。</p> <p>また、法人の運営状況のみならず、多くの情報を発信していきたいと考えており、ホームページだけでなく、インスタグラム等での情報発信の検討もいたします。</p>
-----------	---

(4) 会計監査人指摘事項の対応

実施状況	<p>会計監査人監査は、令和3年4月23日、5月17日、5月20日、5月21日、10月4日、11月1日、12月6日、令和4年1月11日、2月10日、3月18日に実施されました。</p> <p>主な指摘事項は以下のとおり、全て対応済みとなっております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布市福寿苑の介護報酬等の返金にかかる相手勘定は事業未払金でなく、事業未収金のマイナスが妥当である。 ・固定資産管理規程と備品管理規程が作成・整備されていないので、整備を検討すること。 ・徴収不能引当金を設定するかどうかの判断の正確性を担保するため、回収が長期化している債権については、回収の見通し等の本部への報告を行うこと。 ・役員退職功労金算定状況の確認。 ・勤怠管理システムを導入しているが、固定資産計上額と経費計上額の分類が誤っているため、修正すること。 ・その他、科目修正など。
令和4年度への課題	<p>法人のガバナンスを確保するために内部管理体制の運用を図ると共に、支払資金の収支の状況、経営成績及び財政状態を把握・公表するために適切な会計処理と適正な計算書類等の作成を行うことが必要であり、独立の立場である会計監査人による監査を受け、継続的に対応・改善してまいります。</p>

(5) 法人のルール・仕組み理解の徹底

実施状況	<p>令和3年度の新卒者研修により法人のルール・仕組みの理解を促進するため研修を実施しました。</p> <p>法人で実施する研修はコロナ感染拡大から未実施となりましたが、法人のルール・仕組みに関係することとして、就業規則・給与規程・組織運営規程・専決規程・安全衛生方針・安全衛生規程・定款細則などの規則・規程の改定内容や方針、コロナ感染症への対策など、施設長・運営部長会議や法人本部からのメール等において伝達し、各拠点において周知を行いました。</p>
------	--

令和4年度への課題	<p>組織としての規律、ルールの下での平等、労務管理等が適正に行われるためには、様々なルール・仕組みを理解したうえで運用することが重要であり、定期的な研修や会議での伝達等により、継続してその理解を深めていく必要があると考えております。</p> <p>一方、現在の業務の実態把握を行い、利用者処遇や職員処遇を向上させるためのルール、仕組みづくりを検討し、継続して業務改善に注力していきたいと考えております。</p>
-----------	--

2. 経営基盤の安定

(1) 法人全体での損益黒字化

実施状況	<p>令和3年度は経営方針の一部を方針転換し、既存事業の損益改善、適正な支出の検討、スリムな組織形成を新方針とし経営改善の取り組みを開始しました。</p> <p>既存事業の稼働率向上、事業統合、人件費・事業費・事務費の見直しなど実施し損益黒字化の達成はできませんでしたが、事業活動資金収支差額で前年比 117,500,779 円、経常増減差額で前年比 71,754,743 円が改善されました。</p>
令和4年度への課題	<p>令和4年度では特に、事業費（介護用品費・保健衛生費・水道光熱費・消耗器具備品費）、事務費（被服費・事務消耗品費・業務委託費・保守料）の見直しに取り組みます。</p> <p>また、経費削減に関しては、その削減が利用者処遇の低下につながらないだけでなく、むしろ処遇が向上するような対応策を併せて行っていくつつ、経費削減による改善額を人件費に転換していく方針をとりたいと考えております。</p>

(2) 加算取得の推進

実施状況	<p>令和3年度に新たな加算を取得しました。</p> <p>(主な新しい加算取得状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養ケアマネジメント強化加算（福寿苑・布市福寿苑） ・安全対策体制加算（福寿苑・全ての老健） ・科学的介護推進体制加算（福寿苑・布市真寿庵・布市福寿苑デイ） ・リハビリテーションマネジメント計画書情報加算（枚岡の里） ・リハビリテーションマネジメント加算（すいれんデイ） ・短期集中リハビリ実施加算（長田の里デイ） ・口腔・栄養スクリーニング加算（みのわの里デイ・真寿庵） ・ターミナルケア加算（すべての老健施設において看取りの体制を整備しました。）
------	---

	・特定事業所加算（すいれん居宅介護支援）事業統合により取得。
令和4年度への課題	事業種別が同じであっても、その事業所により加算が取得できている、できていないといった状況があります。 同じ事業種別においては、同じ加算が取得できるようサービス提供体制等を整え、今後も積極的に新たな加算を取得してまいります。

(3) 法人全体での人件費率と経費率の定率化

実施状況	各事業の実態把握を徐々に進めて、経営改善への取り組みを開始しました。 業務の見直しや人員配置の検討・経費削減の取り組みを始め、令和3年度の状況を踏まえて各事業規模に応じた人件費比率・経費率の検討を実施し、令和4年度の事業計画・予算の立案に取り組みました。 令和4年度予算では事業活動収入計 3,705,318,000 円に対し、人件費率 67.1%、経費率 25.6%となりました。
令和4年度への課題	令和4年度予算の達成をめざしつつ、さらなる経費削減を進めることで、中期計画期間中に令和3年度経費率 26.6%から2%を削減し、人件費への転換を図ります。

(4) 事業統廃合の検討

実施状況	令和3年12月にだいたうケアプランセンターをケアプランセンターすいれんに統合し、ケアマネジャーの体制の充実をはかり、特定事業所加算取得をいたしました。 また、ケアフル布施介護支援センターを長田の里居宅介護支援事業所へ統合を検討し令和4年5月に統合する準備を実施いたしました。
令和4年度への課題	収支改善とサービス提供体制の充実をはかるため、効率的に事業統合の検討を行います。 令和4年度は、訪問介護事業の統合について検討いたします。

3. 地域共生社会の実現に向けて

(1) 地域のニーズ発掘方法の検討

実施状況	コロナ禍において、地域のニーズ発掘するためのアンケート調査の実施や地域住民との座談会など開催することができず、地域の実態把握は未実施となりました。 また、会議等で、それ以外のニーズ発掘方法の検討も未実施となりました。
令和4年度への課題	コロナ禍においても地域のニーズが発掘できるよう、WEBや郵便によるアンケートの実施や、介護予防教室を通じて実態把握を行うとともに

	に、近隣施設との意見交換や多職種連携会議を活用する等、具体的に実施していく必要があると考えております。
--	---

(2) 認知症理解推進の継続

実施状況	<p>地域包括支援センターの活動を通じて、職員に向け6月に認知症サポーターの養成講座をオンライン研修にて開催しました。</p> <p>また、地域の公民館等で認知症予防のお話や創作活動、体操などを認知症の方やその家族、地域の方が参加された「認知症カフェ」を開催しました。</p>
令和4年度への課題	<p>職員への認知症理解推進を継続するだけでなく、認知症の方の家族理解が重要であり、家族負担に配慮しつつも、専門職から正しく理解できるように情報提供や相談支援体制の充実を検討していく必要があると考えております。</p>

(3) コロナ禍における地域公益活動の検討

実施状況	<p>法人では、地域サロン等の居場所づくりや祭りの開催等による地域住民交流支援、施設機能の開放等が制限される中、各事業所において付表②の一覧表にある地域公益活動を実施しました。</p> <p>ごりょうの家では道路や公園など地域清掃活動において大東市から感謝状をいただきました。</p> <p>地域包括支援センターの活動を通じて、オンライン介護予防教室の開催やみのわの里では、地域の方々への健康教室として「ウォーキング」「歴史ウォークラリー」を開催しました。</p>
令和4年度への課題	<p>人との交流が制限される中ではありますが、令和4年度では、コロナ禍以前に行っていた活動をどのように転換できるかをあらためて検討したいと考えております。</p> <p>(例) 買い物支援 → 買い物代行 サロン開催 → 少人数でのバーチャルツアー実施等</p>

(4) 医療との連携強化

実施状況	<p>コロナ禍においても枚岡病院をはじめ協力病院との連携継続に努め、当法人の施設入所者へ各施設に訪問して頂いてのコロナワクチン接種の実施や、ケアハウス入所者の入院受け入れなど、可能な範囲で協力体制を維持・継続しております。</p> <p>また、大東市医療介護連携推進協議会へオンラインにて参加するなど、入退院連携シートなど活用し連携強化を図りました。</p>
令和4年度	<p>地域の要支援者・要介護者の増加に対応すべく、地域包括ケアシステム</p>

への課題	<p>構築に向けて、更なる医療との連携強化は必須と言えます。</p> <p>しかし、従前の方法による連携・連動が困難な状況となっている現状において、検査の継続的実施などのコロナ対策を実践しながら、新たな連携の方法を模索してゆく必要があります。</p> <p>WEBの活用によって生ずる情報管理体制（漏洩対策等）の構築など、解決が必要と思われる課題に協力して取り組んで参ります。</p>
------	--

(5) 社会福祉連携推進法人制度の情報収集と制度理解

実施状況	<p>社会福祉連携推進法人制度の情報収集については、厚生労働省発出の関係法令通知の確認や動画視聴に留まりました。</p>
令和4年度への課題	<p>同制度の情報収集は継続いたしますが、当法人が今すぐ同制度に参画する予定はなく、経営改善に注力することを優先することから、令和4年度の事業計画から除外いたしました。</p>

4. 職員の働き方改革と育成

(1) 適正労務管理の理解促進、実態把握とその是正

実施状況	<p>法人では、適正な労務管理について、施設長・運営部長に対し会議の場をとおして指示、指導を行い理解促進に取り組みました。</p> <p>また、法人が仕組みとして運用している毎日の勤務実態把握と毎月の給与支給（超過勤務含）の労使合意について、一部施設の状況の実態把握を行い、労使合意の仕組みにおいて運用に不備があった施設に対し、指導を行いました。</p> <p>また、労務管理体制の運用に係る事務量の削減をはかるため勤怠管理システムを導入しました。</p>
令和4年度への課題	<p>現状、毎月の労使合意が給与支給の後付けになっている施設が一部あるため、清算期間と適正労務管理が行える期間との整合をとるための改善が必要となります。</p>

(2) 多様で柔軟な働き方の検討継続

実施状況	<p>一部の職種において、フレックス制度やテレワーク勤務制度を実施しておりますが、職員がコロナウィルスの濃厚接触者になった場合、柔軟に勤務が行えるよう、テレワーク勤務規程を改定しました。</p>
令和4年度への課題	<p>フレックス制度においては現状、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、管理統括部の職員が対象となっているため、フレックス制度が適用となる職種を拡大していく必要があると考えております。</p>

(3) さらなる業務改善の実施・見える化・効果測定

<p>実施状況</p>	<p>新たに令和3年12月まで実施してきた業務改善の内容を整理し、新たに業務改善実施状況一覧表を作成し、法人内で見える化、情報共有を行いました。</p> <p>令和3年度では、主に下記の改善を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Teams を使用した WEB 職員研修の導入 ・クラウド上での定期報告書類提出管理 ・勤怠管理システム・勤務表作成ソフト導入 ・法人の専門会議・委員会の一部を廃止し再編を実施等
<p>令和4年度への課題</p>	<p>令和4年度では、業務の標準化により、さらなる利用者処遇の向上と職員の業務負担を軽減するため、下記を検討、実施していきたいと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特養、老健にて1日における食事、排泄介助（トイレ誘導随時）の時間軸を統一 ・利用者の尿漏れ等の統計をとり、褥瘡予防の観点からラバーシートを削減するとともに、尿漏れ統計の結果から、紙おむつやリハビリパンツが利用者に適しているか、おむつの脱着が適切にできているかを尿漏れの多い利用者から検討開始 ・各事業所のペーパーレス化 （現状、各事業所の書類については、紙保管を主とする事業所が大半で、かつ保管方法がそれぞれ（事業所毎、職員毎）で異なり、保管スペースも広大になっているため、ペーパーレス化を大々的に推進する必要があります。 紙保存、電子保存の方法について法人で統一を図るとともに、対外的な事業所と相談し、提供表等の紙でのやりとりを電子化に転換する必要があります。） ・法人の委員会・会議のさらなる削減及び各施設委員会・会議の統一等、また、これまで実施してきた業務改善の効果測定を行い、今後のさらなる改善につなげていきたいと考えております。

(4) 新卒・中途採用フローの見直し

<p>実施状況</p>	<p>当法人の職員の平均年齢が45歳を超えていることから、職員の若返りを図るため、中途採用については、有資格と無資格・未経験の求人を年齢により分別するとともに、新卒採用については年間を通して（2ヶ月ごと）採用試験の実施日程をお知らせするなど各教育機関へのアプローチ強化を図りました。</p>
-------------	---

	<p>入職後の試用期間中における指導項目については、指導内容や目標到達点を明確にし、新人職員が自分自身で業務等を覚えるための期間の目安が把握できるよう可視化し、学生諸子に明示することで具体的な将来像を捉えて頂けるようにしております。</p> <p>新卒・中途採用フローについては入職時の誓約保証書など一部書類の統一や、指導内容の標準化などの検討・実施を行っております。</p> <p>その他、法人において勤務中の非常勤職員に対して、常勤職員への転換を活発化するため、転換フローを新たに作成いたしました。</p> <p>事業所（上司）の推薦や面談、採用試験の実施などを検討しておりますが、年度後半からの検討を開始した事もあり、こちらも年度内での完成には至っておりません。</p>
令和4年度への課題	<p>新卒、途中採用フロー及び、非常勤職員からの転換フローの完成を目指します。</p> <p>更に選考内容・新卒・中途採用の提出書類の統一、内定、採用、入社、採用後研修、その後の教育までのフローの検討を図ってまいります。</p> <p>その他、採用後の将来的キャリアアップについての流れを明確に示し、職員の意欲向上やモチベーションの上昇につなげていきたいと考えております。</p>

5. BPR計画の推進

(1) 会議・研修・採用・見学等のWEB化

実施状況	<p>ノートパソコンやインターネット環境などの整備を実施し、法人の専門会議・委員会・職種別連絡会や研修、職員採用の取組、施設見学の受入など、感染予防対策も含めてWEB化を実施いたしました。</p>
令和4年度への課題	<p>業務の効率化、感染予防対策、経費削減、情報共有の手段として、WEB化の推進を継続します。</p>

(2) 月次報告資料のWEB管理

実施状況	<p>各施設事業所からの月次報告（稼働実績報告・収支予算対比表・職員配置状況など）については、これまで総務部において各事業所から提出された報告データの取りまとめをしてきましたが、クラウド上での直接入力による報告へ切り替えを実施いたしました。</p> <p>これにより、総務部の事務量の削減と、報告データの共有や情報の管理が速やかにできるようになりました。</p>
令和4年度への課題	<p>必要な情報の共有システムとして、WEB・クラウド上での管理を推進し、業務の効率化を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>今後は月次報告資料のみならず、不必要、または無くても大勢に影響の</p>

	ない会議を廃止していく一方、意見収集のための仕組みを構築するために、WEB・クラウドツールを柔軟に運用していきたいと考えております。
--	--

(3) IT管理・電子文書取扱の理解促進・徹底

実施状況	テレワークの導入や業務効率の改善のためWEB化、電子データでの管理などを推進しているなか、使用するパソコンやソフト等の取扱いについてはIT管理規程・電子文書取扱規程に規定しておりますが、規程条項の理解促進、周辺機器の管理について、職員への周知が実施できておりません。
令和4年度への課題	IT管理規程・電子文書取扱規程についてあらためて周知し、情報セキュリティのルールや管理、電子文書の取扱いを理解・浸透させてまいります。 また、実際の運用において、令和4年度下半期に実態把握を行い、課題抽出を行い、必要があれば規程の改定を行います。

6. 感染症対策及び災害対策

(1) 感染症対応BCPの策定

実施状況	新型コロナウイルス感染症に対策として「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」の見直しを行い、感染拡大防止に取り組みました。 特養・老健・通所介護・訪問介護・居宅介護支援事業所・地域包括支援センターにおいて「感染症対応BCP」を策定しております。
令和4年度への課題	ケアハウス・グループホーム・小規模多機能ホームにおいて「感染症対応BCP」の策定が遅れており、令和4年度に、全事業で感染症対応BCPを策定いたします。

(2) 効果的な防災訓練のありかたの検討

実施状況	各事業において防災訓練を実施しておりますが、そのあり方は災害対応BCPに基づく訓練ではなく、また、法人として感染症対策を優先したことで各拠点での検討にとどまり、法人として効果的な防災訓練のありかたの検討は、未実施となりました。
令和4年度への課題	災害対応BCPに基づく防災訓練を実施する必要性があり、その訓練を実際に行ってみることにより、BCP手順の不備や対応変更の必要性等、改善すべき点を明らかにして、災害対応BCPの計画等を改定していく必要があると考えております。

(3) 各施設の福祉避難所としての機能検討

実施状況	具体的な福祉避難所としての機能検討は未実施となりました。
令和4年度への課題	災害時に受け入れ可能な地域の福祉施設として、近隣地域への周知を行い、また、災害が発生した場合において要配慮者が相談し、又は助言その他の支援を受けることができる体制を整備してまいります。

7. 新・続3か年計画からの継続計画

(1) 第3者評価受審施設の比較検証

実施状況	特養各拠点における第3者評価受審結果について、項目毎に一覧表に整理しました。 法人の介護士連絡会で、受審後の比較及び検証を実施いたしましたが、協議を1回しか行えず、その検証は不十分なまま、検証できておりません。
令和4年度への課題	比較検証については、項目毎の一覧表から改善の必要がある項目について、法人が実態把握を行ったうえで、第3者評価指摘事項の改善計画を策定いたします。

(2) 第3者評価指摘事項の改善計画策定

実施状況	介護士連絡会で、各拠点の課題抽出は行っていますが、現状報告のみで終了している状況で、改善点計画策定は未実施となりました。
令和4年度への課題	改善計画の策定は法人が行います。 受審結果からの法人として改善項目については、3施設の評価結果がbないしcの項目の中から優先順位を定め、まずはその優先順位の中から5項目の改善を行います。

(3) 人事考課者の教育と被考課者の人事考課理解促進

実施状況	看護師長・介護長・主任・副主任の介護士及び看護師の人事考課シートに続いて、主任相談員・副主任相談員・生活相談員・支援相談員の人事考課シートについて検討し、その人事考課を開始いたしました。
令和4年度への課題	評価基準の検討をすすめ、さらに人事考課対象職種を拡大していく必要があります。引き続き、まだ実施できていない職種の人事考課シートの作成と人事考課者への教育を実施する必要があると考えております。

社会福祉法人 川福会 令和3年度 各事業 稼働率一覽表

拠点区分	サービス区分	定員	年度	項目	年間目標	単月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考 (黄色線引部分)		
福寿苑	特別養護老人ホーム	50	R3年度	稼働率	95.0 %	単月稼働率	94.3	88.0	95.3	98.5	94.4	95.3	97.7	97.1	96.3	91.6	96.6	95.7			
					平均稼働率	94.3	96.2	95.9	96.0	95.7	95.6	96.1	96.1	95.6	95.7	95.7	95.7	95.7			
			R2年度		93.0 %	単月稼働率	92.3	90.3	90.0	86.6	88.3	85.0	87.0	87.6	85.7	85.0	90.2	90.8			
		平均稼働率	92.3	91.3	90.9	89.8	89.5	87.3	87.0	88.2	87.4	89.1	89.1	91.2	94.4	89.1					
	R1年度	96.0 %	単月稼働率	87.5	90.4	91.4	86.5	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	88.7	86.7	89.0	89.5	89.4			
		平均稼働率	87.5	89.0	89.8	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	88.7	89.0	89.5	89.4			
	R3年度	稼働率	99.0 %	単月稼働率	101.7	87.1	103.3	103.2	100.8	114.2	75.8	80.8	93.5	100.0	98.2	104.8					
			平均稼働率	101.7	94.3	97.3	98.8	99.2	101.6	97.9	95.8	95.5	96.0	96.2	96.9						
	R2年度		95.0 %	単月稼働率	110.8	122.6	144.2	157.3	148.4	45.8	33.1	105.8	89.5	116.1	100.9	81.5					
		平均稼働率	110.8	116.8	125.8	133.8	136.8	121.9	109.0	108.6	106.5	107.4	106.9	104.7							
	R1年度	85.0 %	単月稼働率	125.0	113.7	123.3	112.1	149.2	105.0	154.8	124.2	125.8	126.0	125.3	125.1	125.5					
		平均稼働率	125.0	119.3	120.6	118.4	124.7	121.4	126.3	126.0	126.0	126.0	126.0	126.0	126.0	126.0	126.0	126.0	126.0		
R3年度	通所介護	25	77.0 %	単月稼働率	59.1	58.3	60.2	58.4	61.4	64.3	63.4	62.2	67.2	53.5	49.2	50.7					
			平均稼働率	59.1	58.7	59.2	59.0	59.5	60.3	60.7	60.9	60.5	59.8	58.9	58.2						
R2年度			77.0 %	単月稼働率	62.5	59.4	65.1	65.6	64.0	44.0	54.7	59.7	62.9	61.5	60.3	62.4					
	平均稼働率	62.5	60.9	62.3	63.2	63.3	62.8	62.0	61.6	61.7	61.6	61.7	61.7	61.6	61.7	61.6	61.6	61.7			
R1年度	75.0 %	単月稼働率	69.2	71.4	75.7	78.1	77.3	79.0	74.8	77.7	73.6	75.1	75.1	75.1	75.2	74.8	74.5				
	平均稼働率	69.2	70.3	72.1	73.6	74.4	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1			
R3年度	稼働率	10	75.0 %	単月稼働率	49.6	55.0	48.1	56.3	54.6	56.2	59.2	59.2	59.2	59.2	59.2	59.2	59.2	59.2	59.2		
			平均稼働率	49.6	52.3	50.9	52.3	52.3	52.3	52.3	52.3	52.3	52.3	52.3	52.3	52.3	52.3	52.3	52.3		
R2年度			71.0 %	単月稼働率	61.2	59.2	58.1	63.0	60.4	60.4	59.9	59.4	56.1	55.2	51.0	49.5	49.1				
	平均稼働率	61.2	60.2	59.5	60.4	60.4	60.4	60.4	60.4	60.4	60.4	60.4	60.4	60.4	60.4	60.4	60.4	60.4			
R1年度	75.0 %	単月稼働率	58.1	63.7	73.2	67.0	63.0	63.0	64.9	65.4	64.9	64.9	64.9	64.9	64.9	64.9	64.9	64.9			
	平均稼働率	58.1	60.9	64.9	65.4	65.4	65.4	65.4	65.4	65.4	65.4	65.4	65.4	65.4	65.4	65.4	65.4	65.4			
R3年度	訪問介護	-	14.0 件	単月稼働率	8.0	8.0	9.1	9.9	10.0	10.2	10.0	10.2	10.0	10.8	11.8	11.5	10.5	9.9			
			平均稼働率	8.0	8.0	8.4	8.8	9.0	9.2	9.2	9.3	9.5	9.8	9.9	10.0	10.0	10.0	10.0			
R2年度			14.0 件	単月稼働率	11.1	8.9	7.6	7.4	7.3	8.0	7.4	7.8	7.8	7.8	7.3	7.6	8.0				
	平均稼働率	11.1	10.0	9.2	8.7	8.5	8.4	8.3	8.3	8.3	8.3	8.2	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1			
R1年度	20.0 件	単月稼働率	8.2	9.2	9.2	9.0	8.8	8.9	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.3	10.8	11.9	11.3	11.0			
	平均稼働率	8.2	8.7	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9			
R3年度	常勤1あたり	-	39.0 件	単月稼働率	37.4	37.8	38.4	39.1	38.8	38.2	38.1	37.7	38.3	38.1	36.9	35.4					
			平均稼働率	37.4	37.6	37.9	38.2	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3		
R2年度			39.0 件	単月稼働率	38.9	40.1	39.9	41.6	40.1	41.4	41.4	43.3	41.8	41.8	40.7	38.7	39.0				
	平均稼働率	38.9	39.5	39.6	40.1	40.1	40.3	40.7	40.9	41.0	40.9	41.0	40.9	40.7	40.6						
R1年度	39.0 件	単月稼働率	31.0	31.8	31.7	33.2	34.6	35.3	36.0	37.5	37.2	37.6	37.2	37.6	39.3	40.8					
	平均稼働率	31.0	31.4	31.5	31.9	32.5	32.9	33.4	33.4	33.4	33.4	33.4	33.4	33.4	33.4	33.4	33.4	33.4			

拠点区分	サービス区分	定員	年度	項目	年間目標	単月 平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考 (黄色網掛け部分)			
							稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率		稼働率	稼働率	稼働率
みのわの里	特別支援老人ホーム 110	R0年度	稼働率	95.0 %	92.0	86.0	88.8	91.8	96.9	97.3	96.9	94.7	94.9	96.6	93.6	93.3	93.6	93.7	93.6			
				95.5 %	93.4	89.4	89.2	91.7	91.4	94.8	96.0	92.5	94.8	93.3	91.6	92.9	93.3	91.6	92.9	91.4		
		R1年度	稼働率	96.0 %	93.4	92.8	92.4	92.2	92.7	93.2	93.1	93.3	93.3	93.1	93.1	93.1	93.1	93.1	93.1	93.0		
				96.0 %	94.4	92.3	93.4	96.2	98.4	94.2	97.5	94.5	94.5	90.0	95.6	94.1	94.1	92.1	94.1	92.1	92.1	
		R0年度	稼働率	86.0 %	94.4	53.4	93.4	94.1	95.0	94.8	95.2	95.1	94.6	94.5	94.5	94.5	94.4	94.4	94.4	94.2		
				86.0 %	71.3	54.0	78.3	81.6	90.6	96.7	88.9	83.3	93.3	94.4	88.7	98.0	88.7	98.0	95.3	95.3	95.3	
	通所介護 35	R0年度	稼働率	88.0 %	85.3	82.4	88.2	79.0	89.5	85.7	80.6	76.8	85.5	93.7	94.6	78.2	94.6	78.2	94.6	78.2		
				90.0 %	85.3	88.9	88.7	86.2	86.9	86.7	85.8	84.7	84.8	85.7	86.5	86.5	86.5	86.5	86.5	86.5	85.8	
		R1年度	稼働率	90.0 %	72.3	86.0	84.0	80.6	84.4	79.0	83.7	89.8	89.2	93.7	96.4	96.4	96.4	96.4	96.4	96.4	83.7	
				85.0 %	72.3	79.3	80.8	80.8	81.5	81.1	81.5	82.5	83.3	84.3	84.3	84.3	84.3	84.3	84.3	84.3	84.3	85.2
		R0年度	稼働率	85.0 %	72.1	65.6	70.4	75.3	77.6	86.4	87.0	86.8	85.8	77.5	72.5	72.5	74.7	74.7	74.7	74.7	74.7	
				85.0 %	72.6	68.5	89.2	70.9	72.2	74.7	76.5	77.8	78.7	78.7	78.7	78.7	78.7	78.7	78.7	78.7	78.7	77.8
訪問介護 12	R0年度	稼働率	85.0 %	72.6	71.1	81.1	84.0	82.4	82.0	86.0	86.7	79.9	75.6	79.9	75.6	79.9	75.6	79.9	80.6			
			85.0 %	72.6	71.9	74.9	77.3	78.3	78.9	80.0	80.8	80.7	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2		
	R1年度	稼働率	85.0 %	80.0	79.4	86.6	81.9	79.5	82.1	85.1	82.4	84.3	85.6	83.9	78.0	83.9	85.6	83.9	78.0			
			85.0 %	80.0	79.7	81.9	81.9	81.9	81.4	81.5	82.0	82.1	82.3	82.6	82.7	82.3	82.6	82.7	82.3	82.3		
	R0年度	稼働率	65.0 %	63.9	66.7	60.3	56.5	64.4	63.5	70.2	71.8	68.3	59.0	58.0	60.5	63.9	63.9	63.9	63.9	63.9		
			75.0 %	46.8	44.9	47.4	58.0	56.4	56.1	54.6	53.7	61.9	60.1	60.1	62.5	61.7	62.5	61.7	62.5	61.7		
訪問介護 1	R0年度	稼働率	80.0 %	73.1	74.4	69.3	65.7	64.8	59.3	56.2	61.2	71.0	71.2	63.7	60.6	63.7	60.6	63.7	60.6			
			80.0 %	73.1	73.7	72.3	70.6	69.4	67.8	66.1	65.5	66.1	66.1	66.1	66.1	66.1	66.1	66.1	66.1	65.8		
	R0年度	1日あたり	15.0 件	13.2	13.1	14.6	14.1	13.9	14.5	14.9	14.6	14.9	15.4	15.4	16.4	16.4	16.4	16.4	16.0			
			15.0 件	13.3	13.2	14.2	14.2	13.5	13.7	13.5	14.0	13.6	13.8	13.8	13.8	13.8	13.8	13.8	13.8	13.8		
	R1年度	1日あたり	15.0 件	13.3	13.2	13.5	13.7	13.7	13.7	13.6	13.7	13.7	13.7	13.7	13.7	13.7	13.7	13.7	13.7	13.7		
			38.0 件	34.9	35.0	35.2	35.9	36.6	37.2	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6		
居宅介護支援事業所 1	R0年度	常勤1あたり	38.0 件	38.1	37.7	40.0	40.5	39.6	39.3	39.5	38.8	38.2	38.2	36.2	37.4	37.4	37.4	37.4	37.4			
			38.0 件	38.1	37.9	38.6	39.1	39.2	39.2	39.2	39.2	39.1	39.0	39.0	38.7	38.7	38.7	38.7	38.7	38.5		
	R1年度	常勤1あたり	38.0 件	34.2	36.0	36.4	36.7	37.6	33.8	37.3	37.6	38.7	38.7	39.6	39.6	39.6	39.6	39.6	39.6	39.3		
			3.5 件	34.2	35.1	35.5	35.8	36.2	35.8	36.0	36.5	36.8	37.0	37.2	37.2	37.2	37.2	37.2	37.2	37.2	37.4	
	R0年度	1日あたり	3.5 件	2.7	2.8	2.3	2.8	2.8	2.9	2.9	2.9	2.9	2.7	2.9	2.7	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8		
			3.0 件	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	
R1年度	1日あたり	3.0 件	2.9	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5			
		4.0 件	2.9	3.0	3.0	3.0	2.4	1.9	2.4	1.7	2.2	2.5	2.6	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	3.1		

拠点区分	サービス区分	定員	年度	項目	年間目標	単月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考 (黄色欄は付部分)		
							単月稼働率	平均稼働率	単月稼働率	平均稼働率	単月稼働率	平均稼働率	単月稼働率	平均稼働率	単月稼働率	平均稼働率	単月稼働率	平均稼働率		単月稼働率	平均稼働率
布市福寿苑	特別養護老人ホーム	80	R3年度	稼働率	95.0 %	94.7	93.2	91.3	93.5	92.9	93.9	93.9	96.5	97.5	99.2	97.5	91.6	84.6			
			R2年度			94.5	91.3	91.9	89.6	88.1	94.0	94.0	94.7	94.8	94.8	88.4	92.3				
			R1年度			94.5	92.9	92.5	91.7	91.1	91.6	91.6	91.9	92.2	91.7	91.4	91.5				
	短期入所生活介護	20	稼働率	84.0 %	R3年度	88.8	95.0	92.1	92.3	89.9	90.8	90.8	96.3	91.5	89.2	86.8	92.2	90.9			
					R2年度	98.8	96.9	95.3	94.5	93.6	93.1	93.6	93.3	92.9	92.2	92.2	92.6				
					R1年度	78.3	91.8	81.8	81.3	92.6	89.2	81.8	89.5	91.9	82.3	52.0	62.1				
	通所介護	35	稼働率	86.0 %	R3年度	78.3	85.2	84.1	83.4	85.2	85.9	85.3	86.5	86.5	86.1	83.2	81.4				
					R2年度	70.0	52.7	60.8	78.1	80.0	84.0	76.0	86.7	80.0	63.9	63.4	66.9				
					R1年度	70.0	61.2	61.1	65.4	66.4	70.9	71.7	73.5	74.2	73.2	72.4	71.9				
	認知症対応型通所介護	10	稼働率	86.0 %	R3年度	69.5	78.4	75.3	78.2	91.0	80.0	80.1	86.1	83.7	75.5	77.3	80.0	69.5			
					R2年度	69.5	74.0	74.5	75.4	76.6	78.8	79.9	80.3	79.8	79.5	79.6	76.7				
					R1年度	70.2	61.1	66.8	70.9	70.9	73.3	69.8	72.7	75.2	70.8	61.3	61.5				
訪問介護	9	稼働率	98.0 %	R3年度	70.2	65.7	66.0	67.3	66.0	68.9	69.0	69.0	70.1	70.2	69.4	68.7					
				R2年度	75.4	79.7	82.4	81.8	76.9	82.0	80.6	80.6	73.9	69.5	54.1	66.9					
				R1年度	75.4	77.5	79.2	79.9	76.7	80.1	80.1	79.4	76.3	76.8	75.9	76.3					
居宅介護支援事業所	—	稼働率	12.0 件	R3年度	87.8	83.4	85.6	91.0	87.2	85.7	85.7	85.1	83.5	85.3	81.4	84.0	76.5				
				R2年度	87.8	85.6	85.6	87.0	87.0	86.8	86.6	86.2	86.1	85.6	85.5	84.7					
				R1年度	33.8	36.5	40.4	41.8	43.1	41.9	50.8	54.6	55.8	37.9	33.3	43.3					
グループホーム	9	稼働率	60.0 %	R3年度	33.8	35.2	36.9	38.2	38.2	39.6	41.2	42.9	44.3	42.8	42.9						
				R2年度	36.5	45.0	54.6	52.6	49.2	48.5	50.4	46.4	32.4	17.7	21.7	25.6					
				R1年度	36.5	40.8	45.4	47.2	47.6	47.8	48.2	47.9	46.3	44.8	42.7	41.2					
訪問介護	—	1日あたり	15.0 件	R3年度	55.0	57.8	53.6	40.7	42.2	43.2	50.8	53.1	43.2	44.2	44.4	36.9					
				R2年度	55.0	56.4	55.5	51.7	49.8	49.7	49.9	50.2	49.5	49.0	48.6	47.6					
				R1年度	9.0	8.1	8.4	7.7	8.0	8.4	9.5	8.3	8.5	9.2	8.9	9.0					
訪問介護	—	1日あたり	15.0 件	R3年度	9.0	8.5	8.5	8.3	8.2	8.3	8.4	8.4	8.4	8.5	8.5	8.6					
				R2年度	10.4	10.3	11.0	9.8	10.9	10.7	10.1	10.5	9.3	8.5	7.0	7.1					
				R1年度	10.4	10.4	10.6	10.4	10.5	10.5	10.5	10.5	10.3	10.3	10.0	9.7					
居宅介護支援事業所	—	常勤1あたり	38.0 件	R3年度	14.0	15.0	14.0	13.5	14.4	14.9	14.8	14.8	14.7	15.2	14.7	14.9	11.3				
				R2年度	14.0	14.5	14.3	14.1	14.2	14.3	14.4	14.4	14.4	14.5	14.5	14.5	14.3				
				R1年度	30.0	31.4	32.2	31.4	31.8	33.0	34.8	35.0	35.3	41.5	41.0	40.0					
グループホーム	9	稼働率	98.0 %	R3年度	30.0	30.7	31.2	31.3	31.4	31.6	32.1	32.4	32.7	33.5	34.0	34.4					
				R2年度	37.4	38.9	40.3	40.0	40.5	38.5	39.5	38.5	38.0	29.0	30.8						
				R1年度	37.4	38.2	38.9	39.1	39.4	39.3	39.3	39.2	39.1	37.9	36.9	36.3					
グループホーム	9	稼働率	98.0 %	R3年度	36.4	36.4	35.0	34.5	34.3	36.6	37.1	37.9	39.2	38.7	36.2	38.4					
				R2年度	36.4	36.4	35.9	35.6	35.3	35.5	35.7	36.0	36.3	36.7	36.8						
				R1年度	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	92.6	96.1	100.0	100.0	100.0				
グループホーム	9	稼働率	98.0 %	R3年度	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.1	98.7	98.9	99.0	99.1				
				R2年度	100.0	97.5	91.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	97.8	97.5	100.0	100.0	100.0				
				R1年度	100.0	98.7	96.5	97.4	97.9	98.2	98.5	98.4	98.3	98.5	98.6	98.6	98.7				
グループホーム	9	稼働率	98.0 %	R3年度	97.8	88.9	92.6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
				R2年度	97.8	93.3	93.0	94.8	95.9	96.5	97.0	97.4	97.7	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	
				R1年度	97.8	93.3	93.0	94.8	95.9	96.5	97.0	97.4	97.7	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1

拠点区分	サービス区分	定員	年度	項目	年間目標	単月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考 (黄色網掛け部分)		
枚田の里	介護老人保健施設	90	R3年度	稼働率	95.0 %	単月稼働率	88.5	88.1	89.3	90.4	90.5	88.5	89.6	91.5	94.0	94.1	94.9	90.8			
			平均稼働率		88.5	88.6	89.1	89.4	89.2	89.3	89.3	89.6	90.1	90.5	90.8	90.8					
			R2年度	稼働率	94.5 %	単月稼働率	94.2	96.3	94.8	92.2	88.3	80.1	84.0	84.3	81.0	84.3	89.0	84.3	89.0	87.3	
			平均稼働率		94.2	95.3	95.1	94.4	93.1	91.0	90.0	89.3	88.4	87.9	88.0	88.0	88.0				
R1年度	稼働率	95.0 %	単月稼働率	95.1	93.2	89.9	90.2	93.8	94.7	94.3	94.2	92.9	94.2	92.9	90.5	92.6	93.4				
平均稼働率		95.1	94.1	92.7	92.1	92.4	92.8	93.0	93.2	93.1	92.9	92.8	92.9								
長田の里	介護老人保健施設	99	R3年度	稼働率	96.0 %	単月稼働率	88.8	88.3	94.8	95.6	95.5	96.6	94.9	94.9	96.6	98.0	97.3	96.8			
			平均稼働率		88.8	88.6	90.6	91.9	92.6	93.3	93.5	93.7	94.0	94.4	94.6	94.8					
			R2年度	稼働率	95.0 %	単月稼働率	93.0	96.1	96.6	96.3	98.5	96.9	97.5	94.0	95.6	93.9	94.8	95.4			
			平均稼働率		93.0	94.6	95.2	95.5	96.1	96.3	96.4	96.1	96.1	95.9	95.8	95.7					
			R1年度	稼働率	95.0 %	単月稼働率	90.9	89.9	93.5	96.8	94.4	93.7	92.8	89.0	93.6	89.0	93.6	95.9	96.9	94.6	
			平均稼働率		90.9	90.4	91.5	92.8	93.1	93.2	93.2	92.7	92.8	93.1	93.4	93.5					
	R3年度	稼働率	81.0 %	単月稼働率	63.7	58.3	65.0	62.2	64.2	65.0	67.9	64.1	73.7	70.9	72.1	66.6	62.5	66.5			
	平均稼働率		63.7	60.7	62.2	64.2	65.0	64.9	66.2	66.8	67.4	67.5	67.1	67.0							
	R2年度	稼働率	83.0 %	単月稼働率	76.7	76.9	81.5	82.6	80.3	76.4	78.1	74.3	74.1	61.9	63.6	70.0					
	平均稼働率		76.7	76.8	78.4	79.5	79.6	79.1	78.9	78.4	77.9	76.4	75.3	74.9							
	R1年度	稼働率	85.0 %	単月稼働率	83.1	81.1	81.6	78.9	74.6	81.7	78.5	79.0	76.7	75.3	78.3	80.8					
	平均稼働率		83.1	82.1	81.9	81.1	79.8	80.1	79.9	79.7	79.4	79.0	79.1	79.2							
R3年度	常勤1あたり	38.5 件	単月稼働率	40.5	39.7	41.0	40.2	38.7	39.5	39.7	39.5	39.7	40.5	39.7	38.3	37.2	38.3				
平均稼働率		40.5	40.1	40.4	40.3	40.0	39.9	39.9	40.0	39.9	39.3	39.5	39.4								
R2年度	常勤1あたり	38.6 件	単月稼働率	38.8	38.8	40.3	40.2	40.3	39.7	40.5	40.3	39.7	40.5	39.8	38.8	40.3					
平均稼働率		38.8	38.8	39.3	39.5	39.7	39.7	39.8	39.9	39.9	39.8	39.7	39.8								
R1年度	稼働率	38.0 件	単月稼働率	38.7	41.2	40.7	41.8	39.3	38.2	40.0	42.2	41.2	40.0	40.3	40.4	40.3	40.3				
平均稼働率		38.7	39.9	40.2	40.6	40.3	40.0	40.0	40.0	40.0	40.3	40.4	40.3								
R3年度	稼働率	95.0 %	単月稼働率	96.5	93.3	95.9	97.0	96.7	91.9	95.3	94.3	92.3	92.3	94.0	93.5						
平均稼働率		96.5	94.9	95.2	95.7	95.9	95.2	95.1	94.8	94.3	94.0	93.5									
R2年度	稼働率	95.0 %	単月稼働率	99.9	98.2	96.7	96.7	98.3	96.9	98.1	95.0	86.6	95.1	95.1	96.7						
平均稼働率		99.9	99.0	98.2	97.8	97.9	97.8	97.8	97.8	97.8	97.4	97.1	97.0	96.9							
R1年度	稼働率	95.0 %	単月稼働率	98.6	94.3	91.6	90.0	92.3	92.1	99.9	98.3	99.9	98.4	98.3	100.0						
平均稼働率		98.6	95.4	94.2	93.1	93.0	92.8	93.8	94.4	95.0	95.4	95.6	96.0								
R3年度	稼働率	93.0 %	単月稼働率	90.9	90.1	87.8	91.6	90.9	95.3	93.9	92.2	91.1	90.2	90.9	89.1						
平均稼働率		90.9	90.5	89.6	90.1	90.3	91.1	91.5	91.6	91.5	91.4	91.4	91.2								
R2年度	稼働率	93.0 %	単月稼働率	93.9	89.8	88.3	89.4	90.7	93.5	94.1	94.4	92.8	91.4	89.4	89.2						
平均稼働率		93.9	91.9	90.7	90.4	90.4	91.4	91.8	92.1	92.2	92.1	91.9	91.7								
R1年度	稼働率	94.0 %	単月稼働率	93.8	91.2	91.9	93.0	91.4	93.2	95.2	94.7	93.6	92.5	94.7	93.9						
平均稼働率		93.8	92.5	92.3	92.5	92.3	92.4	92.8	93.0	93.1	93.0	93.2	93.2								
R3年度	稼働率	68.0 %	単月稼働率	53.4	55.8	56.4	56.2	57.5	57.5	57.3	51.9	48.1	46.4	46.8	42.6						
平均稼働率		53.4	54.6	55.2	55.4	55.9	56.1	56.3	55.7	54.9	54.3	53.7	52.7								
R2年度	稼働率	68.0 %	単月稼働率	60.7	61.3	69.2	67.5	67.7	65.8	68.3	62.7	60.3	58.3	56.5	53.1						
平均稼働率		60.7	61.0	63.7	64.7	65.3	65.4	65.8	65.4	64.9	64.3	63.6	62.7								
R1年度	稼働率	73.0 %	単月稼働率	53.4	56.8	56.2	53.3	44.2	55.1	57.8	63.7	65.8	67.4	68.7	66.9						
平均稼働率		53.4	55.1	55.5	54.9	52.7	53.1	53.8	55.0	56.2	57.2	58.2	58.9								

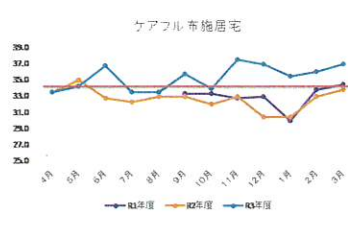
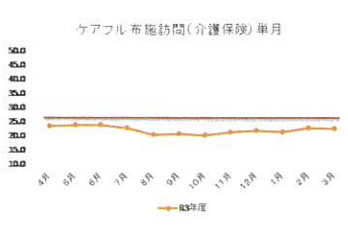
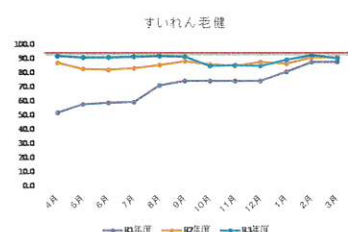
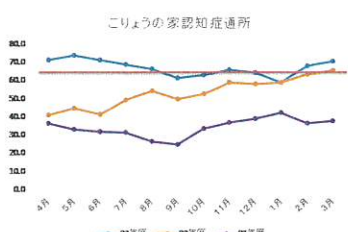
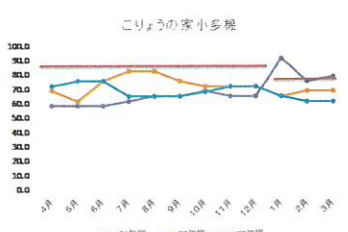
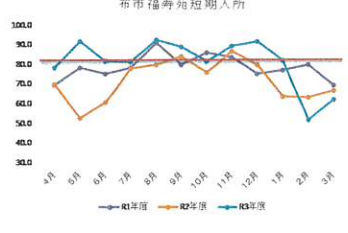
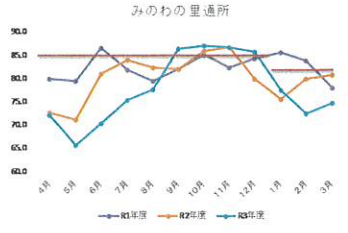
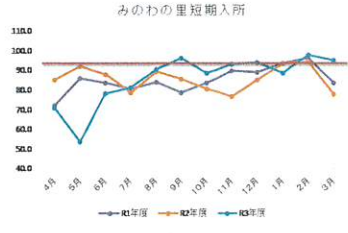
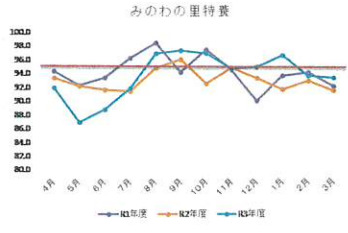
拠点区分	サービス区分	定員	年度	項目	年間目標	単月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
							稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
ごりょうの家	小規模多機能型居宅介護	29	R0年度	稼働率	85.9 %	単月稼働率	72.4	75.9	75.9	65.5	65.5	65.5	69.0	72.4	72.4	65.5	62.1	62.1	62.1
			平均稼働率			72.4	74.1	74.7	72.4	71.0	70.0	70.0	70.3	70.5	70.0	69.3	68.7	68.7	
			R1年度			単月稼働率	69.0	62.1	75.9	82.8	82.8	75.9	72.4	72.4	72.4	72.4	65.5	69.0	69.0
			平均稼働率			69.0	65.5	68.0	72.4	74.5	74.4	74.4	74.1	73.9	75.1	72.7	72.4	72.4	
			R2年度			単月稼働率	58.6	58.6	58.6	62.1	65.5	65.5	69.0	65.5	62.9	63.8	64.9	66.1	66.1
			平均稼働率			58.6	58.6	58.6	60.7	61.5	62.5	62.5	62.9	63.2	63.8	64.9	66.1	66.1	
	R3年度	単月稼働率	71.5	74.0	71.2	68.8	66.3	61.2	62.8	66.0	64.4	59.0	68.1	70.4	70.4				
	平均稼働率	71.5	72.8	72.2	71.3	70.4	68.8	68.0	67.7	67.4	66.6	66.7	67.0	67.0					
	R4年度	単月稼働率	41.0	44.6	41.3	49.1	54.2	49.7	47.5	48.8	49.9	50.7	51.8	53.0	53.0				
	平均稼働率	41.0	42.8	42.3	44.0	46.1	46.7	47.5	48.8	49.9	50.7	51.8	53.0	53.0					
	R5年度	単月稼働率	36.4	33.0	31.7	31.5	26.2	24.7	33.3	36.9	39.0	42.0	36.3	37.8	37.8				
	平均稼働率	36.4	34.6	33.7	33.1	31.5	30.3	30.8	31.5	32.4	33.3	33.6	34	34					
すいれん	介護老人保健施設	100	R0年度	稼働率	92.5 %	単月稼働率	91.9	90.6	90.6	91.2	91.7	91.2	91.2	90.3	89.7	89.1	89.4	89.4	89.4
			平均稼働率			91.9	91.2	91.0	91.1	91.2	91.2	91.2	90.3	89.7	89.1	89.4	89.4		
			R1年度			単月稼働率	86.9	82.9	82.0	83.2	85.2	86.3	84.5	85.8	85.1	87.7	86.7	90.5	89.6
			平均稼働率			86.9	84.9	83.9	83.7	84.0	84.7	84.9	84.9	85.2	85.4	85.8	86.2	86.2	
			R2年度			単月稼働率	51.8	57.7	58.9	58.1	70.8	74.5	74.4	74.3	74.3	80.8	87.7	87.4	87.4
			平均稼働率			51.8	54.9	56.2	56.9	59.8	62.2	63.9	65.2	66.2	67.7	69.4	70.9	70.9	
	R3年度	単月稼働率	58.1	62.1	62.2	63.2	63.2	52.6	52.9	52.8	59.4	55.6	46.5	48.4	48.4				
	平均稼働率	58.1	60.1	61.2	61.7	61.7	59.8	58.7	57.9	57.2	57.4	57.3	56.3	55.7					
	R4年度	単月稼働率	55.1	57.6	61.3	63.7	70.5	66.9	65.5	66.5	66.9	65.5	57.6	56.9	61.4				
	平均稼働率	55.1	57.6	61.3	63.7	70.5	66.9	65.5	66.5	66.9	65.5	57.6	56.9	61.4					
	R5年度	単月稼働率	49.1	51.9	52.8	55.9	58.1	65.6	65.3	65.3	69.2	69.9	67.1	69.6	62.4				
	平均稼働率	49.1	50.5	51.2	52.4	53.6	55.5	56.9	58.4	58.7	60.3	61.2	61.3	61.3					
R6年度	単月稼働率	34.8	34.8	33.3	34.5	36.5	37.5	35.5	35.5	32.5	31.1	30.8	30.0	30.0					
平均稼働率	34.8	34.8	33.8	34.0	34.5	35.0	35.1	35.1	34.6	34.0	33.6	33.2	33.2						
R7年度	単月稼働率	22.5	25.0	26.0	26.5	29.0	30.5	32.0	31.5	33.0	33.0	32.5	33.0	33.0					
平均稼働率	22.5	23.3	23.3	23.6	24.5	25.3	26.2	26.8	27.3	27.3	27.9	28.2	28.6						
R8年度	単月稼働率	20.0	22.0	20.0	23.0	25.0	25.0	25.5	27.5	29.0	30.0	31.0	32.5	33.0					
平均稼働率	20.0	21.1	20.7	21.3	22.1	22.7	23.4	24.1	24.8	25.4	26.1	26.7	26.7						
R9年度	1日あたり	26.3 時間	23.4	23.8	23.8	22.7	20.4	20.6	20.1	21.2	21.7	22.4	22.2	22.2					
平均稼働率	23.4	23.6	23.7	23.4	22.8	22.5	22.1	22.0	22.0	21.9	21.9	22.0	22.0						
R10年度	1日あたり	41.3 時間	34.7	31.1	35.3	35.5	34.6	35.8	35.6	35.8	32.1	32.0	30.3	30.3					
平均稼働率	34.7	32.9	33.7	34.1	34.2	34.5	34.7	34.8	34.5	34.2	34.1	33.7	33.7						
R11年度	常勤1あたり	34.5 件	33.5	34.3	36.8	33.5	35.9	35.8	34.0	37.5	37.0	35.9	36.0	37.0					
平均稼働率	33.5	33.9	34.8	34.5	34.3	34.5	34.5	34.8	35.1	35.2	35.4	35.4	35.4						
R12年度	常勤1あたり	34.5 件	33.5	35.0	32.8	32.3	33.0	32.0	33.0	32.0	30.5	30.5	33.0	33.8					
平均稼働率	33.5	34.3	33.8	33.4	33.3	33.3	33.1	33.1	32.8	32.6	32.6	32.7	32.7						
R13年度	常勤1あたり	30.0 件	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3					
平均稼働率	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3						
ケアフル布施	訪問介護(介護保険) 訪問介護(介護福祉)	-	R0年度	稼働率	30.0 %	単月稼働率													
			平均稼働率																
			R1年度			単月稼働率													
			平均稼働率																
			R2年度			単月稼働率													
			平均稼働率																

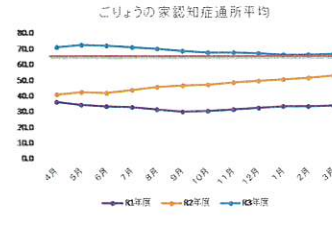
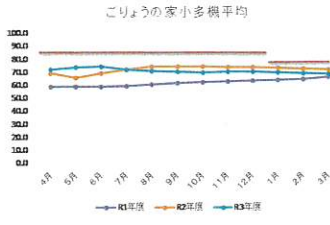
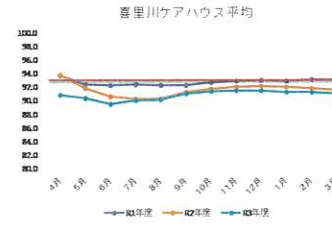
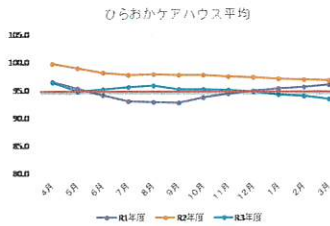
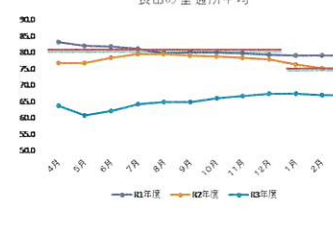
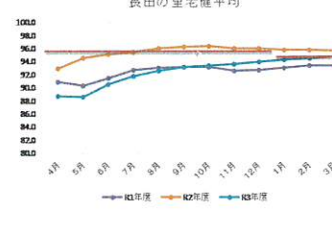
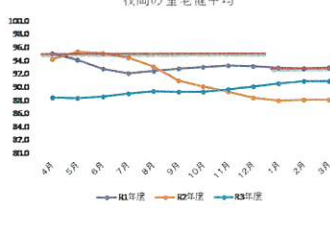
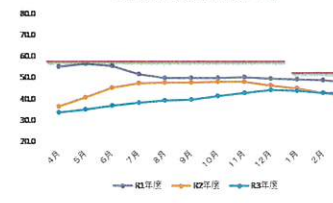
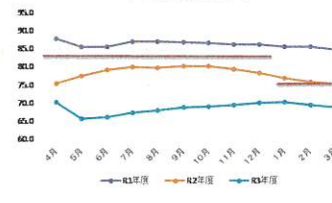
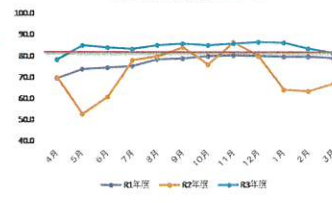
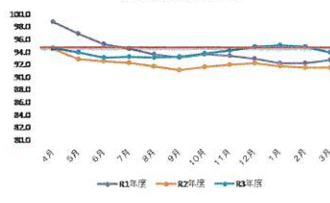
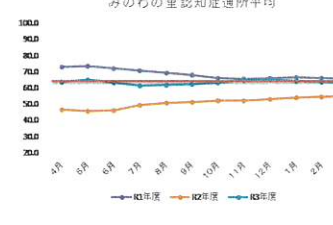
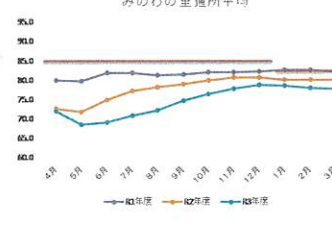
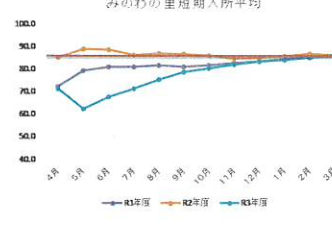
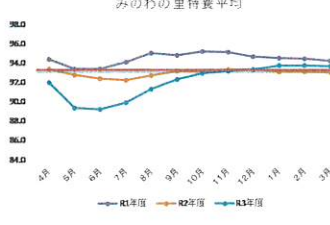
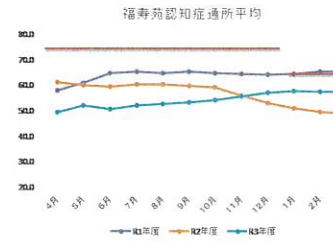
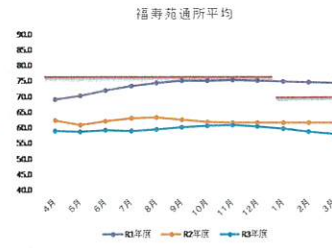
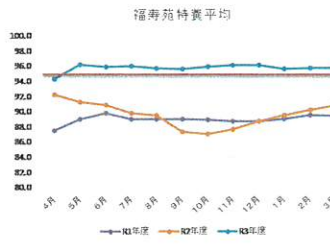
備考
(黄色網掛け部分)

H29年12月18日開設

H30年5月1日開設

H30年6月1日開設





地域における公益的な取組（改正社会福祉法第24条第2項）に類すると考えられる取組

※下記取組については、地域公益事業（改正社会福祉法第55条の2第4項第2号）にも類する取組と考えられる。

実施施設	取組	取組内容	開催時期等
特養 ケアハウス	大阪府社会貢献事業	生活困窮者レスキュー事業として制度の狭間などで生活を抱える方への総合生活相談と緊急支援を行う。	随時
各施設	就労訓練事業 (都道府県認定事業)	自立相談支援機関からの紹介により就労に困難を抱える方を受け入れ、就労の機会と生活面や健康面での支援を行う。	随時
各施設	大阪府広域就労支援事業	就労訓練事業と内容は同様（大阪地域職業訓練センターや福祉事務所からの紹介による）	随時
福寿苑	買い物ツアー	高齢世帯で、ご自身で買い物に行くことができない方に送迎・付添いを行い実施。	4回
ごりょうの家	御領サロン	御領地区の地域住民と、事業所、地域包括、社協等が共同でサロンを運営。	4回
福寿苑	ぼかぼかサロン	ケアハウス喜里川において、誰でも参加可能な地域の集いの場です。合わせて介護相談も受け付けている。	4回
みのわの里 福寿苑	認知症カフェ	地域で生活されている認知症の方ご本人の交流の場としてはもちろん、介護者の情報交換や負担軽減、地域住民の認知症への理解度向上を目的とする	13回

地域における公益的な取組（改正社会福祉法 24 条第 2 項）に類しないと考えられる取組

実施施設	取組	取組内容	開催時期等
各施設	職場体験	大阪府社会福祉人材支援センターに登録。	2 件
各施設	地域の見守り活動	各車両に「こども 110 番」のステッカーを貼り、施設の玄関に「こども 110 番の家」のぼりを立て啓発活動を行っている。	随時
各施設	地域清掃	施設まわりの道、公園等の清掃を実施。	随時
各施設	夢の貯金箱	日本財団の社会貢献自動販売機の設置。	随時
みのわの里 福寿苑 布市福寿苑	介護予防教室	地域包括支援センター主催でリハビリ体操や 3 B 体操を地域向けに開催。	随時
みのわの里 福寿苑 布市福寿苑	家族介護教室	家庭介護をされている介護者の集いの会を開催。	1 1 回
みのわの里	車いす無料貸出し事業	貸出し専用の車いすを 3 台確保し、必要な地域の方に貸与。	随時

付表③

法人内部研修一覧表

月日	研修名	参加者
4/1	理念・ビジョン・経営方針について	令和3年度新卒採用職員
	就業規則について	
	接遇マナーについて	
4/2	人権研修	
	事故発生防止について	
	認知症サポーター	
	認知症の人とのコミュニケーション	
4/3	ご利用者体験・グループワーク	
	介護技術（口腔ケア・誤嚥性肺炎の予防）	
	感染症予防について	
4/5	介護の心得	
	救急救命講習	

本部職員研修参加一覧表

月日	研修名	研修主催機関	参加者
5/13	大塚商会が行っている「Microsoft Teams」 を活用して生産性アップ・セキュリティアッ プ活用セミナー	大塚商会	事務員
5/14	Surface ワークショップ セミナー	大塚商会	事務員
5/26	今、知っておきたい 新人・若手育成のカギ	エン・ジャパン	事務員
6/16	23 卒早期広報スタートダッシュセミナー	株式会社ディスコ	事務員
6/17	コロナ禍で変わる学校のキャリア支援	株式会社ディスコ	事務員
7/1	学生を惹きつける！ 効果的な採用ホームペ ージ制作のポイント	株式会社ディスコ	事務員
7/14	—調査データで見る新卒採用マーケット— 2022 年卒採用の中間総括と 2023 年卒採用の 展望	株式会社ディスコ	事務員
7/15	オンライン時代の次の一手 学生をつなぎと める新しい採用広報ツールの使い方	株式会社ディスコ	事務員
7/27	Microsoft Teams の基本操作と Web 会議の 上手な進め方の研修プログラム	大塚商会	事務員
10/7	Windows 11・新 Office・Windows 365 お客様が知りたい・知るべき「Microsoft」 のアレコレ、まとめて解説セミナー	大塚商会	事務員
2/2	選考歩留まり向上・内定辞退を防止する 採用プロセスの改善ポイントと取り組み事例	株式会社ディスコ	事務員

【1】施設運営を振り返って

(1) 介護保険改定にあわせた対応には科学的介護情報システムへのデータ提出とフィードバック情報の活用により、介護サービスの質の評価と科学的介護の取組を推進するための情報の提出を行い、サービス提供が行えた取り組みには加算取得するように努めました。

コロナ禍における生活には感染状況や社会状況にあわせた対応を行いながら生活習慣に則して感染状況やその対策を徹底しサービス提供を継続いたしました。

(2) 地域連携、協力体制強化におきまして新たな取り組みを展開することが難しく、現状を継続することにとどまりました。また公益的な取り組みとして実施していくにはコロナ禍での行動の制限や対応が大きく影響し課題となっております。

(3) 募集媒体を活用し人材確保に向けた取り組みを行ってきたがその応募状況は多い状況ではなかった。人材紹介においても雇用条件のマッチングが難しい状況があり、労働者の雇用条件にあわせ配置するだけでは安定した介護人材確保とは至らず難しい状況でありました。

(4) 介護職員配置は安定したものとならなかったこと、派遣職員に頼る状況は研修の機会を確保する事や資質向上の研修機会などに充てる時間確保が困難な状況であった。

(5) 外国籍職員との意見交換を行うも、介護職員配置が安定したものとならず、指揮命令等の教育を含めた改善等も十分実施が出来なかった。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	目標	—	100%	67.3%	24.1%	8.5%	0.1%
	実績	—	81.9%	80.8%	26.4%	10.9%	△18.1%
特養	目標	95.0%	100.0%	66.6%	32.5%	11.3%	△10.4%
	実績	95.7%	87.7%	78.4%	32.7%	13.7%	△24.8%
短期入所	目標	99.0%	100.0%	35.0%	18.5%	1.9%	44.6%
	実績	96.9%	81.8%	39.3%	20.8%	2.3%	37.6%
通所	目標	77.0%	100.0%	62.8%	20.4%	14.9%	2.0%
	実績	58.2%	67.3%	93.6%	26.9%	23.1%	△43.6%
認知通所	目標	75.0%	100.0%	63.4%	14.6%	5.9%	16.2%
	実績	57.5%	66.7%	78.3%	16.9%	8.1%	△3.3%

訪問介護	目標	4620 件	100.0%	95.4%	7.7%	1.3%	△4.4%
		1 人 5.0					
	実績	3088 件	56.4%	149.7%	10.3%	2.7%	△62.7%
		1 人 2.7					

※訪問介護の訪問件数は、年間延べ利用者数（上段）と職員常勤1の1日あたりの訪問件数（下段）

居宅介護	目標	2280 人	100%	75.1%	3.8%	1.0%	20.1%
		1 人 39.0					
	実績	2183 人	102.9%	81.1%	3.3%	1.2%	14.4%
		1 人 37.9					
介護予防	目標	2400 人	100%	41.7%	36.3%	—	22.0%
		1 人 39.0					
	実績	2469 人	83.7%	47.3%	44.7%	—	8.0%
		1 人 42.0					
地域包括	目標	170 件	100%	88.8%	14.0%	2.2%	△5.0%
	実績	144 件	96.5%	90.2%	18.1%	2.6%	△10.9%

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

※地域包括支援センターは介護予防教室・家族介護教室・グループ活動支援・地域ケア支援集団・認知症カフェ・認知症サポーター養成講座・生活支援コーディネーター活動（集団）の開催合計件数

【3】事業計画の実施状況

（1）特別養護老人ホーム（短期入所を含む）

①効率的な業務改善を図るため、インカムを3台と中継器を1台導入し使用できる環境を確立致しました。先行してフロア制になった3名の夜勤スタッフに対して、情報共有を目指し使用方法を検討準備中です。

しかしながら、短時間ミーティングの実施には3つのフロアに分かれたスタッフを集結させることに課題があり、インカムの使用が前提になる分遅れが出ている現状です。

来年度は、スタッフによる“判断の差”を無くしご利用者が『安心』できる情報網を確立致します。

②新型コロナウイルスの蔓延により、Web面会や電話面会を駆使しても尚、ご家族とのコミュニケーションにハードルが生じております。お部屋担当からの手紙は継続中で、これに加え6か月ごとのケアプランの文書に“家族の希望や想いの代弁”を意識して構成しております。また意見欄には文書によるご意見の聴取欄を設け、家族の想いに傾聴する姿勢で臨んできま

した。

- ③短時間労働のパートスタッフを雇用し、入浴・食事のスポット要員を調整。数名のパート雇用に成功し現在も就労中です。短時間労働スタッフの雇用には、主に求人サイトの掲載となりますが、継続した掲載には出費が大きくなり課題です。
- ④新型コロナウイルスにより、一度は再開した社会貢献事業も中止せざる負えない状況となりました。住民参加型訓練は新型コロナウイルスのある程度の落ち着きを見計らい、来年度に計画実施してまいります。
- ⑤室温や湿度など、改めて空調管理を徹底することで結果的に年間入院率を抑え月平均 3.7%を達成いたしました。年間で入院者が突出するような月も無く平均して入院率を維持できたことは過去実績からも類を見ない数字で大きく稼働率に貢献したことは言うまでもありません。引き続き健康管理に努め来年度以降も継続してまいります。

(2) 通所介護（認知症対応型を含む）

- ①感染症拡大予防に努めることで、利用者が安心して在宅生活を維持するためのサービスを継続的・安定的に提供できました。緊急時の対応力強化のために法人の委員会のマニュアル作成に参加しました。
- ②事業所全体で自立支援の大切さが浸透してきています。利用者が自ら進んで行動されることで業務改革にも繋がっています。個別ニーズにお応えできる体制が整備され充実しました。
- ③認知症を抱えておられる地域の皆様ができる限り在宅生活を継続したいという希望に添えるよう事業所が取り組んでいることやその意識が地域の皆様にご利用いただいている稼働率にも反映されてきています。

(3) ヘルパーステーション

- ①勉強会は毎月実施、個別指導は随時行った。外部研修はオンラインでの参加を行った。
資質向上については、適宜指導を行う事により、また毎月の勉強会を行う事で向上に努めた。
- ②年度当初より退職を希望していたサービス提供責任者は、今年度末をもって退職となったが、その他の離職者はいなかった。
- ③人員は補充を希望していたが、今年度新たな入職者はいなかった。現状の人員にて、効率的な人員配置、残業を行わない等の努力を行った。
- ④当事業所の取り組みである利用者宅での防災点検は、新規の利用者を中心に、10月に実施した。
防災チェックを行う事により、利用者の防災意識は少なからずとも高まったと思われ、行った結果については利用者にも配布を行った。

(4) 居宅介護支援事業所

- ①対面での外部研修はほぼない状態でオンラインでの受講研修への参加を積極的に進めた。
- ②事業所の質向上のため、伝達研修を実施し情報の共有ができた。
- ③地域包括支援センターが開催する地域の居宅介護支援事業所との事例検討会に参加し情報交換を行った。
- ④毎週開催の居宅会議の際に社会資源の共有を行った。
- ⑤毎月加算要件を満たしているか加算要件確認書にて確認した。
- ⑥担当上限枠の遵守と目標担当件数のバランスを図りながら新規の受け入れを行った。
- ⑦各ケアマネが質の高いケアマネジメントができるよう利用者支援に対しての悩みや支援方法についての相談などが行いやすい環境づくりが構築できた。

(5) 地域包括支援センター

- ①緊急事態宣言下においても、参加者のフレイル予防として感染予防対策を行い集合型の介護予防教室、家族介護教室、認知症カフェの開催を継続している。Zoomによるつどいの場の創設や立ち寄り型の介護予防教室を実施した。
- ②10月1日付で地域活動の確認を行い、マップの原案を作成し、「高齢者生活支援等会議」で各機関、団体より承認を得ている。3月配布を行った。
- ③ケアマネ支援として、今後オンライン研修に積極的に参加していただけるようにとZoom基礎研修を実施。
11月25日にオンラインの多職種連携研修会を開催した。
- ④認知症サポーター養成講座を1回、ハイブリッドで開催したが、通信状況が悪く、うまくいかなかった。
その後は、感染対策を行い、人数制限をして集合型で講座を実施した。
担当エリア内の2小学校に対しては、対面でのキッズサポーター養成講座を実施した。

【4】施設の課題

(1) 事業運営を安全に継続し稼働率向上と維持を行う

コロナ禍での感染予防対策強化を行い、職員へは集中検査を受検させるなど施設内部への感染源を持ち込まないよう努めたが、職員には複数名、施設入所者では2名の感染者の発生があり、予防対策を継続しても発生を防ぐにはには難しさがありました。

次年度以降も感染症の終息のめどは予測できないものであることから、職員には検査受検と健康管理に努めるよう互いに意識啓発を行いながら予防に努めていきます。

(2) 各事業の収益構造の改善

収益構造の改善に向けサービスの質をあげる取り組みについて検討をするように周知し事業所や部門ごとに業務改善に向けた課題の抽出と具体的改善策に向き合い行ってきましたが、計画内容のとおり十分な取り組みには至りませんでした。その要因となるものには人員体制が不安定であったことにより指導教育が十分行えなかった。業務の整理を行い、質の向上に向けたサービスの展開ができる時間を生み出すため人員配置が引き続き課題であります。

(3) 介護人材確保と職員の資質向上

介護職員の人材確保は今年度も大きな課題でありました。職員定着の為に取り組みとして、労働者にも到達目標が見える指導の在り方を検討、導入するなど取り組みを行ってきましたが、ゆとりをもって指導する時間や未経験者への指導には十分なものとならず、定着に至らなかったのがおおきな課題となりました。

引き続き職員が定着し安定した質の高いサービスの提供は必要なことから既存職員が労働者の呼び込める施設となるように情報発信を行ってまいります。

【5】 付表

(1) 年間行事

特別養護老人ホーム

月	行事内容
4	お花見ドライブ
5	母の日・父の日行事
6	夏越の大祓 ～茅の輪くぐり～
7	七夕 ～短冊に願いを～
8	夏祭り
9	敬老祝賀会
10	カフェタイム
11	たこ焼きパーティー秋の夕食
12	クリスマス会
1	元旦祭 鏡開き
2	バレンタイン焼肉パーティー

3	温泉
その他	美容日（第1日）・DVD鑑賞会（第3土）・お誕生日会（第3水） ホーム喫茶（第4水）・レクリエーション（不定期）

デイサービスセンター

月	行事内容
5	第3回 GOTO 福寿苑（菖蒲湯と懐かしのおやつタイム）
6	買い物（移動販売）第4回 GOTO 福寿苑（どくだみ湯と冷やしあめ）
7	七夕行事・敬老祝賀会
10	買い物（移動販売）
11	焼き芋行事（未来カフェ）
12	クリスマス会
1	新年会
3	節分祭・ひな祭り・花見ドライブ
その他	誕生日会

（2）防災訓練

月	種別	内容
8	消火訓練	消火器の使用方法及び水消火器を使用した消火訓練
11	総合訓練	夜間を想定した火災発生時の避難・通報・消火訓練（東消防署立会）
3	土砂災害発生時訓練	地震及び地滑り発生時における避難方法と被害想定規模の説明会

(3) 研修

特別養護老人ホーム

月	研修内容	参加職種
4	個人情報保護について	介護員 生活相談員
5	リスクマネジメントと事例問題	介護員
6	食中毒の傾向と対策	介護員 看護師
7	身体拘束・虐待に関する研修	介護員
9	危険予知トレーニング (KYT)	介護員
10	介護の接遇マナー クレーム・苦情対応研修	介護員 看護師 生活相談員
11	褥瘡予防	介護員 看護師
12	感染症	介護員 看護師
1	認知症ケアに関する研修	介護員
2	高齢者の人権と虐待に関する研修	介護員
3	新型コロナウイルス感染症について	介護員看護師

デイサービスセンター

月	研修内容	参加職種
7	人権研修 (法人) 接遇マナー研修 (法人)	全職種
9	新型コロナウイルス感染拡大防止研修	全職種
10	認知症研修 (認知症を抱えておられる方に対する排泄 ケアと対応)、人権研修 (法人)	全職種
11	認知症研修 (パーソン・センタード・ケア について) 認知症研修 (鳥取方式認知症予防研修) 認知症実践者研修	全職種
12	リスクマネジメント研修 (法人)	全職種
1	認知症実践者研修	全職種
2	認知症実践者研修	全職種

ヘルパーステーション

月	研修内容	参加職種
4	接遇マナー（勉強会）	全職員（勉強会）
5	個人情報保護とプライバシー（勉強会）	全職員（勉強会）
6	感染症と食中毒について（勉強会） 高齢者の発熱について（オンライン） 感染症・食中毒予防対策講習会（オンライン）	全職員（勉強会） 事業副責任者 サービス提供責任者
7	熱中症の予防と対策（勉強会） ヘルパーとケアマネの自立支援プラン 事例検討会&実例報告会（オンライン） 人権研修～高齢者虐待事例をとおして考える（オンライン）	全職員（勉強会） 事業副責任者
8	消火訓練実習・コロナに負けるな！在宅でできる感染症対策の実際（勉強会） 接遇マナーについて 食中毒・感染症予防について	全職員（勉強会） サービス提供責任者
9	救急救命・防災会議（勉強会）	全職員（勉強会）
10	高齢者虐待と人権研修（勉強会） 人権研修（法人オンライン）	全職員（勉強会）
11	感染症の基本と対応について（勉強会） 認知症ケア初級編研修（外部参加）	全職員（勉強会） サービス提供責任者
12	介護技術～移乗・移動（勉強会） 人権研修（法人オンライン） 事故発生時の対応について	全職員（勉強会） 訪問介護員
1	認知症サポーター養成講座伝達研修（勉強会）	全職員（勉強会）
2	メンタルヘルス研修（勉強会）	全職員（勉強会）
3	法令遵守について（勉強会）	全職員（勉強会）

(4) 地域包括支援センター実績集計

地域包括支援センター事業実績報告書

令和3年度年間分	支援センター名	福寿苑	今年度新規相談実人員	467
----------	---------	-----	------------	-----

相談件数	相談者と相談方法	身体状況																																																																								
<table border="1"> <tr><td>実態把握加算対象</td><td>1192</td></tr> <tr><td>加算対象外件数</td><td></td></tr> <tr><td>相談件数合計</td><td>1192</td></tr> </table>	実態把握加算対象	1192	加算対象外件数		相談件数合計	1192	<table border="1"> <tr><th>本人</th><th>家族</th><th>CM</th><th>その他</th><th>計</th></tr> <tr><td>193</td><td>155</td><td>66</td><td>778</td><td>1192</td></tr> </table>	本人	家族	CM	その他	計	193	155	66	778	1192	<table border="1"> <tr><th>不明</th><th>未申請</th><th>申請中</th><th>自立</th><th colspan="2">要支援</th><th>要介護計</th></tr> <tr><td>6</td><td>142</td><td>76</td><td>4</td><td>1</td><td>2</td><td>868</td></tr> <tr><td colspan="7">要介護度</td></tr> <tr><td colspan="7">総合事業</td></tr> <tr><td colspan="7">1 2 3 4 5</td></tr> <tr><td colspan="7">要介護計</td></tr> <tr><td>20</td><td>56</td><td>8</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>78</td></tr> <tr><td colspan="6">計</td><td>1192</td></tr> </table>	不明	未申請	申請中	自立	要支援		要介護計	6	142	76	4	1	2	868	要介護度							総合事業							1 2 3 4 5							要介護計							20	56	8	5	6	1	78	計						1192
実態把握加算対象	1192																																																																									
加算対象外件数																																																																										
相談件数合計	1192																																																																									
本人	家族	CM	その他	計																																																																						
193	155	66	778	1192																																																																						
不明	未申請	申請中	自立	要支援		要介護計																																																																				
6	142	76	4	1	2	868																																																																				
要介護度																																																																										
総合事業																																																																										
1 2 3 4 5																																																																										
要介護計																																																																										
20	56	8	5	6	1	78																																																																				
計						1192																																																																				
<table border="1"> <tr><td>認知症相談件数</td><td>130</td></tr> </table>	認知症相談件数	130	<table border="1"> <tr><th>訪問</th><th>来所</th><th>電話</th><th>計</th></tr> <tr><td>1101</td><td>86</td><td>4</td><td>1191</td></tr> </table>	訪問	来所	電話	計	1101	86	4	1191																																																															
認知症相談件数	130																																																																									
訪問	来所	電話	計																																																																							
1101	86	4	1191																																																																							
<table border="1"> <tr><td>権利擁護援助件数</td><td>26</td></tr> <tr><td>うち虐待関連件数</td><td>26</td></tr> </table>	権利擁護援助件数	26	うち虐待関連件数	26	<table border="1"> <tr><th colspan="3">家族形態</th></tr> <tr><th>同居</th><th>独居</th><th>計</th></tr> <tr><td>589</td><td>603</td><td>1192</td></tr> </table>	家族形態			同居	独居	計	589	603	1192	<table border="1"> <tr><th colspan="6">相談内容及び申請代行</th></tr> <tr><th>介護保険</th><th>介護</th><th>福祉サービス</th><th>保健医療</th><th>家族関係</th><th></th></tr> <tr><td>相談内容</td><td>1040</td><td>73</td><td>9</td><td>25</td><td>31</td></tr> <tr><td>申請代行</td><td>166</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>介護予防</td><td></td><td>基本チェック</td><td>その他</td><td>計</td><td></td></tr> <tr><td>相談内容</td><td>27</td><td>5</td><td>255</td><td>1465</td><td></td></tr> <tr><td>申請代行</td><td></td><td></td><td></td><td>165</td><td></td></tr> </table>	相談内容及び申請代行						介護保険	介護	福祉サービス	保健医療	家族関係		相談内容	1040	73	9	25	31	申請代行	166					介護予防		基本チェック	その他	計		相談内容	27	5	255	1465		申請代行				165																		
権利擁護援助件数	26																																																																									
うち虐待関連件数	26																																																																									
家族形態																																																																										
同居	独居	計																																																																								
589	603	1192																																																																								
相談内容及び申請代行																																																																										
介護保険	介護	福祉サービス	保健医療	家族関係																																																																						
相談内容	1040	73	9	25	31																																																																					
申請代行	166																																																																									
介護予防		基本チェック	その他	計																																																																						
相談内容	27	5	255	1465																																																																						
申請代行				165																																																																						

サービスの状況と利用希望

	ホームヘルプ	デイサービス	デイケア	ショートステイ	訪問入浴	福祉用具	訪問診療等	訪問看護	訪問リハビリ	
現利用										
利用希望	50	112	5	1		98	5	25	7	
	配食	住宅改修	入所	予防プラン	生活援助	短時間	助け合い	つどい	短期集中	計
現利用										
利用希望	18	69	15	75	10	1				491

単位地域ケア会議

会議出席者	介護支援専門員	サービス事業者	医師
	3	3	
	医療機関職員	自治会	民生委員
			3
	校区福祉委員	関係機関	知人
単位地域ケア会議加算対象	初回	最終	1

地域ケア支援・生活支援コーディネーター内訳

相談方法	個別加算対象	35
訪問	個別加算対象外	
7	地域ケア支援個別計	35
	集団加算対象	20
	地域ケア支援加算合計	55
	生活支援集団加算対象	17
相談者	虐待関連相談件数	34
	介護支援専門員	
地域ケア(個別)	1	
地域ケア(集団)	9	
生活支援(集団)		11
地域ケア(個別)		
地域ケア(集団)	2	2
生活支援(集団)	1	1

認知症支援				
認知能力フェ(主催)	認知サポ・認知能力フェ(その他)	認知症本人活動支援(個別)	認知症本人活動支援(集団)	計
8	5			13

高齢者生活支援等会議						
地域活動団体			福祉・介護職			
自治会	校区福祉委員	民生委員	老人クラブ	居宅介護支援	訪問介護	通所介護
4	4		3	4	2	3
医療機関						
医師						
歯科医師						
薬剤師						
その他						
計						
28						
高齢者生活支援等会議加算対象						
4						

実施した支援・内容

地域ケア支援(個別・集団)						
ケアマネジメント支援	ソーシャルワーク援助	情報提供	連携支援	その他	計	
個別				35	35	
集団	5	5	7	1	2	20
生活支援コーディネーター活動(集団)						
生活支援の担い手の活動状況確認	生活支援の担い手養成支援	総合事業の制廃説明等	取組の事例発表	計		
集団	17				17	

生活支援コーディネーター(立ち上げ担い手支援) (担い手支援) 社会資源マップ作成

担い手種別	マップ計	
	1	
助け合い	つどい	計
立ち上げ担い手支援	担い手支援	計

第1層への課題提示

第1層への課題提示加算対象	
---------------	--

地域介護予防推進事業等実績報告書(集計表)

令和3年度年間分

支援センター名 福寿苑

地域介護予防活動支援

相談支援件数	
総件数	
	うちグループ活動支援
6	4

グループ種別					
老人クラブ	校区福祉委員会	自治会	老人ボランティア	その他	計
				6	6

相談方法				
訪問	来所	電話	その他	計
		6		6

教室実施状況

開催件数	
介護予防教室開催件数	59
家族介護教室開催件数	3
リモート型教室立ち上げ件数	

【1】施設運営を振り返って

(1) 職員一同、日頃より感染症対策を講じて新型コロナウイルス感染症予防に努めました。4月～5月、2月～3月に施設入所者及び職員の感染者が複数名判明する状況になりました。

その中で、職員は、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じ、途切れることなく、ご支援が必要な方への介護サービスを提供し続けたことは、本当に感謝であり、不安を持ちながらもご利用者・ご家族・各関係者にとって、なくてはならない存在として、理念に基づいた行動ができました。

(2) 介護記録システムの活用強化について、特養（短期入所）では、日頃より入力事項の課題が生じた際に随時に検討し、解決に向けて取り組みが行えました。

その結果、介護職・相談員等の各関係職員が、利用者状況の把握がスムーズに出来る仕組みに向かっています。

通所介護においても、介護計画書や個別機能訓練計画書を中心に介護記録システムに移行を進めており、特養・在宅サービスにおいて、科学的介護情報システムの入力も進んでいます。

I C T推進について、施設全体で38回の外部研修に参加し、その内WEB開催の研修に27回参加し、職員の資質向上に努めました。テレワークの実施状況につきましても、まだまだ少ない状況です。

積極的に、施設内の情報共有をメールで行うこと、施設内の会議でパソコンを活用し、ペーパーレス化にも取り組みました。

(3) 住み慣れた地域の身近な社会資源としての活動において、昨年同様に「保育所」「障がい者施設」「学校関係」等との交流が、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度もできませんでした。

地域包括支援センターによる「社会資源マップ」が完成し、地域の回覧版で周知活動を行い、また、地域の自治会館等にも設置してもらい、地域に活用してもらえる取り組みを行いました。

施設として、このコロナ禍での地域活動においては、人と人が接する機会が制限される状況であり、課題が継続しています。

(4) O J T（業務を通じての教育）の実施により、職員一人一人の思いを聞き、職場環境の不安解消に努め、働きやすい環境作りを行いました。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠 点	目標	—	100%	65.0%	23.0%	5.0%	7.0%
	実績	—	98.2%	65.2%	23.5%	4.9%	6.4%

特 養	目標	95.0%	100%	59.0%	30.0%	6.0%	6.0%
	実績	93.6%	98.6%	59.6%	28.5%	5.5%	6.4%
短期入所	目標	86.0%	100%	63.0%	23.0%	7.0%	7.0%
	実績	85.8%	104.2%	51.0%	22.3%	6.6%	9.9%
通所 (障害含)	目標	85.0%	100%	72.0%	18.0%	5.0%	6.0%
	実績	77.8%	89.0%	83.7%	14.2%	5.8%	△3.7%
認知通所	目標	65.0%	100%	63.0%	2.0%	3.0%	33.0%
	実績	63.6%	92.4%	50.8%	15.0%	3.1%	31.1%

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

訪問入浴	目標	914人	100%	99.0%	5.0%	8.0%	△12.0%
		1日 3.5					
訪問介護	実績	734人	81.4%	125.9%	4.5%	1.8%	△32.2%
		1日 2.8					
訪問介護	目標	4665人	100%	102%	2.0%	1.0%	△5.0%
		1人 3.5					
訪問介護	実績	4517人	101.9%	107.0%	2.6%	1.2%	△10.8%
		1人 3.2					

※訪問入浴の訪問件数は年間延べ利用者数（上段）と1日あたりの訪問件数（下段）

※訪問介護の訪問件数は年間延べ利用者数（上段）と職員常勤1の1日あたりの訪問件数（下段）

居宅介護	目標	2600人	100%	68.0%	3.0%	1.0%	29.0%
		1人 38.0					
居宅介護	実績	2491人	96.0%	65.8%	2.8%	0.6%	30.8%
		1人 37.4					
介護予防	目標	2160人	100%	75.0%	37.0%	0%	△13.0%
		1人 33.0					
介護予防	実績	2326人	138%	52.1%	39.8%	0.0%	8.1%
		1人 32.9					

※担当件数は年間延べ利用者数（上段）と職員常勤1の1日あたりの訪問件数（下段）

地域包括	目標	133件	100%	84.0%	11.0%	2.0%	3.0%
	実績	152件	113.3%	95.2%	3.9%	2.0%	△1.1%

※開催件数は、介護予防教室・家族介護教室・グループ活動支援・地域ケア支援集団・認知症カフェ・認知症サポーター養成講座・生活支援コーディネーター活動（集団）の合計件数

【3】事業計画の実施状況

(1) 特別養護老人ホーム

- ①ICTの導入や日々の業務を見直し、効率化を図り、働きやすい職場環境を整えます。
 - ・介護記録システムを利用することにより、情報の共有化を図りました。
また、記録の重複の見直しを行い、業務改善に努めました。
 - ・業務改善した時間で、介護士として入所者と関わりを持ち、入所者の声に耳を傾けられる体制を整えました。
 - ・看取り支援について近畿老人福祉施設協議会に参加し発表しました。
自らが実践している支援が入所者の尊厳や、ご家族との関りを通じて高齢者福祉向上に資することに誇りが持てるよう取り組みました。
- ②ご入所者・ご家族の要望に応えるため、個別支援の充実を図ります。
 - ・ゆっくりと入浴したいというご入所者のご要望に応えるため、入浴日とは別の日に入浴剤を用意し、ゆっくりと入浴して頂きました。
 - ・コロナ禍のため、外出や外食は難しいですが、ご要望のあった食べ物をテイクアウトし、召し上がって頂きました。
- ③科学的根拠に基づいた介護が行えるようシステム体制を整えます。
 - ・L I F Eの活用に向けて帳票データの整理を行い、L I F Eへの情報提出を行いました。『褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画書』
- ④安全な食事の提供と内容の充実を図ります。
 - ・食事の検品作業、食器の確認により衛生管理を徹底しました。異物混入が7件と昨年度よりも増加しました。毛（髪の毛・まつ毛）の混入が多かったため、それらに特化した作業の見直し・共有を行いました。引き続き、危機管理の徹底により0件を目指します。
 - ・ご入所者に季節感・楽しい・美味しいと感じてもらえる食事の提供し、都度感じて頂きました。又、ミールラウンドで得た好評な献立等を組み込み喜んで頂きました。栄養ケア会議を通し、一人ひとりの状態に応じた栄養管理を実施しました。
 - ・栄養改善加算について検討しましたが、職員の配置要件が満たせず、取得できませんでした。

(2) 短期入所生活介護

- ①機能訓練体制における機能訓練の充実化を図り、住み慣れた場所で在宅生活が継続して送れるよう支援します。
 - ・専従の職員を配置出来ない為加算取得は出来ていませんが、月に3名程度のペースで機能訓練を実施しています。結果的に満足度の向上及び利用機会の増加に繋がると共に、在宅生活が継続できるよう支援しました。

②併設する特別養護老人ホーム事業と連携を図り、地域の社会資源として応えます。

・コロナ禍という事もあり、予定していた施設サービスが利用出来なくなる事があります。

他の施設サービスを探しているというニーズが多いため、特養や短期のベッドコントロールを柔軟に行い、地域の社会資源として機能を促進しました。

(3) 通所介護・認知症対応型通所介護・身体障害者デイサービス（基準該当）

①通所介護計画書・個別機能訓練計画書の書類作成をブルーオーシャンに移行し、業務効率化を目指します。

・個別機能訓練計画書については、移行完了し、データ管理を複数人で行えるようになり、業務削減できました。通所介護計画書は順次新しいプランから移行しており、令和4年度中には移行完了を目指します。

②月1回以上の内部・外部（オンライン含む）研修参加により各職員のスキルアップを目指します。

・内部研修は毎月行っており、ZOOMを使用した外部研修にも複数参加できました。

役職者・正職が主な参加者となっており、パート職員の参加が今後の課題です。

③栄養スクリーニング加算の取得と高リスクに該当するご利用者の栄養改善支援に取り組んでいきます。

・通所型31名・認知症対応型11名加算取得。高リスクの該当者はいないが、体重管理で減少傾向にあれば事前にお伝えする事が出来ています。

④家族支援の取り組みとして、地域包括主催の催しの協力のため、ご家族に情報提供と参加を促していきます。

・併設の包括でオンライン研修や地域との認知症カフェ（4回）の開催があり、デイのご利用者も参加されました。ご家族への情報提供、参加については今後の課題です。

⑤認知症対応型として、個別ケア支援に取り組んでいきます。

・令和4年4月より認知症対応型に特化した作業療法を毎月行います。特化したサービスについて積極的に居宅介護支援事業所へアピールしていきます。

(4) 訪問入浴

①ご利用者の状況に合わせて、柔軟にサービス提供を行います。

・年末年始に積極的に組み入れを行いましたが、その他の日は、利用者側の他サービスの都合などで行えていません。引きつづき声掛け行っています。

・スポット利用の希望者から定期利用に繋がったケースがありました。

・ターミナル期のご利用者からの依頼が多くありました。引き続き受け入れを行います。

様式を新しくすることで、どの職員でも簡単に調査できるよう改善しました。

②新規利用者獲得のため積極的に営業活動を行います。

- ・居宅介護支援事業所へ実績報告の際、事業所訪問時に空き状況のチラシを配布しました。
- ・過去に実績があり現在は実績のない事業所にもファックスで空き状況チラシを送信し、情報提供を続けました。

(5) 訪問介護

①ヘルパーの採用を促進。

- ・コロナ感染予防もあって地域へのヘルパー募集のチラシは配ることはできませんでした。求人媒体の方も人材確保につながっていません。

②新規利用者獲得に努めます。

- ・年間24名の新規利用者を獲得できたことで、月平均で2名となり、目標達成できましたが、新規利用者が無い月もありました。ばらつきの無いよう積極的に獲得できるよう居宅介護支援事業所へアプローチを行っていきます。

③要介護利用者、特に身体介護を増やします。

- ・上半期は身体介護の割合30%達成できませんでしたが、下半期は30%を超える月が増えました。月平均では29%で、僅かに目標に届きませんでしたが、居宅介護支援事業所の協力もあり、身体介護の依頼を多くもらえました。自費サービスについては時間調整が難しく、今年度は開始できませんでしたが、次年度は実施します。その他、共生型訪問介護の事業所指定に向けて、令和3年9月に同行援護従事者研修を修了しました。

(6) 居宅介護支援事業所

①ご利用者が住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるように医療機関や地域事業者と連携を図ります。

- ・入院時の情報提供や退院時の情報共有を行いスムーズに在宅復帰できるよう、医療との連携を図りました。また、年2回他法人との合同研修や地域の各事業所と情報共有を行いました。次年度も継続していきます。

②認知症研修やウェブ研修に参加し伝達研修を行い、資質向上を図り、地域になくってはならない存在になります。

- ・17件の外部やウェブでの研修に参加し、伝達研修を行いました。次年度は他分野の研修に参加し資質向上を図ります。

③タブレット端末を導入しウェブ会議の参加やテレワークの取り組みを行い、業務効率を図ると共に感染症など災時に対応できるようにします。

- ・テレワークを行い感染症対策の自宅待機時に業務の継続ができ、災時の対応ができました。次年度もテレワークやウェブ会議の参加を増やし、ICT化に取り組み、業務効率化を図ります。

(7) 地域包括支援センター

①既存の予防教室の再編成として、新しい予防教室、体操系2教室・リモートを

活用した予防教室・体操以外の予防教室・10分立ち寄り型(ウォークラリー、スタンプラリー等)予防教室の立ち上げを予定。

・昨年度の教室開催は18回でしたが、今年度は44回開催しました。

②家族支援のための家族介護教室を年4回実施できるよう企画予定。

3月予定の家族介護教室がコロナ感染拡大のため中止となり、年3回の開催となりました。

③みのわ職員向けの認知症サポーター養成講座(年2回)開催。

年2回他事業所も参加し開催しました。

④ケアマネの後方支援として、事例検討会、法定外研修の開催を企画予定。

月1回以上開催し、法定外研修も開催しました。

⑤地域の事業所の後方支援としてZOOMを活用した研修会の開催を予定。

(研修は、みのわ職員対象に施設内で行い事業所には配信で受けて頂く)

新たにZOOMを活用した研修を開催しました。今年度は他包括と協同し法定外研修を開催しました。次年度はみのわの里単独での開催も予定しており、年2回の開催予定です。

⑥認知症カフェについては集会所などでのアウトリーチ型の開催を予定。

今年度はアメリカ集会所で認知症カフェを開催しました。次年度は加納府営住宅での開催を企画しております。

⑦集会所や、店舗などで、出張型相談会なども企画予定。

地域の会場の確保ができず今年度は開催できませんでした。次年度、再度調整を行います。

(8) 事業全体で取り組むべき事項

①各事業で継続的に業務改善に取り組みます。

- ・(特養)尿漏れの実態把握を行い、データを数値化することで、利用者処遇の向上及び経費削減につなげました。次年度は更に検証を進めます。
- ・(短期)ブルーオーシャンの活用により、短期受入時の連絡事項、記録方法を変更し、紙媒体の削減、業務効率の向上につなげました。
- ・(通所)ブルーオーシャンの活用により、個別機能訓練計画をデータ管理にすることで、業務効率の向上につなげました。

②感染症や災害への対応を強化します。

- ・法人の職種別連絡会で、感染症発生時に備えた取組みや業務継続に向けた対策について検討し、BCPを作成しました。
- ・特養・短期の方で4月～5月、2月～3月にかけて利用者、職員ともに新型コロナ感染者が確認され、クラスターが発生しました。保健所の指示のもと、コロナ対応や感染防止対策の徹底を行い、また、診療所においては、PCR検査、抗体治療、内服治療の実施体制を整えることで、施設内療養を実施しました。通所のご利用者でも陽性者が確認されましたが、保健所とスムーズに連携し、

感染防止対策を確実に行うことで、感染拡大を防止し、濃厚接触者も確認されませんでした。

③外国人労働者の支援に取り組みます。

- ・介護技術やコミュニケーション技法の指導、生活サポート等を行いました。
- ・日本語能力検定試験受験に向けて、学習補助を行いました。

④風通しの良い職場環境づくりに取り組みます。

- ・業務監督職が中心となり、職員から寄せられる相談に対し、個別対応を行いました。
- ・OJT・OFF-JTを通じて人間力の向上及び相談しやすい環境づくりに取り組みました。
- ・管理職の方から、朝礼、会議等を通じて「職員同士がお互いを認め合い、話しやすい関係づくり」について意識づけを行い、又、コミュニケーションの場が増えるよう、意識的にミニ会議の活用を促進しました。

【4】施設の課題

＜コロナ過での施設運営の安定化＞

4月～5月、2月～3月に入所者（短期利用者）及び職員の複数人の新型コロナウイルス感染が判明しクラスターが発生。4月～5月は、ワクチン接種が進んでいない状況もあり、特養・短期入所・通所介護（認知症対応型通所介護）の稼働率が大きく低下し、稼働率回復に3ヶ月要することとなりました。

2月～3月は、ワクチンの接種（3回目）が進んだこと、治療薬の処方ができる環境になったこともあり、稼働率低下は4月～5月に比べると抑えることができました。特に、「通所系サービス」の稼働率の維持が難しい年度でありました。

今後も、新型コロナウイルスの変異や時勢の感染対応状況によって、運営状況が変化していくことに対する対応が課題です。

＜事業費・事務費の削減＞

新型コロナウイルス感染症の拡大等状況により、各事業の稼働率が低下することが考えられます。

現在の、事業費、事務費の実態を確認するとともに、無駄をなくし（抑制化）、支出の適正化を図ることが課題です。

＜介護職員人材確保＞

介護職員の人材確保につきましては、ホームページの掲載やハローワークを中心に募集をしていますが、応募が少ない状況は変わりません。そのため、現在、2名の派遣職員を活用しています。

新型コロナウイルス感染症より、介護職員がエッセンシャルワーカーとしての重要

な職業であること、感染症の不安もありますが、感染状況に影響しない安定した職業として、魅力ある職業であることを発信していきます。

<コロナ過での地域活動>

新型コロナウイルス感染症の中で、今年度も「自治会」「保育所」「小学校」「障がい者施設」等との交わりがありませんでした。

理念にありますよう、地域の身近な社会資源としての役割を、コロナ過だから出来なかったと言い訳をせず、また、どうすれば、この状況の中で、地域への社会貢献の取り組みを行うことができるかが課題です。

【5】付表

(1) 年間行事

特別養護老人ホーム

月	行事内容	
4	・屋台行事（施設内行事）	委員会活動
5	・外出行事（お取り寄せ行事）	・広報委員会（3ヵ月に1回） ・防災営繕委員会（3ヵ月に1回）
6	・あおぞら保育園交流会（中止） ・スイカ祭	・給食委員会（月に1回） ・施設介護計画委員会（3ヵ月に1回）
7	・北宮小学校（七夕訪問）（中止） ・吉野家の牛井行事	・特養事故防止対策委員会（月1回） ・入所選考委員会（月1回）
8	・盆踊り大会（各フロアにて）	・特養感染症予防対策委員会（月1回） ・環境美化委員会（3ヵ月に1回）
9	・敬老祝賀会 ・愛保育園児訪問（中止）	・身体拘束防止委員会（3ヵ月に1回） ・特養研修推進委員会（3ヵ月に1回）
10	・紅葉天ぷら行事 ・ハローウィン行事（中止） ・みのわの里福祉祭（中止）	・安全衛生委員会（月1回） ・痰の吸引等安全対策委員会（月1回） ・行事クラブ推進委員会（随時）
11	・秋のドライブ（中止） ・秋の味覚祭 ・北宮小学校 文化交流（中止）	・特養看取り介護委員会（月1回） ・ICT推進委員会（3ヵ月に1回） ・褥瘡予防委員会（月1回）
12	・クリスマス会（各フロアにて） ・年末もちつき見学（中止）	

1	・元旦祭（各フロアにて）	クラブ活動等
2	・節分祭（各フロアにて）	
3	・憩いのお茶会（各フロアにて）	
その他	・誕生日会（月1回開催） ・希望食（不定期） （感染症時期を除く4～9月） お寿司行事（1月・2月）	
		<ul style="list-style-type: none"> ・クッキングクラブ（中止） ・折り紙クラブ（中止） ・習字クラブ（中止） ・カラオケ（中止） ・法話会（中止） ・いきいき歌体操（中止）

デイサービスセンター

月	行事内容
4	春を感じる花見弁当・杖ホルダー作り
5	母の日ランチ
6	梅雨御膳・屋上散歩
7	朝顔のお弁当・夏祭り・アロマジェル作り
8	スタミナ御膳・屋内運動会・オンラインヨガ
9	敬老祝賀会・コサージュ作り
10	天ぶら御膳・秋の屋上カラオケ週間
11	霜月御膳・バーチャル散歩（石切神社）
12	クリスマス会・冬至（ゆず湯）・クリスマスランチ
1	みぞれ鍋・バーチャル初詣・節分飾り
2	初午定食・節分祭・バーチャル散歩（大阪城梅林）・雛飾り
3	桃の節句の花御膳・ひな飾り配置ゲーム・バーチャル花見（深北） デコレーションマグネット・オンライン手品

(2) 研修実施報告

施設全体

月	研修内容
7	人権研修・高齢者虐待防止研修（在宅職員向け）
8	人権研修・高齢者虐待防止研修（施設職員向け）

特別養護老人ホーム

月	研修内容
4	人権研修（OJT） 事故予防研修（危険予知トレーニング）
5	人権研修（OJT）
6	感染症予防研修 危険予知トレーニング
7	褥瘡予防研修 看取り介護研修
8	人権研修（高齢者虐待の具体事例）
9	高齢者虐待防止研修（身体拘束について） 歯科講習会
11	感染症予防研修
12	事故予防研修（緊急時対応）
1	高齢者虐待研修（不適切ケア・身体拘束）
2	歯科講習会
3	褥瘡予防研修 看取り介護研修

デイサービスセンター

月	研修内容
4	コロナ研修
5	認知症及び認知症ケアに関する研修
6	倫理及び法令順守に関する研修
7	事故発生予防又はその再発防止に関する研修

8	事故の発生等緊急時の対応に関する研修
9	感染症及び食中毒の発生の及びまん延の防止に関する研修
10	非常災害時の対応に関する研修
11	安全な送迎の為の取り組み
12	入浴・排泄・食事介助に関する研修・認知症サポート研修
1	接遇マナーに関する研修
2	虐待防止に関する取り組み
3	利用者プライバシーの保護・個人情報保護の取り組み

訪問入浴

月	研修内容
4	介護サービス従事者の基本姿勢サービス従事者の基本姿勢
5	入浴に関する周辺介護技術入浴に関する研修①
6	訪問入浴サービスにおける感染症の予防・コロナ感染対策
7	認知症と認知症ケアの理解
8	障害形態別入浴介護技術
9	入浴のリスクと効果入浴に関する研修②
10	感染症の予防及び蔓延の防止について
11	訪問入浴サービスの役割と意義
12	住宅介護の特徴と基本対応についての理解
1	入浴が身体と心理に与える影響
2	在宅で行われる医療処置の理解
3	苦情・相談への心構えと対応

ヘルパーステーション

月	研修内容
4	新型コロナウイルス感染症予防～うつさない・うつらない介護術～
5	プライバシー保護
6	食中毒の蔓延防止
7	熱中症の予防&緊急時対応
8	認知症及び認知症ケア
9	接遇マナー
10	訪問介護におけるルールや制度
11	感染症予防
12	法令順守
1	事故再発防止
2	訪問介護職のメンタルケア
3	高齢者の身体を知る

居宅介護支援事業所

月	研修内容
4	感染症研修会
5	後見制度の研修会
6	認知症研修 医療に関する研修会（誤嚥）
7	自立支援事例検討会・介護保険事業者集団指導 地域他法人合同事例検討会・人権研修
8	自立支援研修
9	身体拘束研修
10	後見制度研修 東大阪市と介護支援専門員との意見交換会
11	地域他法人合同事例検討会

1 2	東大阪市と介護支援専門員との意見交換会
1	福祉用具勉強会
2	障害福祉研修
3	事例検討会

地域包括支援センター

月	研修内容
4	感染症研修
5	成年後見制度研修
6	認知症研修（認知症サポーター在宅部門研修）
7	自立支援研修・人権研修・生活支援コーディネーター現任研修
8	社会貢献事業研修・人権研修・
9	身体拘束研修会
1 0	人権研修
1 1	法定外研修（住環境）・生活支援コーディネーター現任研修
1 2	認知症研修・認知症サポーター養成講座
1	包括職員研修・福祉用具勉強会・生活支援コーディネーター研修 認知症研修・引きこもり研修
2	重層的支援体制構築に向けた研修会
3	認知症研修会・生活支援コーディネーター現任研修

(3) 防災訓練

月	訓練内容
1 0	日中訓練：職員とご入居者を対象とした通報、消火、避難訓練
2	夜間訓練：夜間並びに日祝日を想定しての夜勤者と宿直者による職員への通報、消火、避難訓練

(5) 地域包括支援センター実績集計

地域包括支援センター事業実績報告書

令和3年度年間分	支援センター名	みのわの里	今年度新規相談実人員	479
----------	---------	-------	------------	-----

相談件数		相談者と相談方法					身体状況						
実態把握加算対象	1458	本人	家族	CM	その他	計	不明	未申請	申請中	自立	要支援		要支援計
加算対象外件数		144	234	81	999	1458					1	2	
相談件数合計	1458						1	200	134	5	454	555	1009
		訪問	来所	電話	計		要介護度					要介護計	
		1422	30	6	1458								
		家族形態					総合事業						
認知症相談件数	116	同居	独居	計		1	2	3	4	5			
権利擁護援助件数	39	898	560	1458		32	41	10	7	7	9	74	
うち虐待関連件数	31						計					1458	

相談内容及び申請代行									
相談内容	介護保険	介護	福祉サービス	保健医療	家族関係				
相談内容	1456	1452	6	27	71				
申請代行	163								
	介護予防	基本チェック	その他	計					
相談内容	3	4	39	3058					
申請代行					163				

サービスの状況と利用希望

	ホームヘルプ	デイサービス	デイケア	ショートステイ	訪問入浴	福祉用具	訪問診療等	訪問看護	訪問リハビリ	
現利用										
利用希望	60	139	47	7	1	121	4	37	21	
	配食	住宅改修	入所	予防プラン	生活援助	短時間	助け合い	つどい	短期集中	計
現利用										
利用希望	8	52	10	121				4		632

単位地域ケア会議		
介護支援専門員	サービス事業者	医師
医療機関職員	自治会	民生委員
校区福祉委員	関係機関	知人
単地域域ケア会議加算対象	初回	最終

地域ケア支援・生活支援コーディネーター内訳

相談方法					個別加算対象		認知症支援	
訪問	来所	電話	FAX	計	22	個別加算対象外	3	認知症力
8		17		25	25	地域ケア支援個別計	25	認知症本人
相談者					集団加算対象		活動支援	
虐待関連相談件数					20		認知症本人	
					62		活動支援	
					生活支援集団加算対象		23	
							計	
							7	

5	2				7
---	---	--	--	--	---

高齢者生活支援等会議						
地域活動団体			福祉・介護職			
自治会	校区福祉委員	民生委員	老人クラブ	居宅介護支援	訪問介護	通所介護
2	2	1	2	1	1	2
医療機関			その他			計
医師	歯科医師	薬剤師				16
1	2	1				2

実施した支援・内容

地域ケア支援(個別・集団)					
ケアマネジメント支援	ソーシャルワーク援助	情報提供	連携支援	その他	計
個別				25	25
集団	4	12	11	13	40
生活支援コーディネーター活動(集団)					
生活支援の活動状況確認	生活支援の担い手養成支援	総合事業の制度説明等	取組の事例発表	計	
集団	13			13	

生活支援コーディネーター(立ち上げ担い手支援)

担い手種別		マップ計
		1
助け合い	つどい	計
立ち上げ担い手支援	担い手支援	計

第1層への課題提示

第1層への課題提示加算対象	
---------------	--

地域介護予防推進事業等実績報告書(集計表)

令和3年度年間分

支援センター名 **みのわの里**

地域介護予防活動支援

相談・支援件数	
総件数	
	うちグループ活動支援
5	5

グループ種別					
老人クラブ	校区福祉委員会	自治会	老人Cボランティア	その他	計
3	1			1	5

相談方法				
訪問	来所	電話	その他	計
4		1		5

教室実施状況

開催件数	
介護予防教室開催件数	44
家族介護教室開催件数	3
リモート型教室立ち上げ件数	

【1】施設運営を振り返って

- (1) 各事業部・部署に運営基準や加算算定要件、人員配置等の運営状況を毎月確認し、施設整備や適切な指導を行う事により施設内ガバナンスの強化に務め管理いたしました。
- (2) 経営状況の分析や対策、事業計画の進捗状況を毎月会議で検討と実践が出来ているかを確認し、既存のサービスの見直しを行って参りましたが、事業によっては新型コロナウイルス感染等による影響を受け収益の安定には至りませんが、その中でもできる限りのご利用者処遇の向上をいたしました。
- (3) 地域の方々の参加による災害訓練等の災害計画や、運営推進会議等により地域の方々と可能な限り交流する機会を持ちましたが、新型コロナウイルス感染状況の影響により相談しやすい拠点づくりに至らず来年度への課題となりました。
- (4) 職責から人事考課を実施、可能な限りOJT、OFF-JT、SDSにより研鑽いたしましたが、人事考課の対象になっていない職務もあり職員のモチベーションの向上については来年度への課題となりました。
- (5) 業務効率を考え、残業削減に取り組みをいたしました。また、仕事と育児の両立が可能な勤務体制を取り働きやすい職場環境を推進いたしました。
- (6) 新型コロナウイルス対策を含めた感染症対策について感染症対策委員会を中心に協議を行い実践し、事業継続計画の策定の取り組みもいたしました。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	目標	—	100%	64.7%	26.9%	3.5%	4.9%
	実績	—	94.4%	70.4%	26.7%	3.6%	△0.7%
特養	目標	95.0%	100%	58.0%	32.2%	5.0%	5.5%
	実績	93.9%	97.5%	63.5%	31.7%	4.9%	△0.3%
短期入所	目標	81.0%	100%	56.9%	25.0%	1.5%	16.5%
	実績	81.4%	101.9%	61.4%	24.2%	1.3%	13.1%
通所	目標	83.5%	100%	54.6%	19.2%	2.4%	23.8%
	実績	68.7%	79.0%	69.5%	22.1%	2.9%	5.5%
認知通所	目標	58.0%	100%	88.0%	15.5%	0.1%	△3.8%
	実績	42.9%	69.4%	122.2%	21.0%	0.1%	△43.3%
グループホーム	目標	99.0%	100%	83.9%	28.7%	3.2%	△15.8%
	実績	99.1%	102.2%	75.1%	24.4%	3.5%	△3%

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

訪問介護	目標	3720人	100%	114.6%	9.8%	1.1%	△25.5%
		1日2.6					
	実績	2657人	74.4%	133.4%	8.8%	1.1%	△43.3%
		1日2.4					

※訪問介護の訪問件数は年間延べ利用者数（上段）と職員常勤1の1日あたりの訪問件数（下段）

居宅介護	目標	2030人	100%	94.8%	6.7%	1.4%	2.9%
		1人2.6					
	実績	1964人	97.0%	94.8%	6.7%	1.4%	△2.9%
		1人34.5					
介護予防	目標	3080人	100%	33.8%	44.0%	2.4%	19.7%
		1人51					
	実績	3125人	102.8%	32.6%	43.2%	2.5%	21.7%
		1人43.4					
地域包括	目標	156件	100%	103.1%	18.5%	0.8%	△22.4%
	実績	107件	99.7%	111.6%	12.1%	0.6%	△24.3%

※開催件数は、介護予防教室・家族介護教室・グループ活動支援・地域ケア支援集団・認知症カフェ・認知症サポーター養成講座・生活支援コーディネーター活動（集団）の合計件数

【3】事業計画の実施状況

（1）特別養護老人ホーム

①毎月の会議の開催や勉強会も実施し、看取りに関する意識・知識の向上に向け取り組みました。

同時に指針、同意書等書類の作成や連絡体制等の整備を進めました。

新型コロナウイルスの感染もあり入院できない環境の中、感染対策の徹底と体調管理に努め各部署連携を取りながら取り組みました。

②随時入所待機者の整理を行い、状況把握に努め進めました。

当施設での新型コロナウイルス感染者が出たこと、また、それ以外の時期もコロナ禍で入所（面談などの部分）と退院（病院内でのコロナ感染状況）に大きな影響がありました。

その中で短期入所から特養入所、入所待機者のショート利用等継続的に短期入所の相談員と連携を取りながら取り組みました。

空床利用についてはコロナの影響もあり多くを調整するまでには至りませんでした。

③介護保険更新時に今後の意向確認を行うため、家族様を含めたサービス担当者

会議を開催することを目標としていたが、コロナ感染予防の為、実現できなかったのが今後の課題です。

ご入所者の希望する外出は実施出来なかったのですが、感染予防、感染拡大予防対策のため定期開催が出来なかった、喫茶・訪問販売等を開催し気分転換を図ることが出来た。

面会については中止している時期もあったが、ウェブ面会やパーティー越しの面会等感染予防に努めながら実施しました。

- ④職員個々のスキルアップや意識の統一のために事故発生時の対応や記録の記入方法の確認、感染症に対する考え方、対応の統一等各委員会と連動させながらマニュアルの見直しや対応の再検討を行い「職員全体での周知」を目標に取り組みました。職員体制が整わない部分もあり次世代リーダーの育成等課題として残る部分もありました。
- ⑤職員の体制状況もあり部署により進捗状況に差は出たが、部分的に記録を電子化したことにより業務効率の改善を図りました。又、各部署がそれぞれの持ち場で記録を確認できる状況を作ることにより情報共有の方法についても一部改善を図れました。

(2) 短期入所生活介護

- ①新型コロナウイルスの影響もあり、定期的な事業所への訪問や在宅サービス事業所との合同での営業活動は行えませんでした。依頼があった新規利用に対しては柔軟に受け入れ対応を行いました。新規利用者数は、昨年度よりも増加しました。
- ②送迎時に、ご家族にご利用者様の様子を聞かせてもらうことにより、ご利用中のサービス向上に努め定期利用をして頂けるように努めました。
緊急利用の依頼に対しても、出来る限り迅速に対応し受け入れをしました。
- ③特養事業との連携を図り、在宅での生活が難しくなったご利用者を長期利用から特養入所へ繋げるよう取り組みました。今年度は14名特養入所へ繋げることが出来ました。

(3) 通所介護

- ①要介護の新規利用者様の76%が個別機能訓練を開始する事ができました。
体験利用の時にリハビリ参加の声掛けして、契約と同時に面談し、利用開始と共に個別機能訓練も行え、利用者様の心身機能維持向上を目指すことができました。
- ②内部・外部やリモートの研修に参加し、個々のスキルアップができました。
また、会議などで資料を他の職員にも配布や伝達する事で、職員全体の知識向上になり、ご利用者に質の良いサービスの提供ができました。

(4) 認知症対応型通所介護

- ①包括と協力し、合同イベントに力を入れ、ご利用者にも好評でした。

運営推進会議については2ヶ月に1回予定していましたが、コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言の影響で3回のみ開催でしたが、会議が中止となった回についても、会議メンバーと書面・電話で情報の交換を行い、地域の情報収集やデイの活動の発信が出来ました。

- ②これまでの聞き取りでのアセスメントに加え、今年度は、ご利用者と一緒にパソコンを使って、ネットでの情報検索（出身地や趣味の画像や動画、その他情報）も活用しました。

また事業所の特色作りと活動の多様性を目的に、園芸や施設通貨を取り入れ、それらが今後も継続できるよう取り組みました。情報発信は、運営推進会議やブログを活用、また営業の際に認デイの新しい取組みをケアマネジャーに報告し、事業所の魅力をPRしました。

(5) 訪問介護

- ①ご利用者・ご家族のニーズに沿って介護保険適用外サービスを必要に応じて提供する事が出来ました。
- ②定期的に新人・各職員への面談や研修等の育成を行いながらサービスの質の向上と職員の定着率に努めました。
- ③各職員の公休希望・有休希望・急な休みにも対応する事が出来ました。
- 又、改善出来る点を検討し各職員の協力を得て効率良く業務が出来るように努め定時時間に業務を終える体制づくりをしました。

(6) 居宅介護支援事業所

- ①地域からの相談事には迅速に対応できるように事業所内で情報の共有ができていたため、近隣の地域包括や地域住民からの相談にスムーズに対応できました。
- ②コロナ禍で病院などへの退院前などの面談は困難であったが各関係機関への共有をできる限りの手段にて図りました。
- ③定期的に会議を開催し支援困難や個別ケースの相談・助言など継続的に行えました。外部研修はオンラインでしたが各自参加に努めました。
- ④他法人と定期的に事例検討会を実施し地域の情報を共有しました。また包括支援センターからの事例検討会や会合にも積極的に参加し地域のケアマネジャーとのつながりを深めました。

(7) 地域包括支援センター

①地域包括支援

- ・第2層協議体会議について、今年度もコロナ禍で協議体委員の方々との開催相談により、高齢者生活支援等会議は1回の開催となりましたが、第2層生活支援コーディネーターとして地域の課題抽出に取り組みました。

来年度も、福祉・介護専門職の方々の任期継続が決定しており、今までやってきた会議での課題と新たな課題を話し合い、地域で対応し解決できるよう取り

組んでいきます。

- ・認知症についての理解を促進するため、認知症サポーター養成講座は2回開催しました。

キッズサポーター養成講座はコロナ禍で小学校での開催が難しく、開催できませんでした。

来年度以降の感染状況を鑑み、実施可能な時期に開催を相談検討いたします。

- ・今年度、居宅介護支援事業所や警察、民生委員から虐待や家族問題の相談があり、気になる高齢者等の情報を頂き、速やかに支援しました。
- ・多職種連携研修会においては、今年度はオンラインで開催し、居宅介護支援事業所や介護事業所から多数の参加があり、学びの機会をつくり、多職種間の情報共有を図りました。
- ・地域の会館をお借りし、介護予防教室・家族介護教室を開催し、地域の介護予防等に努め、また、地域のサロンやグループ活動の後方支援も行いました。

②介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援

今年度も事業計画通り、ほぼ実施できました。目標の数値も超えることができ、引き続き介護予防サービスや介護予防・生活支援サービスなど自立支援に向けて必要なサービス調整を行ってまいります。

(8) グループホーム真寿庵

- ①外出の機会が減りご入居者の運動機能や認知症の症状低下がありましたが、地域清掃や東石切公園の花植えの参加、地域包括支援センターより声掛けいただきオンライン介護予防教室や石切神社オンラインツアーの参加ができコロナ禍であっても地域の中で暮らすご入居者が互いに寄り添い笑顔あふれるおだやかな生活を送ることができました。また外部との交流が難しい中で認知症デイサービスとともに年間行事に取り組み布市菜園の苗植えや健康体操クラブの発足を通じて地域交流をすることができました。

- ②内科医の往診と加算算定により看護師の訪問で医療体制の充実を図ることができ、生活機能向上の為の機能訓練や栄養士からの助言により専門職種等と連携しながら健康の安心につながる取り組みを行うことができました。

看取りの体制整備については人員配置により行うことができませんでした。

- ③記録の時間を削減するため重複した書類をまとめ、入居者ひとりひとりの目標を職員が把握できるようファイリングし、ケアプランに沿った自立支援のサービスを提供することができました。

働きやすく・働きがいのある職場になるように努め、人員配置を整備するため業務の見直しを行いました。職員が日々の業務に混乱してしまい職員個々の優しさや関わりが発揮出来ませんでした。

【4】施設の課題

(1) 財務基盤の安定化

- ・収入は各サービス事業の運営について令和3年度の下半期から改善傾向にありましたが、令和4年1月22日から特養の新型コロナ感染の影響により令和4年1月～3月にかけて大きく収益を落とすことになり、収入の改善までには至らなかったため、引き続き事業計画に沿って改善に務めてまいります。
- ・支出は前年度と比較して人件費は人員配置を見直し、業務改善と並行して進めた結果、ある程度の改善が見られましたが、残業については改善の余地があるため、業務改善や役割分担の整理を進めながら改善に務めてまいります。経費についても法人の方針により見直す余地があるため、引き続き改善に務めてまいります。

(2) BCPに基づく災害訓練等の活動

- ・防災災害対策委員会を中心に地域の方々が参加する予定の災害訓練等を計画に入れて実践する予定でしたが、新型コロナ感染状況により何度も延期になった結果、実施出来ず職員のみによる訓練となったことが課題となりました。次年度に引き継いで実践してまいります。

(3) 人材育成

- ・人事考課の実施や前年度と比較して研修機会（特にOFF-JT）はWEB研修の実施が多く設けられましたが、人員配置の見直しや業務改善に取り組んでいる中、OJTの時間を設けることが出来ない部署もあったため、引き続き業務改善に務めOJTの時間を設け、福祉サービスの資質の向上と職員のモチベーションの向上に務めてまいります。

【5】付表

(1) 年間行事

特別養護老人ホーム

月	行事開催表	委員会活動
4	・日新高校桜祭り（中止） （代替）加納公園、施設敷地内での花見	・広報委員会（月1回） ・給食委員会（月1回） ・環境美化委員会（2ヵ月に1回）
5	・春の外出（中止） ・母の日行事 ・DVD鑑賞会（中止）	・防災営繕委員会（月1回） ・車輛管理委員会（2ヶ月に1回） ・感染予防委員会（2ヶ月に1回）
6	・春の外出（中止） （代替）2階食堂テラスでの喫茶 ・父の日行事	・褥瘡委員会（2ヶ月に1回） ・苦情対策委員会（月1回） ・事故対策委員会（月1回）

7	・花火大会 (中止) (代替) アロマセラピー	<ul style="list-style-type: none"> ・職場研修担当者会議 (月 1 回) ・入所判定委員会 (月 1 回) ・衛生委員会 (月 1 回) ・身体拘束廃止委員会 (月 1 回) ・社会貢献推進委員会 (月 1 回)
8	・夏祭り	
9	・敬老祝賀会	
10	・秋の外出 (中止) ・デザートバイキング	
11	・ファミリー祭り (中止)	
12	・ゆず湯 (中止) ・クリスマス会	<p style="text-align: center;">クラブ活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科クラブ (週 1 回) ・ヨガクラブ (月 1 回) ・化粧クラブ (毎月) ・誕生日会 (毎月) ・訪問販売 (毎月) ・ホーム喫茶 (日曜以外) ・傾聴ボランティア (月 2 回) ・ショートレクリエーション (毎月)
1	・元旦祝賀会 ・初詣 (中止)	
2	・節分 (中止)	
3	・ひなまつり (中止)	
※誕生会食は毎月提供しています。		

※行事の中止はコロナ感染拡大防止のため。また、各種委員会、クラブ活動等においても同様の理由で中止になっている期間があります。

通所介護

月	行事内容
4	桜の花見・春キャベツの一銭焼き・お楽しみ会・季節食
5	買い物ツアー・季節食
6	季節のデザート (プリンアラモード)・季節食
7	季節のデザート (パフェ)・お楽しみ会・季節食
8	夏祭り・季節食
9	敬老会・演奏会・季節食
10	じゃがバター・お楽しみ会・季節食
11	焼き芋・季節食
12	クリスマス会・お楽しみ会・季節食
1	新年会・初詣・ぜんざい・季節食
2	たこ焼き・季節食
3	甘酒・季節のデザート (パンケーキ)・季節食

グループホーム

月	行事内容
4	花見（認知症デイと交流）、布市菜園苗植え（認知症デイと交流）、クラブ活動（2回）、理美容
5	ピクニック（苑内）、クラブ活動（2回）
6	運動会（認知症デイと交流）、布市菜園収穫、クラブ活動（2回）、理美容
7	スイーツバイキング、オンライン介護予防教室、お誕生日会、クラブ活動（2回）、理美容、ヨガ教室
8	夏祭り（認知症デイと交流）、お誕生日会、クラブ活動（2回）、理美容
9	敬老会、クラブ活動（2回）、理美容
10	焼き芋の会（認知症デイと交流）、健康体操クラブ（認知症デイと交流） クラブ活動（2回）、理美容、ヨガ教室、じゃがバターの会（認知症デイと交流）
11	紅葉（東石切公園）、東石切公園花植え（認知症デイと交流）、石切オンラインツアー、クラブ活動（2回）、理美容、ヨガ教室
12	クリスマス会、お誕生日会、クラブ活動（2回）、ヨガ教室、クリスマス交流会（認知症デイと交流）
1	初詣（認知症デイと交流）、お誕生日会、クラブ活動（2回）、理美容
2	節分、お誕生日会、クラブ活動（2回）
3	ひなまつり、お誕生日会、オンライン介護予防教室、クラブ活動（2回）、理美容

(2) 研修実施報告

特別養護老人ホーム

月	研修内容
4	令和3年度 新卒採用研修
5	新型コロナウイルス感染予防対策セミナー
6	令和3年度感染症・食中毒予防対策講習会
	褥瘡予防ケアと用具の選び方、使い方
	拘縮予防研修
	全国社会福祉法人経営者協議会リスクマネージャー養成講座

7	外国人介護人材活用のために知っておくべき教育の現場
	リスクマネジメント研修
	介護施設対談、コロナワクチン接種後の施設対応についての研修
	認知症ケア上級講座
	高齢者虐待・身体拘束勉強会
	令和3年度老人施設部会コーチング研修
8	人権研修
	食事介助についての勉強会
	新型コロナウイルス感染対策講座
	令和3年度特定給食講習会
	認知症ケア研修
	令和3年度対人援助専門職講座
9	医療的ケア教員講習会
	新型コロナウイルスセミナー（自宅療養にそなえて）
	起居関連動作と移乗介助の基本
10	排泄ケアのために必要な基本知識や考え方
	法人人権研修
11	権利擁護・虐待防止セミナー
12	高齢者の人権についてのセミナー
	事故防止の考え方
	認知症サポーター研修

通所介護

月	研修内容
6	介護職の為の感染予防知識について 誤嚥予防・誤嚥時の対処方法について 感染症・食中毒・予防対策講習会
7	人権研修・高齢者虐待について 成年後見制度 人権研修・高齢者虐待について

	感染症
8	食中毒 サービスマナー研修 人権研修・高齢者虐待について
9	コロナでもスタッフが働きやすい環境をつくる
10	インフルエンザ感染を防ぐポイント 人権研修・高齢者虐待について
11	ノロウイルス感染予防について
12	事故防止について 人権研修・高齢者虐待について

訪問介護

月	研修内容
4	接遇・マナー研修
5	食中毒予防研修
6	熱中症の対策・対応について 誤嚥予防・誤嚥時の対処方法について
7	緊急時における介護職の役割 感染症・食中毒予防対策講習会 人権研修 ヘルパー・ケアマネのための自立支援のプラン事例検討会&事例報告会 訪問介護の実践的・業務継続計画「BCP」セミナー
8	認知症の人へのシーン別介助ポイント 接遇マナー研修（法人）
9	プライバシー保護・個人情報研修
10	ヒヤリハット・リスクマネジメント 高齢者の人権研修（法人）
11	感染対策 訪問介護員のための研修
12	人権研修・高齢者虐待について 事故防止の考え方研修（法人）
1	訪問介護におけるルールや制度
2	介護記録の書き方
3	コミュニケーション技術

グループホーム

月	研修内容
7	成年後見制度勉強会 感染症・食中毒予防対策講習会
8	介護事業所における労働法改正について 高齢者虐待についての具体的事例 食事ケア時の感染対策
9	介護者が知っておくべき感染防止対策 コロナ禍でもスタッフが働きやすい環境をつくる
12	事故防止について
1	汚物の処理マニュアル
3	身体拘束適正化の研修

(3) 年間防災訓練

月	内容
4	新規職員を対象とした消火器の取り扱い、消火活動訓練
5	HUGを用いた、災害想定シミュレーション
7	職員とGH利用者様を対象とした通報、消火、避難誘導訓練
9	夜間・日祝日を想定した職員への緊急連絡訓練
10	災害発生時の緊急連絡訓練（メール連絡網）
11	夜間、特養・GH利用者様を対象とした火災発生時の通報・避難訓練（総合訓練）
12	夜間、特養・GH利用者様を対象とした火災発生時の通報・避難訓練（総合訓練）※消防署立ち合い

(4) 地域包括支援センター実績集計

地域包括支援センター事業実績報告書

令和3年度年間分	支援センター名	布市福寿苑	今年度新規相談実人員	551
相談件数	相談者と相談方法	身体状況		
要支援把握加算対象	本人 家族 CM その他 計	不明 未申請 申請中 自立	要支援	
加算対象外件数	208 238 23 1197 1666		1 2	要支援計
相談件数合計			5 315 74 26 607 325	932
認知症相談件数	訪問 来所 電話 計		要介護度	
	1473 66 127 1666		1 2 3 4 5	要介護計
権利障壁援助件数	家族形態		計	
うち虐待関連件数	同居 独居 計		1 50	
	1109 557 1666		計 1640	

相談内容及び申請代行	介護保険 介護 福祉サービス 保健医療 家族関係
相談内容	1461 96 10 35 27
申請代行	205
介護予防	基本チェック その他 計
相談内容	43 22 489 2183
申請代行	205

サービスの状況と利用希望

	ホームヘルプ	デイサービス	デイケア	ショートステイ	訪問入浴	福祉用具	訪問診療等	訪問看護	訪問リハビリ	
現利用										
利用希望	45	128	11	2		91	4	19	15	
	配食	住宅改修	入所	予約プラン	生活援助	短時間	助け合い	つどい	短期集中	計
現利用										
利用希望	4	36	6	118			1	10		490

単位地域ケア会議	介護支援専門員	サービス事業者	医師
会議出席者	医療機関職員	自治会	民生委員
	校区福祉委員	関係機関	知人
	単位地域ケア会議加算対象	初回	最終

地域ケア支援・生活支援コーディネーター 内訳

相談方法	個別加算対象	43					
訪問 来所 電話 FAX 計	個別加算対象外						
29 1 13 43	地域ケア支援個別計	43					
	集団加算対象	16					
相談者	地域ケア支援加算合計	59					
虐待関連相談件数	生活支援集団加算対象	52					
	30						
	介護支援専門員	サービス事業者	主治医	医療機関職員	関係機関	知人	NPO法人
地域ケア(個別)	13	3			27		
地域ケア(集団)	1	1					
生活支援(集団)							
	ボランティア	自治会	校区福祉委員	民生委員	老人クラブ	その他	計
地域ケア(個別)							43
地域ケア(集団)		1					13
生活支援(集団)							52

認知症力	認知症力	認知症力	認知症力	計
フェ(主催)	認知症カフェ(その他)	認知症本人活動支援(個別)	認知症本人活動支援(集団)	

高齢者生活支援等会議	地域活動団体	福祉・介護職
	自治会 校区福祉委員 民生委員 老人クラブ	居宅介護支援 訪問介護 通所介護
	1 1 1 1	1 1 1
	医療機関	その他 計
	医師 歯科医師 薬剤師	
	1 1 1	10
	高齢者生活支援等会議加算対象	1

実施した支援・内容

地域ケア支援(個別・集団)						
ケアマネジメント支援	ソーシャルワーク援助	情報提供	連携支援	その他	計	
個別	2	4	2	7	32	47
集団	1		14	1	16	
生活支援コーディネーター活動(集団)						
生活支援の担い手の活動状況確認	生活支援の担い手養成支援	総合事業の制度説明等	取組の事例発表	計		
集団	52			52		

生活支援コーディネーター(立ち上げ担い手支援) (担い手支援) 社会員募マップ作成

担い手種別	マップ計	
助け合い つどい	計	
立ち上げ担い手支援	担い手支援	計

第1層への課題提示

第1層への課題提示加算対象	
---------------	--

地域介護予防推進事業等実績報告書(集計表)

令和 3年度年間分

支援センター名 布市福寿苑

地域介護予防活動支援

相談支援件数	
総件数	
	うちグループ活動支援
10	10

グループ種別					
老人クラブ	校区福祉委員会	自治会	老人ボランティア	その他	計
				10	10

相談方法				
訪問	来所	電話	その他	計
10				10

教室実施状況

開催件数	
介護予防教室開催件数	39
家族介護教室開催件数	5
リモート型教室立ち上げ件数	

【1】施設運営を振り返って

令和3年度事業運営を振り返り、4つの施設方針の下、地域における枚岡の里の役割を果たせるように施設入所サービス、短期入所療養介護の事業を行いました。

まずご利用者へのケアでは、人権とニーズを尊重した施設計画に基づくケアを推進し、要介護状態の軽減、悪化防止を図りました。その結果、平均介護度が軽減しました。

また気付きや観察、思考を養い、リスクマネジメントを行うことでご利用者が安全で安心した生活を過ごしていただける施設作りに努め、前年度に続き事故件数が減少しています。その一方で、ご利用者の生活の質を高める新たな試みやサービス提供、また職員教育や育成、人材の定着という側面では課題を残しました。

在宅復帰・在宅療養支援機能では年度初めに一時加算型を取り下げることとなりましたが、年間を通して半数以上の月を加算型として運営しました。

老健機能を発揮出来るよう在宅復帰を推進する一方、ターミナルケアの体制を整えるなどして多様化するニーズに応えていける仕組みづくりに着手しました。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
老 健	目標	95.0%	100%	58.2%	26.0%	10.8%	5.0%
	実績	90.8%	96.1%	57.3%	26.2%	10.2%	6.3%

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

【3】事業計画の実施状況

- (1) 特別な取組みの実施には至りませんでした。ご利用者の在宅復帰への可能性を追求する等、部門毎に意識が高まり、在宅での生活を意識したケアを実践することで令和3年度の在宅復帰率は18.4%と目標としていた16.0%を上回りました。(前年度9.4%)
- (2) 医療機関や居宅介護支援事業所へ毎月空室状況の紹介を行い、訪問した際には情報発信だけでなく、ニーズの抽出が行えるように営業活動を行いました。
 広報活動では、広報誌の充実化を図った他、職種別にブログを作成し、コロナ禍でも施設での様子を知っていただけるように情報発信しました。
- (3) 一部の業務にタブレットを導入し、業務改善を行いました。操作方法等に苦勞し、情報共有を行うまでには至りませんでした。また新たな研修体制を見出すことが出来ず、これまでと変わらない研修システムとなりました。
- (4) 新型コロナウイルス感染症への情報収集を行い、変化に応じて適宜対策の見直しや強化を行いました。

感染対策でご利用者の処遇低下や、ご家族への配慮が欠落しないように関わりを持たせていただきました。

- (5) 災害に備え、ご利用者へ早期に介護サービスを提供することが出来るように事業継続計画を策定しました。一方、ライフラインの停止や避難場所となることを想定し、防災備品の購入を計画しましたが、収支状況から次年度に持ち越すことにしました。

【4】施設の課題

施設の課題として、目標値に至らなかった稼働率の改善、安定を図ることが必須ではあります。その為には人材の獲得、育成、定着が求められます。

枚岡の里においては育成から定着までが課題と考えており、将来を想像し、全体で同じ方向に向かって力を付けていく必要があります。そのことは職員の育成力を育むだけでなく、職員の協力や連携にも繋がり、チームでご利用者と関わらせていただくことで質の高いケアを提供出来ると考えています。

また、今年度は前年度に続き地域に貢献する活動や取り組みが出来なかったことも課題と考えており、施設全体の成長を遂げる事が出来ませんでした。

地域と関わりを持つことで人々と出会い、出会いから得る学びや気づきから施設は成長していくと考えています。

昨年に続き、コロナ禍の状況下における施設運営に変わりはありませんでしたが、感染対策をしてきた経験から地域貢献活動再開に向けた検討が必要であると考えています。

【5】付表

(1) 年間行事

月	行事内容
4	花見行事・里喫茶・誕生日会
5	貼り絵による創作行事・里喫茶・誕生日会
6	おやつ行事（たこ焼き）・里喫茶・誕生日会
7	七夕行事・里喫茶・誕生日会
8	おやつ行事（かき氷）・絵ハガキ作り・誕生日会・里喫茶
9	敬老祝賀会・誕生日会・里喫茶
10	ハロウィンパーティー・里喫茶・誕生日会
11	おやつ行事（焼き芋・たこ焼き）・里喫茶・誕生日会
12	クリスマス会・里喫茶・誕生日会

1	元旦祭・里喫茶・誕生日会
2	節分祭・里喫茶・誕生日会
3	新型コロナウイルス感染症対策により開催中止

(2) 防災訓練

月	訓練内容
7	消火訓練
1 1	3施設合同夜間帯想定防災訓練（避難訓練・通報訓練）
1 2	日勤帯想定防災訓練（避難訓練）

(3) 研修

施設内研修

月	研修内容
4	介護報酬改定と在宅復帰推進研修
4	人権研修
5	食中毒研修
6	個人情報保護（プライバシー）研修
8	認知症ケア研修会
9	危険予知トレーニング
1 0	看取り研修
1 1	褥瘡対策研修
1 1	介護技術研修
1 1	感染症（ノロウイルス・インフルエンザ・コロナウイルス）研修
2	身体拘束廃止研修・危険予知トレーニング
2	苦情対策研修
3	高齢虐待研修
入職時	感染症研修・身体拘束虐待研修

施設外研修

月	外部研修内容
6	自立を支援するケアプランの考え方
7	介護現場におけるリスクマネジメント
8	コーチング研修
9	認知症の人への理解を深める研修
9	離職者を出さない施設の取組みと働きやすい職場環境作り
9	高齢者の生活を支える住宅改修と住環境整備の基礎知識
10	成年後見講座
10	介護現場におけるリスクマネジメント
11	認知症ケア上級編
11	看護・介護職のためのポジショニング
11	中河内ブロック老健施設栄養士勉強会
3	要介護施設従事者等による高齢者虐待防止研修会

【1】施設運営を振り返って

この一年は「安定した経営」「機能強化」「地域包括ケアの構築」をめざして、取り組んでまいりました。

「安定した経営」においては、前年度以上に全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大した一年となりました。

そのような中、施設内クラスターを防ぎ、事業を止めることなくサービスの提供を継続でき、多くの方にご入所・ご利用いただけたことは、施設全体で感染症対策に取り組んだ成果であると考えます。

しかしながら、まだまだ感染の終息は見えないなかではありますので、慢心することなくより一層感染症対策に尽力してまいります。

「機能強化」においては、施設開設以来初めて「看取り」を実施いたしました。これは従来の老健に求められるリハビリ機能だけではなく、ご利用者・ご家族の多様なニーズに対応できる可能性を示すことができた取り組みであったと考えます。

「地域包括ケアの構築」におきましては、併設する3事業（介護老人保健施設・通所リハビリテーション・居宅介護支援事業所）はもちろん、地域の介護事業所や医療機関との連携強化を図り、包括ケア構築に努めました。反面、新型コロナウイルスの影響もあり、自治会など地域住民との交流の機会をほとんど持つことができませんでした。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠 点	目標	—	100%	63.2%	24.1%	4.1%	8.5%
	実績	—	95.8%	63.5%	24.6%	4.7%	7.3%
老 健	目標	96.0%	100%	62.4%	26.2%	4.8%	6.6%
	実績	94.8%	98.2%	61.4%	26.5%	5.1%	7.0%
通 所	目標	81.0%	100%	63.2%	17.5%	1.4%	17.8%
	実績	67.0%	79.3%	72.9%	18.3%	3.0%	5.8%
居宅介護	目標	1422人	100%	80.5%	3.4%	0.6%	15.5%
		1人39.5					
居宅介護	実績	1420人	104.4%	79.6%	2.9%	0.4%	17.1%
		1人39.4					

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

【3】事業計画の実施状況

(1) 介護老人保健施設

- ①介護老人保健施設の機能と特色を活かし、在宅復帰に向けての支援を強化します。(目標：在宅復帰率20%)

実施状況

入所される場合には入所前後に自宅を訪問し、ご利用者及びご家族の希望・ご利用者の能力を把握、在宅復帰に係る目標を設定し、多職種のもと施設サービス計画を策定してまいりました。

また、積極的な個別カンファレンスの機会を設けることで、職員の資質及び意識の向上に繋がっていると考えますが、年間の在宅復帰率については、15.5%となり、目標数値を達成できませんでした。

- ②ご利用者の意思を最大限に尊重し、尊厳ある質の高い看取りを行うことをめざし自施設の体制整備を推進してまいります。

実施状況

定期的な終末期ケア委員会の開催と看取りに係る施設内研修を7月には終了し、看取りが実施できるよう体制を整備しました。

結果、開設以来初めての看取りを実施することができました。

- ③介護老人保健施設として安定した経営を継続していくために各種活動を実施いたします。

実施状況

より多くの方にご入所をいただけるように、ベッド回転率5%と稼働率96%を目標として取り組んでまいりました。

コロナ禍のなか、関連機関への訪問営業は困難であったが、リハビリや食事など施設での生活の様子をブログや動画などで可視化するなど情報発信に力を入れてまいりました。結果、ベッド回転率は6.4%と目標を達成することができました。

稼働率につきましては、94.8%と目標を達成することはできませんでしたが、多くの方にご入所していただけたと思っております。

- ④入所者の健康管理に努めます。

実施状況

感染症について、常に新たな情報を取り入れ、感染症予防に係る体制及びマニュアルの整備し、ご利用者への感染を未然に防ぐことができました。

- ⑤地域福祉の拠点となるような包括的なサービスの提供に努めます。

実施状況

併設の居宅介護支援事業所・通所リハビリテーションとの連携強化を図り、ニーズに合わせて包括的なサービスの提供を行えるよう取り組みました。

- ⑥ご利用者の安心安全に施設生活を過ごしていただけるように生活環境を整えていきます。

実施状況

昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大のため、地域との交流や外部ボランティアを招いての行事がほとんど実施できませんでした。

行事に関しましては、大規模なものは行えませんでした。感染症対策を行ったうえで、「食」をテーマにご利用者に楽しんでいただける企画を立案・実施いたしました。

- ⑥安全で快適な食事の提供に努めます。

実施状況

令和3年度より食の質の向上をめざし、委託給食会社を変更いたしました。

毎月、合同の会議を開催し連携が図りながら、行事の企画やメニューなどを検討し、ご利用者に満足していただけるように努めました。

- ⑧施設職員の職務能力の向上と意識改革を行い、ご利用者の意向に寄り添ったサービスを提供します。

実施状況

職員のスキルアップのため、月1回実施しております職員研修の見直しを行ないました。新型コロナウイルス感染対策を中心にグループでの事例検討や体験型の研修を多く取り入れ、職員のスキルアップを図り、ご利用者・ご家族に安心していただけるように努めました。

- ⑨ご家族とご利用者の繋がりを大切にします。

ご家族との直接面会もできない状況が続いていますが、ご利用者への感染を防ぐことを第一としていることをご家族にもご理解いただき、リモート面会にて対応させていただきました。また施設生活のご様子をお伝えするために行事などの写真をご家族に送付しお元気な姿を見ていただきご安心いただけるように努めてまいりました。

(2) 通所リハビリテーション

- ①心身機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために行われる理学療法・作業療法、その他必要なリハビリを提供し介護・看護・療法士など多職種でご利用者の生活を支援していきます。

実施状況

前年度より「自立支援」をテーマに事業運営に取り組んでまいりました。

令和3年度はより個別性の高い機能訓練の実施をめざし、ご利用者の状態に合わせて負荷量や歩行距離を調整するのはもちろん、能力に変化が見られた際は、担当スタッフ同士が話し合い、訓練内容の見直しを検討して、ご本人に相談しながら決定を心掛けてきました。

稼働率67%と目標の81%には届きませんでした。コロナ禍のなか、感染対策を行いながら、新しいサービス提供の形を職員とご利用者協働で作上げることができた1年でありました。

②職員のスキルアップ及び人材育成に取り組みます。

実施状況

外部研修への職員の派遣は行うことができませんでしたが、職員から学びたいことを聞き取り、内部研修で取り上げるなどしてきました。

定期的に上司と部下とで面談を実施しました。そのなかで、個人目標の設定や目標達成に向けての指導や振り返りを行いました。

③業務改善を積極的に行い、働きやすい職場環境作りに取り組みます。

実施状況

業務改善を進めるなかで、現場共通業務と個人業務のバランス調整が難しい状況でした。出来る限り決められた時間内に個人業務が終える事ができるように現場担当の中で連携をとりつつ個人業務での残業時間を減らす事ができました。

④安定した経営を継続していくために各種活動を実施してまいります。

稼働率67%と目標の81%には届きませんでした。居宅介護支援事業所等への訪問営業は自粛したこともあり、新規ご利用者の獲得に苦戦をいたしました。しかしながらコロナ禍のなか、感染対策を行いながら、新しいサービス提供の形を職員とご利用者協働で作上げることができた1年でありました。

(3) 居宅介護支援事業所

①各々の業務の質を高めると共に効率的な働き方をしてまいります。

実施状況

総合事業を含め、ケアマネジャー1人当たりの年間平均件数は39.4件と多くのご利用者を担当させていただきました。

今年度はコロナ禍ではあるが、個人に必要なスキル習得のため、厳選して研修への参加や書籍での自己学習にも取り組みました。

また年2回、管理者と職員間で面談を実施し、個人目標の設定及び評価を行い、人材育成に取り組みました。

フレックス制度やテレワークを活用し、業務効率を図りながらライフワークバランスの実現に取り組みました。結果、残業時間の減少に繋がるとともにご利用者のニーズに合った時間での訪問など柔軟に対応できました。

②地域の諸機関と連携を深める活動をします。

実施状況

新型コロナウイルスの影響もあり、なかなか地域の諸機関と顔を合わせられる

機会が少なかったです。ICT環境を整えて新たな形での連携強化を図っていきます。地域との連携が難しかった分、併設事業との連携強化に尽力してまいりました。ご利用者が住み慣れた地域・ご自宅で生活を継続できるように、併設事業と協力しながら、包括ケアに取り組んでまいりました。

【4】施設の課題

令和3年度は、昨年度以上の新型コロナウイルス感染拡大という状況下での運営が続きました。昨年の経験の活かし、感染症対策を行いながらの運営に取り組んでまいりました。

しかしながら、通いの在宅サービスである通所リハビリテーションでは影響が大きく、稼働率、収支とも目標を達成することができませんでした。

また地域との交流の機会を持つことができない状況が続き、介護老人保健施設として地域に貢献できなかったことが悔やまれる1年となりました。

まだまだ先行きがみえない中ではありますが、安定した運営を行うとともに地域に向けて何ができるのかを考え、実践していくのが大きな課題と考えます。

【5】付表

(1) 行事

介護老人保健施設

月	行事名
4	誕生日会・調理レク
5	端午の節句・誕生日会・調理レク
6	ケーキバイキング・誕生日会・調理レク
7	七夕祭り・誕生日会・調理レク
8	かき氷・誕生日会・調理レク
9	敬老祝賀会・誕生日会・調理レク
10	カップラーメン祭・ハロウィン・買い物・誕生日・調理レク
11	寿司の日・買い物・誕生日・調理レク
12	クリスマス会・買い物・誕生日会・調理レク
1	元旦祭・誕生日会・調理レク
2	節分・買い物・鍋の日・誕生日会・調理レク
3	チョコレートフォンデュ・買い物・誕生日会・調理レク

通所リハビリテーション

月	行事名
4	お花見
5	端午の節句
6	おやつ行事
7	七夕祭
8	流しそうめん
9	敬老祝賀会
10	実施なし
11	実施なし
12	クリスマス会
1	新春行事
2	鍋行事
3	桜の会

(2) 防災訓練

月	種 別	内 容
6	消火器訓練	水消火器を使用して、火災発見から消火活動までの一連の流れを習得する訓練
10	総合訓練	夜間を想定した通報訓練・消化訓練・避難誘導訓練（消防署立会い）
12	地震訓練	大地震を想定して、利用者の安全を確保するための訓練
3	緊急連絡訓練	緊急時、全職員への通報訓練及び緊急動員を要請する訓練

(3) 研修

月	内部研修	外部研修
4	新人研修	
5	食中毒予防研修	
6	事故防止・再発防止研修	
7	ガウンテクニック研修	
8	腰痛予防	感染症予防対策を実践・推進できるリンクナース育成研修
9	非常災害対策研修 接遇・苦情・相談対応研修	感染症予防対策を実践・推進できるリンクナース育成研修 ケアマネ・相談員が知っておきたい成年後見制度
10	身体拘束予防	介護現場におけるリスクマネジメント ～ヒヤリハットと自己の減らし方～
11	接遇・苦情・相談対応研修	
12	感染症予防対策	
1	認知症ケア	
2	事故防止・再発防止・誤嚥防止 ガウンテクニック研修	
3	褥瘡予防研修 身体拘束・高齢者虐待予防研修	

【1】施設運営を振り返って

令和3年度は自立支援を基本に入居者の状態把握に注力を行い、在宅サービス事業所との連携を強化しながら自立支援の継続をおこないました。

それにより施設環境の整備を行い入居者のニーズに寄り添いながら業務改善を進め安心安全な生活を過ごせるように1年間取り組んでまいりました。

新型コロナ感染拡大に先の状況が見えませんが、今後も感染対策に注力をしながら運営に取り組んでいきます。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠 点	目標	95.0%	100%	41.0%	49.0%	10.0%	0%
	実績	94.0%	98.6%	41.6%	59.3%	8.6%	△10.9%

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

【3】事業計画の実施状況

(1) 稼働率の向上を目指します。

チラシ作成を行い、地域包括、居宅介護支援事業所、自治会回覧用に配布をおこないました。

今後はケアハウスの認知度が低いため病院の地域連携室に訪問をおこない、民間賃貸住宅紹介業者への営業にも視野を広げていきます。

(2) 生活の質の向上への取組み

入居者のケアマネジャーの訪問時に職員より声を掛け担当者会議には同席をおこない、入居者の現状把握をし、ニーズに寄り添い在宅生活の支援ができる様にしました。

(3) 入居者の生活の維持・健康管理

入居者の多くは基礎疾患を伴っており、急な体調不良からの退居が続き稼働率の目標には届きませんでした。

令和3年度、基礎疾患にて入院等で退居者数は3名。

今後、医療機関との連携の強化とご家族とも早急な受診を進めて重症化の予防に努め、職員の健康管理に対しての幅広いスキルも必要とされるので、外部研修の参加にも取り組みました。

【4】施設の課題

数値目標が未達成になり稼働率の早急な改善が必要と考えております

現在、ADLの低い入居者も多く、急な退居も考えられる事から待機者確保のため早急に営業方法を考えていく必要があります、専門性の高い職員育成をしていかなければなりません。

令和3年度は新型コロナ感染拡大が続くなか地域との交流等が中止となり、社会貢献活動もできなかったこともあり、今後より一層地域に根差した施設として活動できるかが今後の課題で有ります。

【5】付表

(1) 年間行事

月	行事内容
4	花見会（ドライブ）中止・誕生日・おやつ会
5	端午の節句（菖蒲湯）・誕生日会・おやつ会（たい焼き）
6	誕生日会・おやつ会（冷やしぜんざい）
7	七夕祭り・誕生日会・おやつ会（かき氷）
8	誕生日会・おやつ会（かき氷）
9	誕生日会・敬老祝賀会
10	誕生日会・おやつ会（たこ焼き）
11	誕生日会・おやつ会（たい焼き）
12	誕生日会・クリスマス会・ゆず湯
1	誕生日会・元旦祝賀会・鍋の会中止・おでんバイキング
2	誕生日会・鍋の会中止
3	誕生日会・ひな祭り・鍋の会中止

※地域自治会高齢者と入居者との交流会月2回開催を中止

(2) 防災訓練

月	種別	内容
7	基礎訓練	防災監視盤・非常通報装置・非常用放送設備などの確認及び使用方法を学ぶ基礎訓練、通報、初期消火訓練
11	総合訓練	消防署立会による通報・消火・避難訓練

(3) 研修

月	内容	参加職種
7	事故対策・身体拘束研修 (web)	栄養士
8	感染症、食中毒予防対策研修 (web)	栄養士
	人権研修・高齢者虐待研修 (web)	介護士・栄養士
9	身体拘束ゼロに向けて (web)	介護士
11	事業継続計画 リスクマネジメント (web)	介護士
2	アンガーマネジメント研修 (web)	介護士・栄養士
3	接遇マナー研修 (web)	介護士

【1】施設運営を振り返って

(1) ケアハウス

前年度同様に目標稼働率を93%に設定しておりましたが、結果としては到達には至っておりません。また、入居者並びにその家族との連携強化、地域のコミュニティーになるという目標に関しても、新型コロナの感染拡大が大きく響き、結果未達となっています。令和3年度に関しては、施設入居者、並びに職員側でも新型コロナ陽性者が発生するなどしたこともあり、前年度以上に新型コロナの影響を受けた1年であったと感じています。

(2) 地域密着型デイサービス

前年度に引き続き、稼働率の向上を最重要課題として掲げてまいりましたが、達成には至りませんでした。

ケアハウス同様に職員や利用者側にも感染者が発生するなど、令和2年度以上に新型コロナの影響を受けた1年であったと感じています。

それと同時に、目標達成に向けては、新型コロナの影響があったとはいえ、これまで以上に事業所側の努力が必要であったにもかかわらず、事業所側のアクションが不足していた1年でもあったと感じています。

(3) 短時間デイサービス

地域密着型と同様に稼働率の向上を最重要課題として取り組んでまいりました。結果としては、目標稼働率には届かず、前年度実績からほぼ横ばいといった状況でした。

サービスの提供頻度の見直しやプログラム内容の見直しが今後の課題と考えています。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	目標	—	100%	50.0%	44.5%	5.0%	0.5%
	実績	—	97.4%	54.3%	49.2%	7.7%	△11.2%
ケアハウス	目標	93.0%	100%	40.0%	53.5%	6.0%	0.5%
	実績	91.2%	99.0%	42.5%	55.6%	8.9%	△7.0%
通所	目標	68.0%	100%	84.0%	22.0%	2.0%	△8.0%
	実績	52.7%	91.4%	99.9%	24.4%	3.0%	△27.3%
短時間通所	目標	50.0%	—	—	—	—	—
	実績	25.0%	—	—	—	—	—

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

【3】事業計画の実施状況

(1) ケアハウス

ケアハウスでは①高稼働率の維持、②施設と入居者並びにそのご家族との関係性向上、③地域のコミュニティーを目指すという3点を計画目標に掲げ、事業を進めてまいりました。

①高稼働率の維持については、営業活動の不足により、入居待機者の確保が思うようにできていなかったことと、施設内の居室コントロールがうまく進められなかったことなどが計画未達の大きな要因になったと考えています。

一方、②入居者並びにその家族との関係性向上と③地域のコミュニティーを目指すの2点についても、新型コロナ感染の影響が大きく、地域の集まり等が中止されたり、施設側でも面会制限をかけるなどの対策をとっている中では、目標達成に向けた取り組みを進めるのが困難であったという印象です。

(2) 地域密着型デイサービス

最重要課題として、稼働率の向上を目指しておりましたが、年度当初より稼働は低下傾向にあり、最後の最後まで回復の兆しがないまま、年度末を迎えてしまいました。

年間を通じて人員体制が不安定であったことや新型コロナの影響により営業活動がうまくできなかったこと、事業所としての特徴づくりがうまく進められなかったことが、稼働向上未達の大きな要因と考えています。最終的に、前年との比較で10%程度、稼働率を落とす結果となってしまいました。

また、共に掲げていた「地域に向けた活動の推進」についてもケアハウス同様に新型コロナの影響をまともに受ける形となり、目標達成には至っておりません。

(3) 短時間デイ

稼働率の向上を目標に掲げていましたが、結果としては未達となりました。

要因としては、週に1回という開催ペースや提供するプログラム内容に際立った特徴がないこと、外部へのPR不足などがあげられるとみています。

【4】施設の課題

前年度同様、全事業において計画していた目標が未達となっていることが課題といえます。

ケアハウスに関しては、もともと収益率が低い事業でもあり、高稼働率の維持がより重要となることから、早急に居室コントロールを進め、即時入居可能な状況を整備するとともに、待機者の確保に向けた営業活動の実施が次年度の課題となります。

また、『地域のコミュニティーを目指す』と、『入居者並びにその家族との関係強化』の2点については、令和3年度末時点で新型コロナの影響が大きく残っている

状況であるものの、令和4年4月以降社会活動が各所で再開されつつある状況を鑑みると、今後は、この2点に関する部分についても、何らかの対応や行動が実施できるものと思われますので、その辺りのことも視野に入れて、検討を進めてまいります。

地域密着型デイでは、職員体制の整備が急務であり、この部分が安定しない限り、新規加算の取得や稼働率向上のための特徴づくり、営業スタイルの変更等も困難であると考えています。

また、地域に向けた活動に関しては、ケアハウス同様、社会の新型コロナウイルス感染症に対する考え方が変化していることから、職員体制の安定を図るとともに、実際にどういったことを実施するのかを早急に検討することが課題となります。

短時間デイでは、稼働率の伸び悩みが継続しており、その要因として、地域密着型同様に、事業所としての際立った特徴がないことがあげられると考えています。

また、先にも書いたとおり、サービスの実施頻度についても、見直しが必要ではないかと考えていますが、これについては、現実的に頻度を増やすことは困難であることから、特徴づくりに向けた検討が重要な課題であると思っています。

【5】付表

(1) 行事

ケアハウス

月	行事名
4	おやつレク (イチゴ大福)
5	おやつレク (パンケーキ)、端午の節句
6	おやつレク (ミニパフェ)、衣類訪問販売
7	おやつレク (わらび餅)
8	おやつレク (かき氷)
9	敬老祝賀会
10	喜里川秋祭り、衣料販売会
11	文化祭、おやつレク (焼いも)
12	クリスマス会
1	元旦祭、鏡開き
2	節分祭
3	ひな祭り

地域密着型サービス

月	行事名
4	全国ご当地おやつ巡り（東北・北海道）
5	菖蒲湯
6	全国ご当地おやつ巡り（関東）
7	夏祭り
8	射的大会全国ご当地おやつ巡り（中部、北陸）
10	喜里川オリンピック、全国ご当地おやつ巡り（近畿）
12	大忘年会、全国ご当地おやつ巡り（中国・四国）
1	喜里川映画祭
2	焼き芋大会、全国ご当地おやつ巡り（九州、沖縄）

(2) 防災訓練

月	訓練内容
8	避難訓練（座学による火災発生時の避難方法）
12	防災啓発講習
3	緊急連絡網を使用した通報訓練

(3) 研修

月	研修内容
4	介護保険勉強会
5	身体拘束研修（スピーチロックについて）
6	事故対策研修（熱中症について）
7	栄養学研修（高齢者の食事摂取基準について）
8	個人情報保護に関する勉強会
9	感染症研修（食中毒について）
1	事故対策研修（過去の事例検討について）
3	感染症研修（新型コロナ感染症について）

【1】施設運営を振り返って

地域密着型サービス「ごりょうの家」として、社会資源の一つと認知されること、また地域に貢献できるよう取り組んでいました。

新型コロナの影響で制限されたものの、御領サロンへの参画や、医療介護推進事業、地域清掃を継続していく中で表彰されるなど、一定の活動はできました。

一方で、収支の黒字化については達成できませんでした。

認知症デイサービス、だいたいケアプランセンターに関しては、収入目標はある程度達成できたものの、小規模多機能は目標登録者を達成することができませんでした。

人材育成では、正社員を中心に積極的に進めることができました。

外部研修が制限される中、コロナ前と比べて数は少ないですが、内部研修やリモート研修に切り替えて効率よく実施することに努めました。ただ、パートタイム職員が大半を占める当施設では、時間や日程調整がうまくいかない時もありました。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	目標	—	100%	82.6%	14.2%	14.5%	2.2%
	実績	—	95.0%	96.8%	15.5%	15.8%	△13.0%
小多機	目標	85.9%	100%	79.5%	15.0%	15.2%	4.3%
	実績	70.0%	81.5%	96.1%	16.5%	17.7%	△13.4%
認知通所	目標	65.8%	100%	81.7%	12.0%	14.9%	5.7%
	実績	66.5%	101.1%	92.3%	13.5%	14.6%	△6.5%
居宅介護	目標	635人	100%	114.6%	17.7%	0%	△32.2%
		1人35.0					
	実績	622人	93.7%	119.4%	15.2%	0%	△34.6%
		1人32.8					

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

【3】事業計画の実施状況

(1) 小規模多機能型居宅介護

①早朝や夕食後に対する利用ニーズが多く、それに合わせた人員配置を行い、受け入れることができました。

また要介護3以上の利用者も増え、重度化にも対応しました。

ただ、平均要介護度は上昇したものの、登録者数が減少したことで、収入は前

年度より減少してしまいましたので、新規登録者の増加に努めます。

- ②受け入れ態勢の迅速性、効率性を高めるために、管理者と介護支援専門員の兼務の解消については、候補者の退職や、新規採用ができなかったことから、達成することができませんでした。

変則勤務がないような求人をするなど、引き続き、人員配置ができるように努めます。

- ③訪問ニーズの積極的な受け入れは、通いの代替えサービスとしてPRを行い、昨年度より増やすことができました。

来年度も通いの定員が決まっている中、訪問とうまく組み合わせていきたいと思えます。

- ④自費のリハビリデイや訪問看護、医療保険の訪問マッサージを併用することで、リハビリニーズのある利用者も積極的に受け入れることができましたので、この取り組みは継続してまいります。

(2) 認知症対応型通所介護

- ①OJT に力を入れて研修も実施しましたが、新人職員の退社やベテラン職員の退社が相次ぎ、現状を維持するのが精一杯となってしまいました。

今後は現状の職員で認知症ケア理念に基づいてサービスが低下しないようにしながら必要な業務改善に取り組んでいきます。

- ②今年度もコロナ禍で「家族会」を開催することができず。

「ご利用者満足度アンケート」では「困ったことや悩んでいることを相談しやすい」の項目で「ややしにくい」との意見が1票ありました。去年よりは1票減っているものの、今後ともご家族が何でも相談しやすいような環境を整えていくように努めていきます。

- ③10月頃から看護体制が整ったので個別機能訓練加算の取得に取り組もうとしたのですが、その月から看護職員、介護職員の退社が続き取得できず。

法人全体で実施している「セラピスト・機能訓練指導員の集い」には参加しています。

今後、まずは職員体制を整えて実績向上を目指し、人件費や職員負担などを考慮して加算取得に努めていきます。

(3) 居宅介護支援事業所（川福会だいとうケアプランセンター）

- ①令和2年5月にごりょうの家に移転後、令和3年度も引き続き小規模多機能型居宅介護と認知症対応型デイサービスとの連携の強化を図りました。

相談窓口の強化と関連機関への周知を図り、新規利用者の獲得に努めました。

- ②大東市を拠点に関連機関との連携を図り、地域に根付いた事業展開に努めました。

大東市ケアマネジメント研究会、大東市地域ケア会議等へ参加し、地域の関係機関との連携を広げる取り組みを行いました。

地域の行事参加等は機会が少なかったが、新規相談の受け入れを積極的に行ったことで、地域包括支援センターからの介護プランの紹介が増えました。

③大東市の認証ケアマネジャーの資格維持に必要な研修等へ参加し、資質の向上及びサービスの質の向上に努めました。

④大東市以外に、東大阪市、門真市からの新規相談も積極的に受け入れました。

【4】施設の課題

昨年と同様、一番の課題としては、収益の安定化、収支の黒字化を達成できなかったことです。

各事業の課題は上記で述べていますが、全体としては地域に出向いてのPRがほとんどできなかったことです。

来年度はコロナでの制限も減ってくることが予想されるので、電話やFAXだけでなく、訪問や来所していただくなどの取り組みも積極的に行ってまいります。

令和3年11月に廃止となった、だいたいケアプランセンターとは、社会貢献活動での連携は出来ていたものの、収入につながるような連携はあまり出来ませんでした。

地域支援活動は、コロナ禍でも行ってきた地域清掃、御領サロンへの参画などは継続するとともに、認知症サロン、元気でまっせ体操、介護フェスティバルへの参加など、できる所から再開していけるように努めていきます。

【5】付表

(1) 年間行事

	小規模多機能	認知症対応型通所
月	内容	内容
4	花見	花見ドライブ
5	たこ焼き・野菜の栽培	
6	おやつ作り	懐かしい昔遊びの会
7	七夕祭り	
8	夏祭り	夏祭り
9	敬老祝賀会	敬老祝賀会
10	ミニ運動会・お弁当	
11	焼肉パーティー	文化祭（家族参加型）
12	クリスマス会	クリスマス会
1	初詣・ぜんざい	
2	節分	節分レクリエーション
3	ひな祭り	ひな祭り
該当月	○利用者様お誕生会	○利用者様お誕生会

※御領お楽しみサロンは5回開催

(2) 防災訓練

月	内 容	
4	防災訓練 (緊急連絡網)	非常災害時を想定した職員の緊急連絡網の訓練を行った。
5	総合訓練 (消防署員立ち合い)	緊急事態宣言の為消防署の立ち合いは中止。事業所のみで避難経路の確認、消火器の使用方法の説明などを行った。
8	消火訓練、避難訓練 (夜間帯想定)	小規模多機能（1F）の夜勤帯の火災を想定した訓練。消防隊が到着するまでの間、職員がすべき消火作業、避難誘導方法を身に付ける。
10	防災訓練 (緊急連絡網)	非常災害時を想定した職員の緊急連絡網の訓練を行った。

(3) 研修

小規模多機能・認知症対応型通所

居宅介護支援事業所

月	内容	内容
4	家庭や施設で役立つ感染症対策	自立支援マネジメント研修
5	介護保険、介護報酬	自立支援マネジメント研修
6	すぐに生かせる実践コーチング 研修・食中毒	介護保険事業適正化について
7	人権研修	自立支援に基づくプラン作成
8	サービスマナー・BCP	自立支援マネジメント研修高齢 者の消防
9	地域連携の在り方・身体拘束	高齢者虐待 自立支援マネジメント
10	感染症対策・高齢者の人権	
11		
12	社会貢献活動	
1	サービスマナー（正社員）	
2		
3	サービスマナー（パート） 皮膚トラブル	

※上記はリモート研修か、内部研修となっている。

【1】施設運営を振り返って

昨年度は6つの方針目標を定め、すいれん内にある介護老人保健施設すいれん・通所リハビリテーションすいれん・居宅介護支援事業所ケアプランセンターすいれんが共同し取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、地域の方々との交流を目的とした「すいれん祭り」や「敬老祝賀会」「クリスマス会」などの行事が中止または縮小となりましたが、ご利用者に少しでも楽しんでいただけるよう職員のアイデアを駆使し行事内容を変更しながら実施致しました。

新型コロナウイルス感染対策関係補助金事業により1室に簡易陰圧機を導入しました。

収支の安定化については新型コロナウイルスの影響もあり、入所・通所共に目標を下回る結果となっています。

新型コロナウイルスの影響もあり人員確保が難しく、安定したサービスを行えるまでの人員採用には至っていません。

在宅復帰支援については在宅復帰後も居宅介護支援事業所や通所リハビリテーションと連携する事で新規利用者の紹介や切れ目のない支援を行う事が出来ました。

職員教育については、法人内外の研修に積極的に参加する事が出来、職員の能力向上が見られました。

NAS（施設内共有システム）の運用にも職員活用する事で各事業所間での情報共有が容易になり、新型コロナウイルス感染対策に伴う情報共有はもちろん、会議や研修資料といった情報についてもスムーズに共有する事ができました。

介護老人保健施設につきましては、9月に施設内で新型コロナウイルス感染症の陽性者が出た為、入退所に大きな影響が出ました。

10月下旬より通常通り入退所を実施できる状態となりましたが、退所される方が減らず多くの新規入所者を獲得しても稼働が上がらない状況となりました。

その後も1月下旬に再度、施設内で新型コロナウイルス感染症の陽性者が出た為、入退所に大きな影響を与え、稼働回復に時間を要してしまいました。

退所者の内訳では、入院者が60%程度に対し在宅復帰率が20%前後、特養等の介護施設への入所が20%前後といった形になっており、今後、入院者の減少と在宅復帰者からのリピート利用が稼働の安定や在宅強化型老健移行への課題だと考えています。

通所リハビリテーションにつきましては、様々な制限の中ではありましたが、行事や集団でのレクリエーション等を再開する事が出来ました。

より安心してご利用頂くために、感染対策の見直し・実施を行いました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響によりサービスを自粛される利用者や

施設入所等による利用中止者が多くなり、それ以上に新規利用者の獲得が出来なかった事から稼働率が低下し目標稼働率は未達成となっています。

また、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者や陽性と診断された事による職員の出勤停止が度重なり、少数での人員配置の中で業務を遂行するために必要な体制や準備が出来ておらず、日常業務の実施についても課題が見られました。

今後は送迎ルートや送迎時の乗車人数、個浴・一般浴・機械浴といった入浴サービスを再度見直し行いながら日々の業務管理の体制を再度構築し、コロナ禍の中、急な職員数の減少でも対応できるよう取り組んで参ります。

新規利用者獲得についても、定期的に居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等へ空き状況の確認や感染症対策の取り組みをPRし、ご利用者のご紹介も頂けましたが、空き状況や感染対策以外のアピールが乏しく『サービスの質』に対してPR出来ていなかった事から担当ケアマネジャーを含む他事業所やご家族、主治医に対してサービスの透明化や情報共有がしやすいよう利用報告書を見直し、情報共有を活かしながらご利用者の入院等を未然に防げるよう支援して参ります。

居宅介護支援事業所につきましては、地域包括支援センターからのご紹介を中心に各機関やご利用者、ご家族からも相談を頂けており計画は達成できています。

また、だいたいケアプランセンターとの統合を行い、環境を整備し特定事業所加算Ⅲの算定をする事ができました。今後、受入については定員に達してきているため、人員の確保など引き続き適正な運営ができるように努めていきます。

人件費率につきましては、稼働の向上に伴い人材確保を行ってまいりましたが、計画通りに行えておりません。今後も積極的な人材確保を行い、育成に努めてまいります。

経費率につきましては、稼働率が未達になった事による減少と、本入所の受け入れを積極的に行った結果、医療費や薬に関する費用がやはり多くなっている事等もあり、今後は必要な経費も踏まえて見直しを行ってまいります。

コロナに対する感染症対策に関する支出もありましたが、助成金の申請も行っております。その他の費用につきましてもコスト削減に努めてまいります。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	目標	—	100%	58.3%	27.9%	13.7%	0.1%
	実績	—	100.9%	56.8%	26.3%	13.6%	0.03%
老健	目標	92.5%	100%	55.0%	30.2%	13.9%	0.9%
	実績	89.2%	101%	54.3%	27.6%	13.7%	4.0%
通所	目標	69.0%	100%	68.5%	23.7%	14.0%	△6.2%
	実績	55.9%	94.7%	67.2%	20.5%	14.9%	△2.0%

居宅介護	目標	861 件	100%	126%	10.1%	7.4%	△43.5%
		1 人 24 件					
	実績	997.5 件	128.9%	94.6%	8.2%	5.5%	△0.1%
		1 人 32 件					

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

※居宅介護の件数については予防介護 1 件につき 0.5 件での計算

※居宅介護稼働目標・実績共に上段が年間延べ実績、下段 1 人当たりの月平均実績

【3】事業計画の実施状況

(1) 施設拠点について

新型コロナウイルスの影響により予定していた地域貢献活動や区民祭りへの出店、各関係機関への研修・会議への参加等が難しくなり、拠点での積極的な活動はできませんでした。

(2) 介護老人保健施設

①新たな加算取得に伴い体制の整備を行いました。

作業療法士を 2 名増員した事で認知症短期集中リハビリテーション実施加算も取得でき、リハビリテーション加算実施回数の増加にも繋がったため、収益も向上しています。

②職員の意欲や充実したサービスを提供できるよう研修に力を入れました。

コロナ禍という事もあり WEB での研修が殆どでしたが、法人内外問わず積極的に参加する事ができ、認知症介護実践研修や虐待や不適切ケア等の人権にかかわる研修にも参加する事ができました。

③令和 3 年度介護報酬改定に伴い介護老人保健施設の『在宅復帰・在宅療養支援機能に対する評価』の基準が令和 3 年 10 月より一部変更とされましたが、変更後も加算型算定に必要な安定した評価点数を取得出来ています。また、計画的・意図的な在宅復帰支援についても実施出来ており、在宅復帰後のフォローについても、すいれんの居宅介護支援事業所や通所リハビリテーションと連携し在宅復帰者やそのご家族からも好評を受けています。

④情報公表や自主点検表を見直し、根拠を待って業務改善や職員指導を実施出来る体制づくりに努めました。

⑤記録物の電子化や会議時間、重複業務の見直しを行いました。記録物の電子化について、PC 操作が不慣れな職員に対し研修等を行っていた中、新型コロナウイルスの発生等の影響を受け、人員が少なく業務負担が増大する事が見られたため、現場での運用には至っておりません。会議時間や重複業務については、会議時間の調整を行っていましたが、新型コロナウイルスによる職員の減少を受け、結果的に残業にて会議を出席してもらう事が多くなってしまいました。

⑥地域の社会資源として地域の方々へ認知症の理解や健康情報の発信、運動習慣の提案を実施する予定でしたが、コロナ禍により地域の方々との交流も困難な状況であったため、広報誌を通してのみの発信となってしまいました。

(3) 通所リハビリテーション

①令和3年4月より『運動器機能向上体制加算』『リハビリマネジメント加算 B (イ)』を取得し、ご利用者の身体機能に合わせた個別機能訓練を実施しています。

お休みの際の振替日や行事の際の組み入れを積極的に行いましたが、目標稼働率には届かず収益の黒字化には至りませんでした。

②職員育成について以下の内容を重点的に取り組みました。

内部研修の研修計画を予定していましたが、計画を変更して実施しています。また、業務の効率化について検討し、リハビリ会議や面談・契約の手順の見直し・マニュアル化を行う事で書類管理体制の強化や円滑に業務を進める事が出来るようになりました。

新人職員の育成については基本業務を元に色々な職員のやり方を参考に出来るよう役割毎の指導担当制度を検討しました。

介護技術の面では就業後の時間を活用し実際の業務中に困った介護技術に対し研修等を通じて実践に繋げていきました。

今後は各種法令や運営への知識を深めていく事が課題となっています。

③コロナウィルス対策の体制として、ウィルスを持ち込ませないよう送迎時や連絡帳にて、ご家族との連携を密に行ない状況を確認してまいりました。

デイルーム入室前の検温を徹底し、席もパーテーションを設置し対面にならないよう1テーブル2人での対応を実施しております。定期的な換気や、口腔ケアや手洗い時も1人ずつ誘導を行ない、密にならないよう配慮しました。

直接介助の際は、フェースシールド、手袋の着用を徹底し、送迎車の車内もパーテーションで仕切り、換気を常時実施し感染防止に努めます。

職員の感染対策に関する知識や技術、連携を見直し、職員への感染対策意識を常日頃持つよう指導を行なって参ります。

(4) 居宅介護支援事業所

①引き続き感染症の流行が予断を許さない状況でありましたが、リモートでの会議、研修の実施など積極的に参加する事ができた。地域の体操教室については、活動自体を自粛されていた事もあり、地域との繋がりが弱い1年でとなっています。

②令和2年6月より介護支援専門員の求人募集を行っているが、人材確保に至っておらず、令和3年9月頃より定員に達しており新規相談の対応が難しい状況でした。

令和3年12月よりだいとうケアプランセンターと統合に伴い、介護支援専門員が増員となったが、各介護支援専門員で担当利用者を抱えているため、急な人材の確保が必要な状況となっている。

③介護老人保健施設と連携を図り11件の入所相談、在宅復帰などの支援が行えた。

【4】施設の課題

職員育成の面では、中堅職員が役職者へのサポートや新人職員へのフォローといった体制の弱さが見られており、特に職場での教育については役職者が行ってしまっており中堅職員が育成を行う体制が整っておらず課題となっております。自身の役割について知り、何をすべきなのかを明確化していくために、積極的に役割を与えていこうと考えています。

在宅復帰についても、在宅復帰率は伸びてはいるものの、リピーターとしての利用が無いことから在宅復帰率のバラつきが月ごとに大きく稼働と在宅復帰率のバランスがあまり取れていない状況です。今後は、ご家族へ老健の役割と期間を定めての在宅復帰の提案を行う事で在宅復帰後の再入所の調整等を含め、具体的な方法を説明できるよう、すいれんでの居宅介護支援事業所及び通所リハビリテーションと連携を行いながら一定期間の在宅復帰ケースを多く作っていく予定です。

【5】付表

(1) 年間行事

介護老人保健施設

月	内容
4	屋上お花見
5	端午の節句
6	喫茶【食べ物の企画】
7	七夕会
8	夏祭り
9	敬老祝賀会
10	室内運動会 秋まつり
11	喫茶【食べ物の企画】
12	クリスマス会
1	元旦祝賀会

通所リハビリテーション

月	内容
4	未実施 誕生会
5	未実施 誕生会
6	喫茶 誕生会
7	七夕祭り 誕生会
8	納涼祭 誕生会
9	敬老祝賀会 誕生会
10	運動会 誕生会
11	温泉行事 誕生会
12	クリスマス会 誕生会
1	書初め 誕生会

2	節分
3	桃の節句

2	節分（中止） 誕生会
3	ひな祭り 誕生会

(2) 防災訓練

月	種別	内容
5	基礎訓練	新人職員を対象とした、施設の防災機器・器具の場所及び取り扱い方法等を周知行う。
9	消火訓練 合同防災訓練	消防署職員立会の元、水消火器を用いた防災訓練と、夜間想定消防訓練を実施。火災時の対応等についての訓練を行った。
12	緊急連絡網訓練	LINE を用いての緊急連絡網の訓練を行った。
2	避難訓練	施設で火災が発生した際の避難方法の周知を各部署で行う。

(3) 年間集団リハビリ

介護老人保健施設

内容：今日は何の日 脳トレ 手遊び 全身体操 深呼吸

月	実施日	参加人数
4	7・14	31名
5	5・12・19・26	34名
6	2・9・16・30	27名
7	7・14・21・28	32名
8	4・11・18・25	44名
9	コロナ発生の為中止	0名
10	コロナ発生の為中止	0名
11	3・10・17・24	39名
12	1・8・15・22・29	63名
1	5・12・19・26	92名
2	コロナ発生の為中止	0名
3	16・23・30	38名

(4) 研修

介護老人保健施設

月	内部研修内容
4	・感染症対策研修（手指消毒・手袋装着実施研修）・新職員研修
5	・感染症対策研修（手指消毒・手袋装着実施研修）・避難訓練
6	・食中毒について
7	・事故後の受診時の対応について（高齢者安全対策委員会）
8	・水消火器訓練 ・認知症研修（身体拘束廃止委員会）
9	・認知症研修（身体拘束廃止委員会）・褥瘡ケア研修
10	・褥瘡ケア研修
11	・救急搬送研修・嘔吐処理の研修（感染症対策委員会）・避難訓練
12	・嘔吐処理の研修（感染症対策委員会）・緊急連絡網訓練 ・危険予知訓練（高齢者安全対策委員会）
1	・高齢者虐待研修（身体拘束廃止委員会） ・危険予知訓練（高齢者安全対策委員会）
2	・事例検討研修・高齢者虐待研修（身体拘束廃止委員会） ・ハラスメント研修
3	・苦情対応研修（苦情対策委員会）

月	外部研修内容
5	鶴見区介護保険事業者連絡会 総会
6	・「在宅復帰、在宅支援」実地研修プログラム ・リスクマネジメント研修・接遇、苦情対応の研修
7	・大老健懇話会 ・認知症高齢者看護ケア研修会 ・感染症予防知識 ・福祉職員のメンタルヘルス研修 ・求人、広報力の向上研修
8	・相談面接の技術 ・褥瘡予防ケアと用具の選び方、使い方 ・住宅改修と住環境整備の基礎知識 ・社会福祉施設における防災、減災の取り組みについて
9	・鶴見区内老健・特養栄養士連絡会 ・外国人雇用セミナー
10	・職員接遇研修 ・介護老人保健施設における感染症予防について
11	・特定給食講演会
1	・オムツ研修
2	・口腔ケア研修

通所リハビリテーション

月	内部研修内容
4	感染症研修
5	成年後見人制度研修
6	個人情報保護研修
8	サービスマナー研修
9	人権研修
10	高齢者虐待・身体拘束研修 職員接遇研修
11	接遇技術向上研修
12	介護技術認知症基礎研修
1	緊急・救急時対応研修 オムツ研修
3	褥瘡予防研修・事故防止リスクマネジメント研修・ハラスメント研修

月	外部研修内容
9	安全運転者講習会・身体拘束研修
12	認知症サポーター養成講座・人権研修

居宅介護支援事業所

月	外部研修内容
4	・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議）
5	・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議） ・WEB 講座 まずは基礎から 自立の概念、ICF、ストレンクスなど
6	・令和3年度 介護事業者等集団指導（オンライン指導） ・令和3年度大阪委託事業 感染症・WEB 研修 透析について学ぼう ・食中毒予防対策講習会（動画視聴型）
7	・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議 事例提出） ・令和3年度 鶴見区介護保険事業者連絡会総会（書面議決） ・大阪府訪問看護実践研修 高次機能障害ってなに
10	・令和3年度 ケアマネット連絡会総会（書面決議） ・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議）
11	・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議）

1 2	・市東ブロック教育ステーション 在宅現場での薬剤師の役割
1	・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議）
3	・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議） ・令和3年度 第2回 鶴見区ケアマネット（リモート研修） 『認知症の1歩手前？軽度認知障害（MCI）を知ろう！』

月	内部研修内容
4	・施設内研修 ICFについて（介護老人保健施設すいれん 療法士） ・法人内研修 感染症予防について（特別養護老人ホームみのわの里）
5	・法人内研修 成年後見人制度について（特別養護老人ホームみのわの里） ・施設内研修 手洗い方法・使い捨て手袋の外し方（感染症委員会） ・施設内研修 高齢者虐待（通所リハビリ）
6	・施設内研修 食中毒について（給食委員会）・防災訓練（防災委員会）
7	・法人内研修 人権高齢者虐待について（特別養護老人ホームみのわの里）
9	・施設内研修 スピーチロック（身体拘束防止委員会）
1 1	・施設内研修 嘔吐処理実施訓練（感染症対策委員会）
2	・施設内研修 ハラスメント研修 ・施設内研修 高齢者虐待について（身体拘束委員会） ・法人内研修 重層的支援体制制度を見据えての障害サービスとの連携 （特別養護老人ホームみのわの里）
3	・施設内研修 苦情対応の基本（苦情対策委員会）

月	その他
6	・大阪府介護支援専門員実務研修 実習受入（1名）
7	鶴見区諸口地域の百歳体操参加

【1】施設運営を振り返って

(1) 訪問介護の収入回復に向けて、特定事業所加算Ⅱの取得準備を進めましたが、大阪府ICT導入支援事業補助金交付申請が非該当となり、加算取得は実行できませんでした。稼働率も横ばいで推移した為、収入回復には至っていません。

障害福祉についても、移動支援がコロナ禍の影響を大きく受け、又、居宅介護と重度訪問の内、利用頻度の高い利用者が相次いで中止になったこともあり、昨年よりも稼働率が低下し、収入減となりました。

引き続き、訪問介護については、加算取得により収入の底上げを図ると共に、障害福祉については居宅介護を中心とした、新規利用者の獲得、既存サービスの追加利用を促進する必要があります。

(2) 変形労働制の導入により、休日出勤や残業時間が大幅に削減され、労務管理上、一定の効果が得られました。柔軟なシフト調整が可能になった点も大きなメリットです。

又、居宅介護支援のモニタリング記録を別紙からシステム入力に変更したことやモニタリングの開始時期を通常よりも早めたことも、業務改善として一定の効果があり、残業時間の削減につながりました。

その他、ICTの活用について、訪問介護でタブレットを導入し、リモート会議を開始する予定でしたが、補助金が非該当となったため、実行できませんでした。

(3) 居宅介護支援において、自法人の特養、老健入所、緊急ショート等の利用を促進することで、スケールメリットを活かしたスムーズな連携体制を構築し、包括的な支援、利用者処遇の向上につながりました。今後はエリアを問わず、自法人の通所系サービスについても利用を促進します。

(4) 法人の訪問介護連絡会に参加しましたが、ケアフル布施が持つ障がい者支援、高齢者支援の知識、技術等を法人内で活かす機会は持てませんでした。

次年度は、とりわけ障がい者支援に関する知識や技術、ノウハウ等について、法人全体で共有し実行できるよう、連絡会や勉強会を通じて情報発信します。

(5) 職員教育については、コアメンバーを中心に目標管理、OJTを行ってきました。

外部研修については、コロナ禍でもあり、ケアマネジャー、サービス提供責任者とも、参加機会は少なかったです。

次年度は、リモート等の活用により積極的に研修に参加し、専門的知識、技術の習得に努めます。

又、登録ヘルパーに対して2か月に1回研修を開催し、サービスの質の向上に努めます。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠 点	目標	—	100%	90.5%	7.4%	0.8%	1.3%
	実績	—	85.5%	96.3%	6.6%	1.0%	△3.9%
訪問介護	目標	9600 時間	100%	132.4%	9.2%	1.4%	△43.0%
		2.1 時間					
	実績	8016 時間	85.9%	134.7%	9.6%	1.7%	△46.0%
		1.8 時間					
障害福祉	目標	15060 時間	100%	54.0%	5.4%	0.2%	40.4%
		3.3 時間					
	実績	12314 時間	81.7%	63.9%	3.4%	0.2%	32.5%
		2.8 時間					

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

※訪問件数は年間延べ利用時間（上段）と職員常勤1の1日あたりの訪問時間（下段）

居宅介護	目標	828 人	100%	95.0%	8.8%	1.3%	△5.1%
		1 人 34.5					
	実績	849 人	98.9%	90.4%	8.6%	1.3%	△0.3%
		1 人 35.4					

※担当件数は年間延べ利用者数（上段）と職員常勤1の1か月あたりの担当件数（下段）

【3】事業計画の実施状況

（1）訪問介護

①経営の安定化を図ります。

- ・特定事業所加算Ⅱの取得に向けて準備を進めてきましたが、大阪府ICT導入支援事業補助金交付申請が非該当となり、情報共有システムを導入できなくなったため、加算を取得できませんでした。
- ・ケアマネ、他事業所のサービス提供責任者、医療関係者に対し、常に声かけを行い、営業を行いました。新規利用者数は、月平均2.75名で、目標6名を達成できませんでした。

②ヘルパーの採用を促進します。

- ・求人媒体や知り合い等への声掛けにより人材確保に努めました。
求人媒体による応募はありませんでしたが、職員、利用者からの紹介により、登録ヘルパー4名採用できました。
次年度も、職員、利用者からの紹介に注力しながら、ヘルパー確保に努めるとともに、ヘルパーの空き状況を確認のうえ、効率的、効果的に登録ヘルパーが稼働するよう、綿密なシフト調整を行っていきます。

③サービスの質の向上に努めます。

- ・コロナ禍により、登録ヘルパーの研修会は、2ヶ月に1回書面で行いました。意見交換シートを用いて、ヘルパーが個々の課題を把握し、サービスの質の向上に取り組みました。
 - ・利用者宅へ引継ぎノートを設置し、他事業所も含めて、多職種連携を密に行いました。ヒヤリハット報告書や事故報告書の内容について指導・助言し、改善事項やサービスの質の向上につなげました。
- 次年度は、登録ヘルパーに対して、個々の問題解決能力が向上するよう、研修体制の充実化に取り組みます。

(2) 居宅介護支援事業所

①地域包括支援センターや各関係事業所への定期訪問を行い、情報共有と関係づくりに努めます。

- ・大阪市東成区の包括や圏域内の包括に定期訪問し、情報共有や関係づくりに努めました。その結果、包括より、ほぼ毎月、新規ケアプランの依頼を受けるようになりました。

ケアプラン数についても、昨年度は1人当たり月平均32.7件だったのに対し、今年度は35.4件で、2.7件増加しました。

②業務の効率化を継続し、残業時間の削減に努めます。

- ・モニタリング記録を別表で作成していましたが、「ほのぼの」の支援経過に入力することで、システムの効率化を図りました。又、モニタリングの開始時期を早めたり、毎日16時までに事務所に戻り、残りの時間を記録業務に当てるなど、時間の効率化に努めました。その結果、毎月4～5時間の残業を減らすことができました。引き続き、業務効率の改善に取り組みます。

③更新研修、外部研修に参加し、スキルアップをめざします。

- ・オンライン研修が中心ですが、自立支援ケアマネジメント、包括主催の多職種連携研修等に参加し、スキルアップの向上に努めました。又、次期管理者候補の職員が主任介護支援専門員研修に参加し資格取得しました。

④入院・退院加算、ターミナル加算の取得に努めます。

- ・加算が取得できるケースはすべて取得しました。加算実績は、入院時情報連携加算5件、通院時情報連携加算2件、ターミナル加算1件でした。

【4】施設の課題

(1) 訪問介護

- ①訪問介護については、引き続き、介護報酬の底上げを図るべく特定事業所加算Ⅱの取得が必須と考えますが、補助金申請が再度非該当となる可能性があり、加算取得に係る必要経費については、補助金を充当せず、予算内で実行できる

よう計画する必要があると考えます。

②障害福祉の減収については、コロナが収束すれば、外出系の移動支援、同行介護は回復すると見込まれますが、重度訪問については、地道な営業活動と顧客獲得のタイミングもあるので、一足飛びの回復は難しいと思われます。

一方で、居宅介護の新規獲得及びサービスの追加については、計画担当者へのアプローチ、利用者への声掛け等により一定の効果が見込めるので、居宅介護を中心に空き時間や曜日の発信、営業範囲の拡大を展開していきます。

③ヘルパーの年齢層が高く年々退職者が増加傾向にあります。人材確保が急務と考えますが求人媒体からの応募はなく、職員、利用者からの紹介が中心となっています。引き続き、職員、利用者からの紹介に注力しながらヘルパー確保に努めるとともに、ヘルパーの空き状況を確認のうえ、効率的、効果的に登録ヘルパーが稼働するよう、綿密なシフト調整を行っていきます。

(2) 居宅介護支援事業所

①包括からの新規依頼が増加してきたので、今後は病院の地域連携室にも範囲を広げ、定期訪問を行っていきます。

②医療との連携が十分ではないので、今後は定期受診に併せて主治医との面談する機会を意識的に確保していきます。

③業務改善で一定の効果が出ているので、今後も更なる改善に取り組みます。

【5】付表

(1) 研修

登録ヘルパー

月	研修内容
4	感染症・食中毒予防及び蔓延防止について
6	認知症及び認知症ケアについて
8	論理及び法令遵守について
10	事故発生時の対応・再発防止について
2	虐待防止について

サービス提供責任者

月	研修内容
11	東大阪市指定障害福祉サービス等事業所連絡会
7	東大阪市指定居宅サービス事業者等集団指導
8	大阪市指定障害福祉サービス事業者等及び移動支援登録事業者

介護支援センターケアマネジャー

月	研修内容
7	自立支援ケアマネジメント
2	多職種連携全体研修

【1】令和3年度総括

人事制度設計会議では、職員の成長支援やモチベーションの向上に向けた制度設計・仕組みづくりの検討をしてまいりました。令和3年度においては、人事考課システム構築のため考課対象者をさらに拡大する検討を行いました。

看護師長・介護長・主任・副主任の介護士及び看護師の人事考課シートに続いて、主任相談員・副主任相談員・生活相談員・支援相談員の人事考課シートについて検討し、その人事考課を開始いたしました。

その他、パート職員等の有期雇用職員の雇用契約更新に関する評価シートの検討など人事に関する制度の設計及び制度運用に取り組みました。

令和3年10月の経営方針の一部転換によりスリムな組織を構築するため、本会議を廃止し、法人本部の主導により人事制度の設計に取り組んでまいります。

【2】検討内容

- (1) 雇用契約継続（更新）に係る手続きに関する細則案検討
- (2) 人事考課シート評価基準の検討（看護師長・主任看護師・副主任看護師・介護長・主任介護士・副主任介護士）
- (3) 育児・介護休暇等に関する規定細則の改定案検討
- (4) 就業規則の改善点の検討
- (5) 人事考課シート評価基準の検討（主任相談員・副主任相談員・生活相談員・支援相談員）

【1】令和3年度総括

令和3年度は、前年度以上に新型コロナウイルスの感染拡大のなかでの活動の1年となりました。

そのため、法人や各拠点がこれまで実践してきた地域向けの取組みはもちろん、地域の取組み自体も中止となることが多くなりました。

各施設が開設当初より実施してきた施設と地域をつなぐ象徴である大規模な祭りや保育園・小学校との世代間交流を自粛せざるを得ない状況が続くなか、地域貢献という社会福祉法人の責務を果たすことができなかつた1年ではありましたが、法人や各拠点の活動を見直す機会と捉え、次年度の活動につなげていきます。

【2】検討内容

新型コロナ禍のなか、まだまだ先行きが見えない状況で、社会福祉法人として・地域福祉の拠点として、何ができるのか・何をすべきなのかを考え、各拠点にてできることを実施してまいりました。

【3】令和4年度への課題

まずは、各拠点の活動として既存の活動の大幅な見直しが必要と考えます。

感染症拡大下でも実施できるように、新しい生活様式や感染症対策に適応したものにしていく必要があります。

次に地域共生社会の実現に向けて法人の課題として、地域ニーズの発掘・認知症理解の推進・コロナ禍のなかにおける地域公益活動・医療との連携に取り組んでいく必要があります。

また、社会福祉法人にはどのような状況下においても、必要としている方に必要とされるサービスを提供し続ける責務があります。そのために、災害及び感染症に対応したBCPの作成とブラッシュアップが必要と考えます。

【1】令和3年度統括

令和3年度の活動計画に基づいて活動を行いました。今年度はコロナ禍で行うにあたり、WEB会議が中心となりました。主な取り組みとしましては、採用から育成についての検討や、法人研修の新たな取り組みの実施を行いました。

【2】検討内容

(1) 人材採用と職員育成の為に、採用から試用期間中に指導を行う項目を専門職連絡会で検討を行い、より明確にする事で新人職員が自分自身で業務等を覚えるための期間が理解でき、指導者側も指導内容が統一できる内容が出来ないかを検討してまいりました。令和3年度終了時点では専門職連絡調整会議内で検討を行い作成に取り掛かっております。完成すれば、求人活動を行う際の育成内容の見える化に繋がり応募者へのPRにもつながると考えております。

(2) 非常勤職員から正職への転換のフローについても検討を行い、令和3年度には完成しませんでした。フローを明確にする事で非常勤職員のキャリアアップが明確になるため、採用から育成に繋がる様に引き続き検討してまいります。

(3) 専門学校や教育機関等の外部機関との連携を行い、人材採用・育成に繋がる仕組み作りを検討致しました。

コロナ禍でなかなか外部機関との育成に繋がる連携は行えませんでした。人財採用に関しましては、WEBでの法人説明会の実施や、WEB面接等を全施設で対応可能とし、計画的に参加する事でPRに繋がったのではないかと思います。

(4) 中途職員対象に法人研修をWEBで行いました。コロナ禍でも職員に対しての研修の実施を行う為にWEB研修を開催しました。サービスマナー研修・人権研修・事故対策研修等を実施し、移動時間や場所の確保等が集合研修よりも計画しやすく参加者も集合研修より募ることが出来ました。

(5) 女性活躍新法に基づき、管理職に占める女性割合を30%以上にする為の育成環境の検討を実施。

女性管理職の育成環境を整えるための課題抽出を行いましたので、今後管理職の育成体系の構築を検討してまいります。

【3】令和4年度への課題

令和3年度はコロナ禍での活動を行う上で思う様に話し合いが進まない状況もありましたが、非常勤職員から正職員へのフローについては完成させる事で職員のキャリアアップと職員の新しい採用方法を構築する必要があるとございます。

コロナ禍での、新たな育成体系や研修方法を検討していく必要があります。

【1】令和3年度総括

ご利用者の安心・満足のためのサービス提供について、法人理念に沿い、ご利用者にとって安心・満足のサービスとは何かを常に考え、利用者の要望（デマンド）だけでなく、専門職としての視点から本当に必要としている支援（ニーズ）を見極め、現在のサービスがそれを担えているかを検証し、問題提議と提案・実践をおこないました。

また、より良いサービスの提供が継続できるように、法人内の各拠点における課題事項など情報を収集・把握を行い、拠点間で広く連携していくことで「サービスの質の向上」「ご利用者満足」「職員の資質向上」に努めてまいります。

ご利用者は個人により生活の背景や状態の違いがある中で、川福会のサービスに満足していただけるよう、定期的な効果測定や都度ごとの振り返りを行いながら、取組んでまいりました。

【2】検討内容

サービス向上委員会ではご利用者に満足していただけるサービス提供のため、次のような内容の取り組みを行ってまいりました。

(1) 「ご利用者満足度アンケートの実施」

サービス内容の見直しとご利用者の満足度を把握するため、ご利用者に満足度アンケートを各施設・事業所種別兼専門職連絡会をとおして実施し、集計・開示を行い、そこで浮き上がった課題点とその傾向等について各施設事業に提供し、その結果はしっかりと共有するようにしてまいりました。

(2) スローガン

法人理念の周知だけでなく、法人全体が一体となり、サービス向上に取り組んでいくことを目的として半期ごとにスローガンを掲げております。

職員がより身近に感じるものとなるよう、現場の思いを掲げることに焦点をあて、当委員会だけのスローガン作成ではなく、法人内の多職種の思いが一つになるよう、法人の各事業所兼専門職種連絡会に半期ごとに作成を依頼しています。

令和3年度下半期は福寿苑、令和4年度上半期は枚岡の里が作成しました。

(3) 表彰・顕彰制度の導入

サービス提供内容の把握及び情報の共有、法人内での事業所の優れた取り組み内容を連携するため、半期ごと「表彰顕彰制度」を実施していました。

令和3年度は従来のような形式では感染症予防に留意して開催することが難しい状況でした。表彰顕彰制度の主旨目的に沿って開催方法の検討を行いました。

令和3年度は2年度から引き続き感染症予防対策のため、集合し開催することが困難でありました。開催方法を検討し、各施設から応募作品を各拠点の全職員に周知し投票する形式をとりました。

(4) 第三者評価受審後の水平展開

福寿苑・みのわの里・布市福寿苑の特養3施設において、第三者評価受審後の水平展開について情報の共有及び各拠点における受審後の重点課題について協議を行いました。

各拠点におけるサービスの質や、施設のハード面で実行実現が困難なところもありますが、まずは各拠点が掲げた重点課題について法人の介護員連絡会で計画化し実行できるよう取り組んでまいりました。

(5) 苦情の検証や課題抽出

年に2回実施されている苦情解決報告会の後に、内容の検証を行い、傾向や課題を抽出し、サービス向上に活かされるよう協議を行ってまいりました。

【3】令和4年度への課題

サービス向上委員会は発足以後、「サービスの質の向上」「ご利用者満足」「職員の資質向上」を目的として活動してまいりました。

今後は、これまで実施した取組み・結果を「次に活かす」ということに焦点を当てていくことが重要と考えております。

その中において、当委員会はいくまでも後方支援の立場で運営を行っております。

その上で、各拠点の状況に委員会がどこまで関与するかは継続した課題であると考えております。

表彰顕彰制度は昨年第12回の開催は、感染症予防対策に留意し実施する必要性がありました。

表彰顕彰の題目の統一化及びデータ化し全職員に応募内容を周知し投票する形式で実施いたしました。

令和4年度も感染症予防に留意し開催する必要があると考えております。WEBを活用した開催方法を検討いたします。

第三者評価受審後の水平展開については、各拠点課題の抽出までは実施いたしましたが、その後の改善計画に対しての実施期間が不明確な状況であります。

計画に対する実施時期が見える化し、計画的に各拠点が進めていくことが課題です。

【1】令和3年度総括

前年度より、法人全体として、より大きく新型コロナウイルス感染症の影響を受ける年度になり、委員会は全てWEBで開催しました。

各拠点での感染状況や対応状況の情報共有は、昨年に情報共有方法の取り組みを行っていたので継続して行えました。また、新型コロナウイルス感染症の感染対策等の変化もあり、昨年に作成しました「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」の見直しを行い、周知することで感染拡大防止対策の標準化に繋がりました。

第三者苦情報告会におきましても、報告会の開催が出来なく昨年と同様、第三者委員の方々へ報告書を郵送し、ご返答を頂く書面開催となりましたが、各拠点に対して、報告会の意義と報告書の活用について周知し、事故防止と利用者処遇の向上に努めました。

【2】検討内容

(1) 新型コロナウイルス感染症に対する取組

新型コロナウイルス感染症対応策等に変化があったため、看護師連絡会と共同して「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」の見直しを行い、10月に見直しを行いました「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」を発出しました。

各施設で、対策物品等が異なることもありますが、法人のガイドライン（基本指針）として、感染症予防拡大防止対策が共通対応できるように努めました。

(2) 苦情解決第三者委員への書面での報告実施。

新型コロナウイルス感染状況により、今年度6月・1月に予定していた、第三者委員への報告会の開催が昨年に引き続き行えず書面で開催しました。

各拠点に、苦情解決第三者報告会の意義と、内容を周知し活用することの重要性を発信し、苦情は「宝」であり、他人ごとではなく自施設の事（自分事）として受け止めることで、苦情の削減（事故防止）・資質向上に努める取り組みを行いました。

(3) 「ヒヤリ・ハット報告書」の啓発活動

職員の気づきが増えることで事故防止できるとともに、利用者処遇の向上にもつながることを目的として、「ヒヤリ・ハット報告書」の提出が増えるように、書式変更して記載しやすいようにしました。

今後、「ヒヤリ・ハット報告書」の分析が見える化し、法人全体として、事故を減らし、利用者処遇の向上に努めます。

【1】令和3年度総括

新型コロナウイルス感染症により年内恒例としていました、新入職員歓迎ボーリング大会及び懇親会やバーベキュー大会、その他同好会活動等多くの行事を自粛する事となりました。

【2】検討内容

(1) 新人歓迎ボーリング大会・秋のバーベキュー・各同好会の活動

新型コロナウイルス感染症の影響により中止したため、今年度の活動はありません。

同好会については、補助金や活動金の支給、保険加入等、金銭の取り扱いや同好会メンバーの管理、各施設の同好会による費用の負担の均等化が必要になるなど同好会が活動していくにあたり会則の改正等が必要になって来ていると推察されます。

(2) 市区町村が行うがん検診への補助

人間ドッグ同様、積極的に受けようとする職員は少ない状況にあります。

受診されない理由については、人間ドッグと同じ結果になると考えられたため、あえてアンケートは実施しておりません。

ガン検診についても職員一人一人が自分自身や家族のため、健康に対する意識を高める啓蒙活動が大きな課題となっています。まずはガン検診について知ってもらえるよう、ポスターやポケットブックを作成し完成しています。

(3) 人間ドッグ利用助成

法人での永年勤続の節目に付与される人間ドッグの助成制度ですが、その対象条件もあり各拠点で毎年、受ける事が出来る職員が少なく、また人間ドッグの助成制度についてその存在が認識されている職員が少ない事。

令和2年度対象だった職員へ簡単な聞き取り行った結果、職員のお大半の方が受けたいが時間がない、何処も悪いと感じないので受ける必要がない、何か見つかるのが怖い、受ける必要を感じないなど否定的な意見が多くあり職員が健康に対する意識の低さによる課題が見えてきました。

そうした中で直ぐには職員の健康への意識は変えられない事から一人でも多くの職員の方に人間ドッグについて知ってもらおうと対象者の職員へ給与明細を渡す際などに個別にお知らせをしていましたが、令和3年4月に社会福祉事業従事者共済会の給付事業の改正により、人間ドッグ利用助成内容の充実化が図られたことに伴い、川福会の助成制度はその役目を完了したと判断し、廃止と致しました。

【1】令和3年度統括

今年度は、活動計画の内、(1)「ホームページを活用した広報の検討・ホームページの改善」、(2)「SNSの活用による広報の検討」に注力し、活動に取り組みました。

今年度で委員会は廃止となりましたが、引き続き、各拠点担当者の協力体制のもと、管理統括部が中心となり、法人の広報活動を進めて参ります。

【2】検討内容

ホームページを活用した広報の検討・ホームページの改善については、ホームページの内容を精査し、とりわけ、JOBギア（採用ホームページ）の「資格取得や教育制度」、「福利厚生」について、コンテンツの充実化、レイアウト、デザイン等の変更を行い、閲覧者が確実、かつスムーズに情報収集できるようブラッシュアップを図りました。

SNSの活用による広報の検討については、インスタグラム導入に向けて、掲載頻度や各拠点からの情報提供の方法など、具体的運用方法について検討を重ね、記事の取りまとめや掲載前のチェック機能など、管理方法についても検討し最終的に「かわふくん（小さいぬいぐるみ）」による、各拠点の情報発信という形式で、11月よりインスタグラムを開始しています。

安全衛生委員会 令和3年度 活動報告

【1】令和3年度総括

令和3年度の活動計画に沿って委員会を実施してまいりました。

新型コロナウイルスの蔓延時期もあってweb会議が中心となっています。

本年度の主な活動としては、枚岡地区健康診断委託先の変更、ストレスチェック実施、安全衛生委員会の開催確認と昨年から継続した活動を行いました。

【2】検討・実施内容

(1) 法人委員会にて実施事項

①法定実施

- ・健康診断（夜勤実施者は年2回）

全施設の健診を「恵生会病院」（検診バス）にて統一実施。検査項目や結果に差異が発生しない環境を整え、スタッフはどの施設でも検診を受けることができます。

- ・ストレスチェック

例年同様「こころの保健室」にて実施準備を行いました。今後は担当者の管理で引き続き実施予定です。

②健康促進

- ・市町村がん検診

実施率向上に向けて福利厚生委員会と協同検討。各施設へ集計の協力を依頼し受診者の傾向に着目、アナウンス方法を見直す検討をしました。

(2) 各拠点（事業所）にて実施事項

①各事業場の現場見回りの実施

危険箇所等の発見と改善。産業医による職場の定期的巡回で就労環境の適正化に向けた助言など。

②安全衛生委員会の開催

毎月定期開催。衛生法による年間計画に沿った各協議事項の検討や研修等を実施。

【3】次年度への課題

(1) 職場復帰や高ストレスによる相談機能の充実と利便性の向上。

将来、さらなる高ストレス社会を見据えた相談機能を鑑み、緊急性や専門性に長けた産業医を選定することで利便性を安定させ、著しく精神疲労することのない健康的な就労環境を整えます。

(2) 市町村がん検診受診率を向上。

職員の健康維持は法人の基盤であると考え、健康障害の早期発見には市町村が提供する“がん検診”は有効であると思われます。徐々に受診する職員は増加していますが、全体の数%と低く受診率の向上は今後の課題となります。